



特231
280

型紙から縫ひ上げまで

スタイルの選び方

始



特231
280



スタイルの選び方

型紙から縫ひ上げまで



編纂

婦女界洋裁部

廣	田	敦	子
直	井	茂	子
朝	倉	絹	子
喜	多	敦	子
塙	千	穂	子
大	和	田	啓
			子

型紙の選び方 目次

I スタイルの選び方 二

1 型による選び方 四

2 色彩から見た選び方 六

3 布地の考へ方 八

一 布地の種類 八

二 地質によるスタイルの選び方 一〇

三 地質の使ひ方 一一

4 身體の簡性 一三

一 肥り過ぎた人のデザイン 一三

二 痩せ過ぎた人のデザイン 一四

三 背の高すぎる人 一六

四 背の低すぎる人 一七

五 均整のとれない人のデザイン 一八

胸の長すぎる人 二一

ウエストの太い人 二三

猫背の人のデザイン 二三

撫肩の人のデザイン.....	三六
胸の貧弱な人のデザイン.....	三六
六 大柄の人小柄の人のデザイン.....	三六
5 性格教養によるスタイルの選び方.....	四一
6 年齢による選び方.....	四三
一 子供服に就て.....	四三
二 若向きドレス.....	四三
三 中年向きのスタイル.....	四六
7 目的によるスタイルの選び方.....	四七
一 家庭を中心としたスタイル.....	四八
二 執務のためのドレス.....	五〇
三 スポーツのためのドレス.....	五二
四 外出着を中心としたスタイル.....	五四
II スタイルの見方.....	五六
1 スカートの種類.....	五六
ストリートスカート——スキングスカート——プリーテッドスカート——デバイテット	
スカート——サスペンダースカート——フレアードスカート——パレリーナスカート	
——アンブレラスカート——ベザントスカート	
2 袖の種類.....	五九

タイトスリープ——テイラードスリープ——ピシヨツプスリープ——パフスリープ——	
オープンスリープ——ケープスリープ——キモノスリープ	
3 カラーについて.....	六〇
フラットカラー——ケープカラー——シヨールカラー——ティラーカラー	
4 洋服の種類.....	六三
イヴニングドレス——アフターヌーンドレス——スポーツドレス——ハウスドレス——	
スーツ——アラウスとスカート——スモック——アンサンブル——パザヤマ——ナイト	
カウチン——ネグリサイ	
III 型紙の扱ひ方.....	六五
1 誤解されてゐる型紙.....	六五
2 型紙の直し方.....	六八
一 型紙の寸法.....	六八
二 子供服の寸法.....	七〇
三 型紙の直し方.....	七〇
3 用布の扱ひ方.....	七三
一 用布の見積り.....	七三
二 地のしの方法.....	七五
三 布を裁つ前に.....	七五
4 假縫ひの仕方.....	七七

5 裁縫用具

一 假縫ひの仕方 七七

二 假縫ひ寸法の直し方 七九

三 八四

四 八七

五 八七

メージャー—鉄—蟲ピン—ルレット—チヨーク—チヤコ—ミシン針—
 縫針—糸類—目打—鑿—鳩目—毛拔—アイロン類—霧吹器—濕布用
 布—アイロン臺

IV 基礎縫ひ

1 手縫ひ

一 襖のかけ方 八七

二 切襖 八八

三 置襖 八八

四 斜襖 八九

五 千鳥がけ 八九

六 ぐし縫ひ 九一

七 からげ縫ひ 九一

八 まつりぐけ 九二

九 よりぐけ 九三

2 ミシン縫ひ

一 地縫ひ 九三

V 各部分の縫ひ方

1 身頃の部分縫

一 前明きの作り方 九六

二 後明きの作り方 九七

三 肩明きの作り方 九九

四 脇あきの作り方 一〇一

2 始末をつける部分縫ひ

一 パイヤステープの作り方 一〇四

二 縫代の始末 一〇七

三 裾の始末 一一〇

四 ほつれ止 一一一

3 袖先の縫ひ方

一 カフスの附け方 一一二

二 カフス無しの袖先の始末 一一三

4 ポケットの作り方 一一五

玉縁ポケット——箱ポケット——脇ポケット	
5 その他の部分縫ひ	二四
一 ボタンホールの作り方	二四
二 釦リングの作り方	二七
三 ベルト通しの作り方	二九
四 アイレット(紐通し孔)の作り方	三〇
五 尖った角の上手な縫方	三〇
六 丸みの上手な作り方	三〇
七 レース飾りの付け方	三一
6 色々なひだの作り方	三三
一 シャーリングとギャザーの寄せ方	三三
二 ピンタックの寄せ方	三四
三 プリーツの畳み方袂のかけ方	三四
四 スモツキングの基礎	三五
五 スナツプと釣ホックの付け方	三六
六 コードアレードの扱ひ方	三八
七 包み釦の作り方	四〇
八 三角かゞりの仕方	四〇

型紙から縫ひ上げまで

スタイルの選び方

I スタイルの選び方

洋裁といへば、一も二もなく型紙といふことになつてをります。しかし歐米では型紙の裁ち方を習得するのは、ほとんど専門家に限られてゐる有様で、一般の女性が最大の關心を持つてゐるのは、むしろスタイルの選び方です。

スタイルの選び方こそ、洋裁で何よりも大切なことと言へませう。スタイルブックの中から自分に合つたスタイルをえらび出せなくては、どんなに型紙を上手に裁つことが出来ても、思ふとほりのピッタリした洋装ができるはずはありません。型紙の裁ち方とスタイルの選び方は自ら目的を異にしてゐます。着物でたとへて言つたら、どんな裁縫の名手でも似合はない柄を、よく似合つた着物に仕立て上げる術はしりません。いゝ柄を選んでこそ熟練した仕立ても生きて來ます。柄選びが着物のお仕立ての魂であるやうに、洋服ではスタイルの選擇が洋裁の生命です。洋裁學校に行くとスタイルのドレスを着こなすやうになるのは、スタイルの選擇に

對して眼が肥えてくるからです。

それでは、どうしてスタイルを選んだらいいでせうか？ どうしたら合理的な進歩した洋装を身につけることが出来るでせうか？

初心の方が犯しやすい誤は、スタイルブックから好きな柄や型をえらんだり、流行を追ふことだけで、いゝ洋装が出来ると思ひがちひしてゐることです。スタイルブックで見たときはあんなに素晴らしかつたのに、どうして自分に似合はないだらうかと、ガツカリされるのでしたら、うっかりと考へなしに選んだためです。スタイルを選ぶのに重要な點は、

1 型

着物が柄の服装なら、洋装は型の服装です。型を理解するのが、いゝスタイルの選べる近道です。

2 色

3 生地

着物の生地がずる分利用されるやうになりましたが、やはり基礎とも言ふべき洋装獨特の生地の使ひ方がありますので、一通り理解していただきたいものです。

4 身體の個性

流行かならずしも自分に似合つたスタイルではない。自分の長所短所をよく研究して、長所を強調して、短所をかくすやうにする。

5 性格・教養

精神的なあらはれ、性格や教養が服装を選ぶのに非常に大切です。スタイルの選定の失敗は、身體の方ばかり考へて、精神的なあらはれを忘れることにあります。

6 年齢

7 目的

新體制になつて、すっかり洋装の考へ方が變つてしまひました。イヴニング、アフタヌーンといったやうな區別よりも、日本の生活が要求する區別の方が重要です。執務、家庭、外出訪問、スポーツの四つに分けて考へるのは、もつとも生活形態に適した洋装が得られることなのです。此等を考へに入れねばなりません。特に戦時下にある今日、流行ばかりに囚はれたければしい洋装をつけて満足してゐる時ではありません。徒らに外國の模倣をした服装よりはもつとく日本化されたものを着たいものです。もつともつと自分自身をみつめることです。ではどうすれば生きた洋装の神髓を解りやすく無駄なくとらへることが出来るかを、順序をおつて説明したいと思ひます。

1 型による選び方

着物では柄見本といひ、洋裁ではスタイルブックといふ。裁ち方に變化のない着物は、自身にむいた柄をえらびます。洋服では、その柄に相當するのが型、すなはちスタイルです。初心の方が失敗するのは、着物の習慣をそのまま、柄にばかり頼らうとすることです。柄ももちろん大切な役割をもつてゐますが、洋服では柄はすべてを決定する力をもちません。それよりもずつと大切な役割をもつてゐるのがスタイルです。

スタイルに變化があるといふのは、衿の形をいろいろに代へたり、胸もゆるみを持たせたり飾りをつけたり、ポケットで變化を求めたり、衿と胸だけでも型の變化は千差萬別です。このおびたゞしい型の中から自分の好みにあつたものを選ぶのです。しかも形そのものに變化を求めることが出来るので、自分の身體に感じられる短所を巧妙にかくすことが出来ます。身體の恰好がよくないから洋装しないとお考へになる方がありますが、むしろ着物よりも洋装の方がずつと巧みに補つてくれるのです。

また、ウエストが太いから少しでも細く見せるやうなスタイルをと選ぶのは必然のことです。しかし考へていたゞきたいのはその場合往々にしてかへつてその反對の結果を表す場合があるのです。和服をお召しになる場合、太つた人が何のすきまもない様に着物をひきしめて着ると、かへつて太く見えるものです。それよりはゆつたりとお召しになると、かへつて細くみせますし、人に對しても良い感じを與へることです。タイトなツィースはかへつて短所を強調してみぐるしいスタイルとなつて現れるものです。太ければ太いなりにあなたに適當なデザインがある筈です。瘦せて居る人にしてもその貧弱さをおぎなひ背の低い人にも幾分高く見せることも出来ませう。

では、どうしたら適當なスタイルが選べるかといふことは、結局自分の個性をあらゆる角度から考へに入れねばなりません。肥えた方、瘦せた方、或ひは教養のある方、淋しい印象の方等々と、本書には範圍廣く説明してありますので、よく御研究をなさることを希望いたします。

2 色彩からみた選び方

いく、値段の高い柄のすばらしい生地を身につけても一向に感心しない洋装の人を見受けま
す。又少しも目立たない地味な洋服を着てゐてもどことなくフレツシユな所があつて何とも云
へない洗練した感じを與へる人もあります。なぜでせうか？

その人の持ち物服装の色によつて趣味職業人格がうかゞはれるとさへ申しませんが、それ程色
といふものが必要なのです。大膽な色を使ふ事も必要でせう。しかしそれまでには相當に自分
自身の研究を要します。先づ自分の肉體についてよく觀察させう。皮膚の色或は感情、生活
環境によつて自分に合つた色を一つ決めて之を基調色にします。之はさう簡單にはみつけれ
るものではありませんから、いろんな色を合せて行く中に次第に分つて來ます。その基調色を
きめる事が一番大切なことです。

初心の方はなるべく無難な基調色をえらんで下さい。日本人に容易に着こなされる色彩は、
セビヤ、ブルー、鼠色等でせう。

その後はそれにアクセサン、コントラスト、明暗、輕重等色の性質を考へてアクセリーズ等に
それ等の色をおくことによつて全體をまとめます。云ふまでもなく戦時下に於て自肅をしなけ
ればならない今日に、ネツクレス、指輪、腕輪、等洋装を生かす附屬品は用ふべきではありません。
せん。

併しそれによつて洋装の美を失ふ必要はありません。個人個人の一寸した工夫です。ネツク
レスがなくてさみしければ襟元に一寸氣のきいた技巧をほどこしたら如何ですか。

夏の 下 着

夏は冬とちがつて、洋服も薄い生地で作りますので、下着の一寸した不注意や、着方、順序等によ
つて、お洋服にひびいて來て、折角の美しいお洋服も、變な皺等によつて、臺無しにされますし、又
見て居ても、體裁の悪い事です。先づ、美しくお洋服を着たいと思はれますなら、第一に下着を完全
につけてこそ、洋装の美が發揮されるわけですから、下着のつけ方を御存知ない方の爲に、簡單乍
ら、下着を付ける順序を書いて見ます。第一、一、コンビネーション、二、靴下、三、コルセット、四、ア
ルマース、五、スリッパ、六、上着。第二、一、シミーズ、二、靴下、三、コルセット、四、アルマース、
五、スリッパ、六、上着。第三(夏のハウスドレスの下に)、一、ブラジエアー(又はシミーズ)、二、長靴
下(又はソックス)、三、フレンチパンツ、四、ベテイ・コート。第四、一、ブラジエアー、二、フレンチ
パンツ、三、ソックス、四、スリッパ、五、上着。第五、一、コンビネーション(ブラジエアーとパンツ
が一緒になつたもの)、二、ソックス、三、上着(スポーツドレス)。以上が、大體の順序です。

3 布地の考へ方

一 布地の種類

先づ洋装に使はれる布地の最も普通の種類を掲げませう。

ベビ服に適するもの

毛織 本ネル、サージ（軟かいもの）モスリン、ボブリン、チャージ、ウールクレープ。

絹 富士絹、クレープデシン、羽二重、フラット、ネンスーク、ローン、ボイル、キャラコ、人絹等。

女児服に適するもの

毛織 サージ、セル、チャージ、ビケ、ネル、ホームスパン、ウール、ボブリン、ツキード、メルトン、ギャバデン、モスリン。

絹 富士絹、クレープデシン、サテックレープ、ボブリン、ベルベット、ジョーゼット、

人絹等。

木綿 キヤラコ、ボブリン、ギンガム、ネンスーク、オツクスフオード、ビケ、ローン、ボイル、チュール、バーバリー、ジョーゼット、リンネット、ネル、木綿、レース。

麻 オーガンヂイ、クレープオーガンヂイ。

婦人服に適するもの

木綿・麻 リネン、ビケ、綿ボブリン、ギンガム、オツクスフオード、ローン、ネンスークボイル、チュール、バーバリー、ネル、オーガンヂイ。

絹 富士絹、クレープデシン、サテックレープ、ボブリン、ベルベット、ジョーゼット。

毛織 サージ、ツキード、ギャバデン、メルトン、スコッチ、キヤメル、ウールボブリン、ウールビケ、ウールクレープ、ウールジョーゼット、ウールチャージ、ウールレース、ホームスパン。

その他色々ありますが統制される様になりましたからスフなどの混つた布地が出て居りますその點をよくお考へになりましたなるべく更生服にしますか、さなければ特に實用的な安々な布地をお求め下さる様おすゝめいたします。

二 地質によるスタイルの選び方

どんな變つた布地でも上手に生かして使ひこなすところに洋服のデザインの中心があると言つてもいいのです。ですから服の型も色も大切ですが、布地の性質をよく掴んで、それを上手に使ふことです。例へばオーガンジーの服の作り出した感じと、ジョーゼットや、ビロードの作り出した感じとは同じ型の服でも、全く異つたものを作り出します。

同じスタイルでも、重い材料はどつしりした感じを、軽い透明な材料はふんはりした感じを作り出しますので、ドレッシーにもスポーティーにもなるのです。その相異つた材料をうまく組合せて面白味を出す事も出来ます。例へばアンゴラの毛の混つた柔いウール地にビケのカラーをつけたりすれば、服の型やカラーの型に凝らなくても、それがマッチした色になれば美しい服がつくり出せます。今日までは、布地と云へば洋服地でなければいけないと思つて居りましたが、何布はどう使ふものだと狭く考へて居る時代ではないのです。日本の布地も和服にのみ用ひるものではなく、洋服地として立派に用ひられます。近頃、和服地を應用して立派な洋服をつくつて着てゐられるのを見受けられる様になつたのは喜ばしい事です。これが良いデザインであり、布地を上手に扱つたことになるのです。和服式の様な習慣的觀念から脱けて手近に

あるものを取入れて十分使つていたゞきたいのです。

三 地質の使ひ方

重く垂れるもの これはだらりと垂れさがる美しさが特徴であつて、ハングドレーブ（垂下り布のつくる波のやうな皺）を中心とした服をつくります。布地はサティンビロード、重目のクレープデシン等です。

突張りのあるもの これは張つた布地ですから、バフさせた袖とかひらきのあるスカートに用ひます。

軽いもの これは薄く軽くすきとほつてゐる布地ですが、背中や腕を、すかせて見せる美しさを出し、軽くヒラヒラした感じを出させるのに用ひます。ジョーゼット、ボイル、軽いレース、チュール。

柔かみのある普通の布地 廣くどんなにも用ひられます。クレープデシン、富士絹、柔かい毛織、ネンスーク、メリンス、カシミヤ等。

硬めの普通の布地 ギンガム、ポプリン、ビケ、オックスフォード、サーヂ、ツキード、セル等。

4 身體の簡性

一 肥り過ぎた人のデザイン

太つてゐるからと云つて、あまり體にびつたりとついたものは肥つた線をそのまま現しますから、かへつて逆効果となりますし、人に對してもよい感じを與へられません。適當な弛みをもつたスタイルを選んでいたゞきたいものです。

- 一、横線は絶體に使つてはいけません。なるべく縦線の入つたスタイルを選びませう。
- 一、カラー、カフス、ベルトも普通より廣めのものをボタン等の附屬品も體に相當した大きめのものを使つて下さい。
- 一、一般的に肥つた人は背丈が短かく見えますから、ベルトの位置は下げて、スカートの丈を普通よりやゝ長目にします。
- 一、カラーは前の方へ長目にして下げる様なデザインが効果的です。そして首の短い人はハイ

ネツクはいけません。

- 一、地質の薄い布は太つた線をそのまま現しますからいけません。さうかと云つて地厚のものでも重さうに見えるものは、よけいにポツテリとした感じになりますからさせませう。
- 一、模様の大柄のものはいけません。
- 一、光澤のあるサテン等は實際より大きく見えますからいけません。
- 一、色は大體に濃い色の方がわづかでもしまつた感じを與へて、實際より小柄に見えますからよいでせう。薄い色は大きく見えます。それに薄い色でも暗い感じのもので、丈を幾分長くすれば無難でせう。

二 痩せ過ぎた人のデザイン

痩せてゐるのを着物で上手にかくす位はらくです。望み通りどこにでも肉をつけてさし上げませう。

- 一、ギャザー、シエアーリングの多くある、デザインはふくよかに見えますからよいでせう。
- 一、眞直な縦の線をさけること、即ち箱型の上衣ストリートスカート、タキシードジャケット等ははいけません。

瘠せすぎた人のためのスタイル



太った人のためのスタイル



一、ウエストをピッタリさせて、ヒップ、バストはゆつたりさせた着物を着ること、あなたの細いウエストやヒップや手くびはもともきれいな所ですからいつもそこをハッキリと表して下さい。そこを細くすると對照的にカーブが現れて來ます。例へば胸廻りをゆるく肩にフリリングを入れてスキングスカートをはく等。

一、袖附を非常にふくらせたもので細い手がかくされます。

一、テーラードスーツより柔いドレスメーカースーツを着るべきです。そして短いスカートは肩をやはらげませう。

一、肌の露出したものやあまりピッタリした上衣はいけません。又身頃には充分なドレープを使つて下さい。

一、衿はなるべくハイネックを使つて下さい。そして細長いくびをかくす様にして下さい。

一、柄は細かい縦縞を避けて色も薄い色を用ひる様にします。

三 背の高すぎる人

背の高すぎる人には前かまみの姿勢が多い様です。その姿勢はみにくいから氣をつけませう。着物でそれを加減いたしませう。

一、第一高さを線、色で横ぎる様にそれにはテーラードスーツが一番です。ボレロスーツはいけません。ボレロを着ると背が伸びて着物がみじかくなつた様に見える。それよりチュニツク等をお召しなさい。オッドジャケットは効果的です。

一、ウエストラインを出来る丈低く取ること。ベルトを出来る丈下の方にとること。そして胸を長くして細いベルトを使ひませう。ジャケットのヘムラインをつよめると効果的です。

一、出来る丈短いスカートをはきませう。ウエストが上つてスカートを短くはけば背が低く見えます。長いドレスを着る場合は裾を思ひきり廣いものがよいでせう。

一、デザインの入つたスカートをはいして下さい。又はヒップまで來る長目の上衣にしヘブラインに大きなポケット等似合ひます。

一、スカートは廣がつたフレヤーカー、ひざの邊に、カットを入れませう。

一、水平線を強調すること縦縞の線をさけて下さい。又肩にパディングを入れ、ウエストも細く見せる様なスタイルがよいでせう。

一、大きな衿、カフスをつけませう。小さな附屬品はいけません。

四 背の低すぎる人

背の低すぎる人



背の高すぎる人のためのスタイル



一寸したスタイルの選び方によつてずつと背を高くみせることが出来ます。

一、長いきれ目のないブレンセスラインをつけること。出来る丈スーツよりワンピースドレスを着ること。スカートはあまり短いものより少し長目のもので襷のないものがよいでせう。上衣を暗い色、スカートを明るいい色と云ふ様な上下の色に違ひをつけぬやうに。広いベルトやチューニツク、短いコートを使用せぬ様にしませう。

一、スカートを長く見せるために、ウエストラインを上げること。ベルトをつける場合自然の位置より少し上げて下さい。

一、柄物より無地の方が無難です。

一、衿、カラー小さく使用して下さい。

一、足を長く見せるために少し長目のスカートをはくこと。

一、常に垂直線を強調すること、即ち頸から裾にひだのあるドレス、衿取りをしたコートドレス、前を上下に走るボタンなど縦の縞ピンタック、ブリーツ等、何でも縦縞の目立たせるものは有効です。

一、こまかいデザインは胸の邊りにのみおつけ下さい。スカートの上のデザインは絶體にいけません。

一、もしジャケットかケープを着なければならぬ時は、ウエストの長さかそれより短かいものを着ませう。どんなものでもウエストラインより長いものはいけません。

五 均整のとれない人のデザイン

均勢が取れないから洋装は出来ないとしりごみしてゐられる方が多いのではないでせうか。絶対にその考へはおすて下さい。そして勇氣を出しておためし下さい。和服では體の缺點は柄によつておぎなふのみですが、洋服ではどんな缺點をもかくす事が出来るのです。洋服こそはあなたのものです。併しむやみにスタイルを選んだならば反對に洋装をしたため身體の缺點はつきり曝露するおそれがございますから、皆様のために選んだスタイルブツクをよく御覽下さいませ。そしてより合理的で衛生的で個性を生かしたスタイルをお選び下さい。

胸の長すぎる人

一、ウエストラインを中心とする切替をなるべく上にして下さい。

一、全然ウエストラインのないドレスも一つの方法でせう。

一、ワンピースならば上衣をかなり短目にします。

一、少し短目のボレロスーツ等最も効果的です。

ウエストの太い人

ウエストが太いからと云つて細くする事は出来ません。それをスタイルの選び方によつて細く見せることが出来ます。

- 一、ウエストラインを細く見せる爲にはウエストラインの附近をゆつたりとさせることです。即ち肩巾と腰廻りとを太くさせて、それによつてコントラストが生れて幾分細く見えます。それにはウエストライン上下をギャザー等でゆつたりさせたり、スカートにポケット等あしらつて腰廻りを太くつくりします。又ウエスト丈をゆつたりさせませう。
- 一、ウエストラインをはつきり見せる様なスタイル(例へばベルトなしのハイウエスト等)廣いベルトは禁物でせう。なるべく細いベルトを用ひて下さい。
- 一、ボレロスーツが効果的です。そのボレロはウエストより少し上つた位置までの長さにしてボレロの裾巾を普通の中より廣くして下さい。
- 一、オーバーブラウスよりタックインブラウスの方がウエスト線を細く見せます。オーバーブラウスの場合は、丈はスカートとブラウスの間があかない程度の短いブラウス丈にします。そしてギャザー等によつて胸の邊りをゆつたりさせて下さい。

猫背の人のデザイン

猫背の人は後にあまりキリカへを入れて無理にかくす必要はないと思ひますが、幾分そのくせをかくす事は出来ます。

- 一、着物スリーブ、フレンチスリーブ、ラグランスリーブは袖附の縫目がありませんから、特に猫背を強調する恐れがありますから注意しませう。大體に袖附のある普通の袖が無難でせう。
- 一、くせのある所丈に充分のゆとりをつけ他はそのゆとりの分を適當に始末して置く様にします。例へば後肩線袖附線をちぢめておく事もその一つです。後ウエストにギャザーかダーツを充分に入れてゆつたりとして置くのも効果があります。衿元は必ずダーツを取つておく事が無難で自然でせう。
- 一、カラーを付ける時は背中丸味の處までかゝるやうな巾ではいけません。若し廣いカラーをつけたい時(ケープカラー等)は肩の丸味の部分を被つて了ふ程度に廣くして下さい。カラーを附けない時は衿割を割り下げます。即ち猫背の人はタイトな背中にしてはいけません。
- 一、コートの場合は後の緩やかなスワガーなどはよろしい。けれどヨークをつけて、その下からギャザーを入れる場合には猫背の高いところより上から入れてはなりません。



猫背の人のためのスタイル
 撫肩の人のためのスタイル



胸の長すぎる人のためのスタイル

撫肩の人のデザイン

この缺點をおぎなふのは簡単です。このスタイルにはフレンチスリーブ、ラグランスリーブは禁物です。肩にパディングを入れる事を忘れない様にして下さい。そして袖付けにギャザーを充分入れて肩先を幾分高く見せます。又ハイネックは撫肩をよけいに強調しますからおやめなさい。

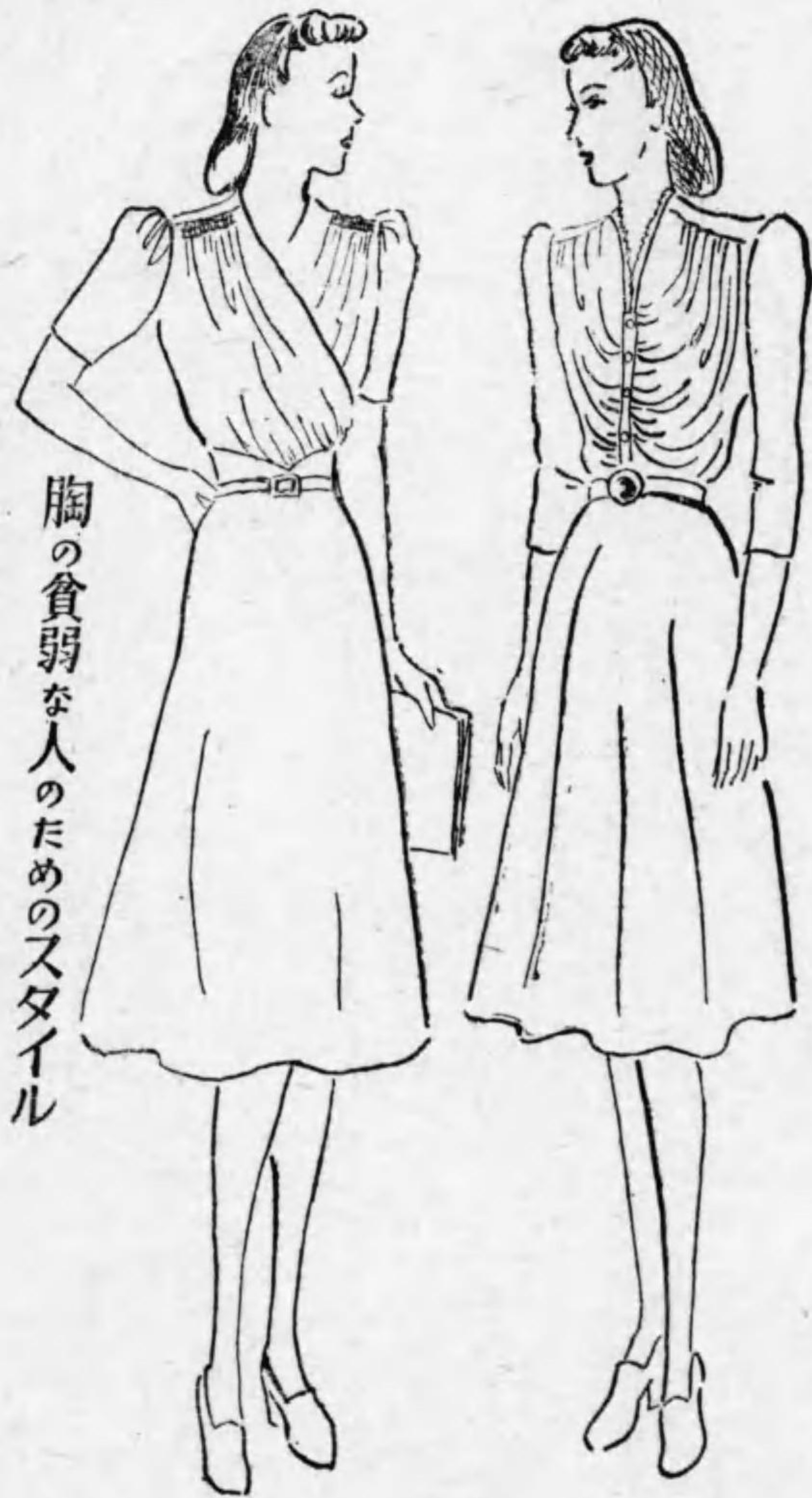
胸の貧弱な人のデザイン

胸の貧弱な人のデザインは大體御承知の事と思ひますが、即ち胸を大きくみせるために前衿ぐり或は肩から充分なギャザー等を入れます。キリカへも勿論必要です。その切替へはなるべく上の方がよろしいでせう。そのキリカへのもとにギャザー、或はタツクを取る事も効果があります。又胸に大きなざりをつけてもよろしいでせう。

衿巾はなるべく小さく目にして胸巾を広く見せる様にします。その外胸廻りを廣目に取つておく事も必要です。

六 大柄の人小柄の人のデザイン

あまり自分は大きすぎるとか、小さ過ぎるから、少しでも大きく見せたいと希つて居られる

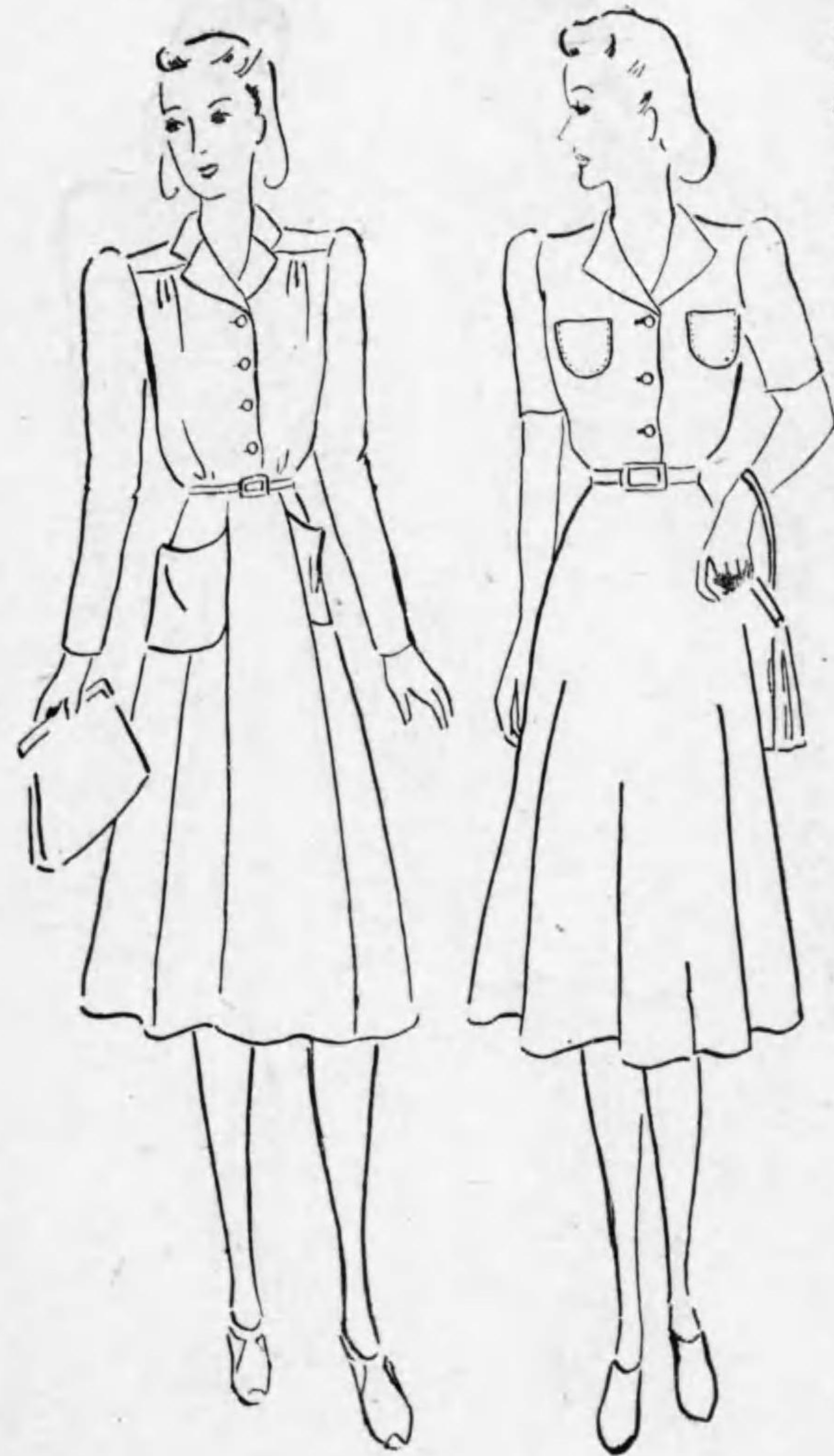


胸の貧弱な人のためのスタイル



小柄の人の

ためのスタイル



大柄の人のためのスタイル

方には適當に小さくも大きくもみせることが出来ます。大柄な人は大まかなデザインをお選び下さい。小さな衿や小さなポケット、カフスはかへつて對照的になつてます。大きく見せまゝ。又大柄な人の布地はこまかい柄のものはいけません。そしてなるべくツイードの方がよろしいです。それもあまりタイトなものよりスカートも裾巾を普通より廣くするために幾分フレアーを入れて下さい。そしてあまり薄物はかへつて大柄を強調しますからいけません。

小柄で均勢の取れた方は出来る丈スーツよりワンピースを着る様にして下さい。スカートはあまり短いものやブリーツの多いものはよくありません。廣いベルトやチューニツク、短かいコートを使用せぬ様に、又スカートの丈を幾分普通より長くしてウエストラインを上げます。大まかなデザインはいけません。小さな衿、カフスをつけて下さい。そしてこみ入つたデザインよりプレーンなドレスをお召し下さい。模様ものはなるべくさげたいものです。花模様をお召しになりたい時は無地のものに凝つた花を片方の肩か衿先又はハートの上におつけ下さい。スーツやオツドジャケットを着る時はボレロタイプのものにしませう。テーラードスーツはより小さくみせますからいけません。

5 性格教養によるスタイルの選び方

スタイルを選ぶには、初めは顔を中心に考へ勝ちなものです。着物の柄を選ぶときは、ことさらに顔との調和をよく考へる習慣だけできめてしまひ勝ちなのです。しかし姿態全體を美しく着こなさなければならぬことは、今までも詳しく述べて参りました。

しかしもつと大切なことは、精神的なあらはれ、性格的なあらはれがスタイルの選定に大切な役割をつとめることを是非考へていたゞかねばなりません。例へば美しい姿態にはめぐまれてゐなくても、教養のある方があります。さうした方は必ず知性的なおちつきがある筈です。形の美しさにまさる精神の洗練が好印象を與へるはずで、知性的な人のスタイルは、おちついた色をえらび、取り亂すことのない好ましい型を身につけて、自分の長所を出来るだけ強調するやうにします。

どんな醜い人でも、何かしら長所をもつてゐるものです。やさしいといふ特色があつたら、やさしい色を基調色として、それに出来るだけやさしい配色を考へます。色ばかりでなく、地

質にも、型にも、柄にも、裝飾にも附屬品にもなるべくやさしさをもちこみます。

性格や教養のやうな精神的なあらはれを無視すると、やはり木に竹をついだやうな不調和が全體の効果をこはしてしまひます。一寸見た感じが淋しいとか、朗かとか、又はおちつきがあるとか、上品とか、さういつた特色を考へて、スタイルをえらばねば、思はぬ失敗をします。長所を強調するばかりでなく、短所をかくすことも考へねばならないのはもちろんです。強すぎる人ならば、やはらかみを持ったドレスにします。顔が淋しい人でしたら、顔の近くの衿ぐりなどに、明るい色を配します。或ひは華かな感じの花を髪にそへるのもいゝでせう。

冬の下着

洋装は夏は涼しくて便利だが、冬は冷えるので和服に着かへる人も相當有りますが、そんな方は下着のつけ方を御存じない方ではないでせうか。下着を完全につけて置きますと、多でも、そんなに心配する様に冷えるものでは有りません。下着を作る材料に、ワールものをお使ひになれば結構です。順序として、一、コンビネーション（二枚用ひてもよろしい。そしてお袖も長くしても短くしても、それは御自由にして下さい）二、コルセット、三、靴下（絹を二枚穿いてもワールのストッキングをお穿きになつてもよろしい）四、毛糸のパンツ、五、スリッパ（絹と毛糸と二枚用ひてもよろしい）六、上着（これでとても温いです）絹物を何枚もかかれて、着られる事も防寒法としてよい法です。

6 年齢による選び方

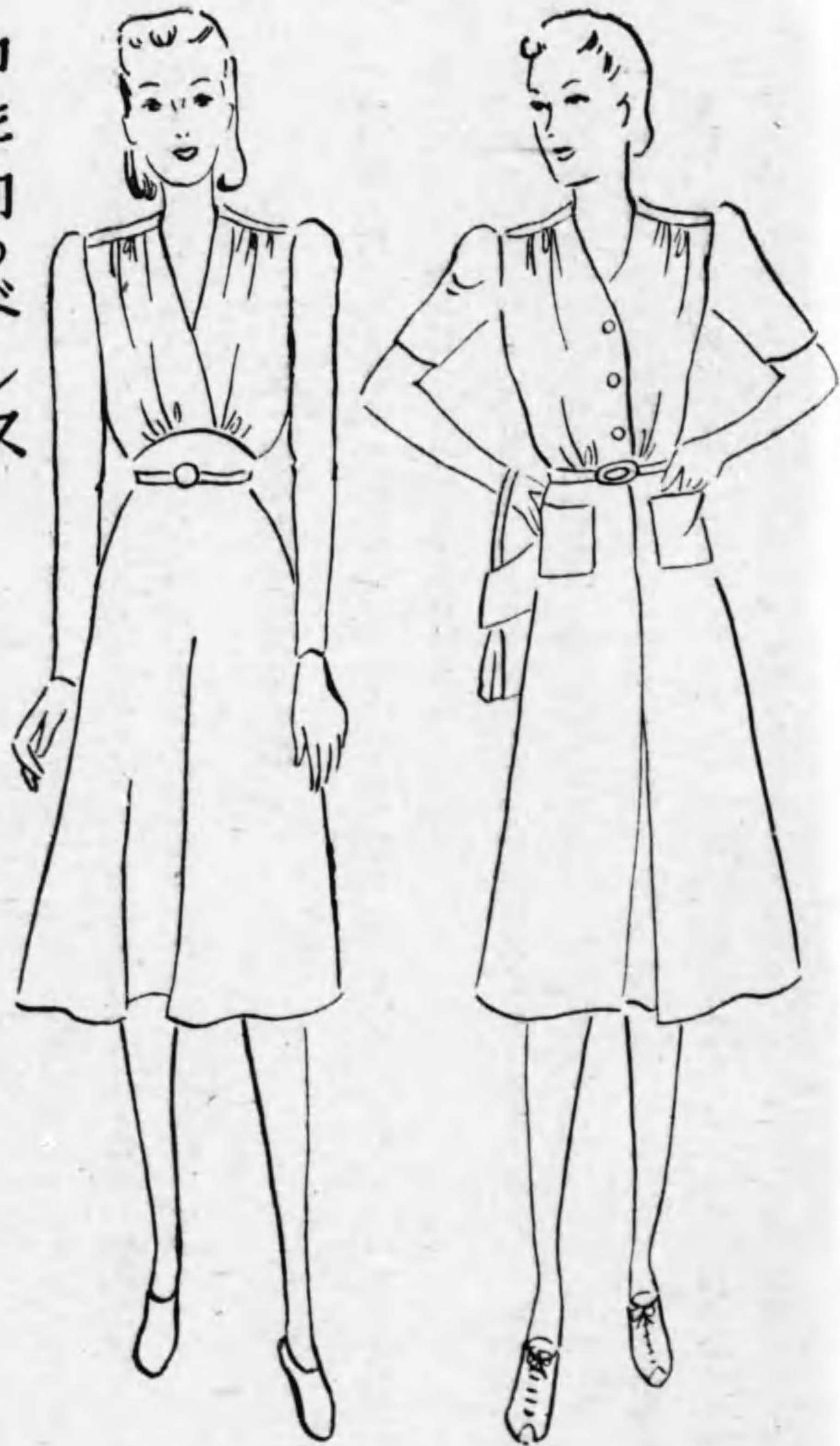
一 子供服に就て

子供服をデザインする際に先づ心得なければならぬことは、發育運動を妨げない、洗濯のきく型と布地を選んで下さい。あまりびつたりしたものはいけません。そして冬はか温くて軽いものを、又脱いだり着たりするに便利なやうなデザインを選びませう。忘れてはならない事は子供らしい可愛いスタイルを選びませう。ませたデザインは禁物です。大體に子供服は着丈を短かくしてギャザーの多く取つた型か、それと反對にプリーツで氣のきいたスタイルが可愛いでせう。

二 若向きドレス

若い人のスタイルを選ぶに最も考へなくてはならないことは、可愛らしく潑刺としたスタイル

中年向のドレス



若向きドレス



ルであることです。スポーティな感じの人は、スポーツドレスがお似合ひでせう。スポーティと云つても出来る丈可愛い服をお選びなさい。特に落着いた方には可愛いものを、例へば袖付ウエストにギャザーを充分つける事も一つでせう。ブレンなデザインよりもギャザー、ダーツを使った愛くるしいものがよろしいのでせう。中年向のスタイルの様に制限はありませんから、個性に合ったデザインであれば思ひきつて着ていたゞきたいものです。

三 中年向きのスタイル

中年婦人向きのスタイルと云つても、太つた人も痩せた方もありますから、一口には申されませんが、一般的にさけていたゞきたいスタイルは、

- 一、衿のつまつたもの、袖付けの上りすぎたもの、袖山のふくらみすぎたもの、ウエストの切りかへのはつきりしたもの、あまり体にびつたり合つたもの等でせう。
- 一、衿の詰つたものは顔型、髪型との關係上似合ひません。衿元のゆつたりしたものは落着きを現しますから痩せた方でも幾分の開きは必要です。袖付の上りすぎたものも同じ事です。上にふくらみをもたせないで横の方へ張る様にします。ブレンな袖のものが無難でせう。おとなしく上品に見せるには全體の身體の線をかくす爲びつたりしたスタイルは禁物です。

7 目的によるスタイルの選び方

新體制の今日、我が國情に合はない洋装は姿をひそめるのは當然のことです。それでイヴニングはもちろん。アフターヌーンさへも、極端にドレッシイなものは見られなくなつて來ました。一枚のドレスを男の洋服のやうに、事務にも外出にも訪問にも使ふ。實際性を考へなければならなくなつて參りました。それで、こゝでは生活の中心が、

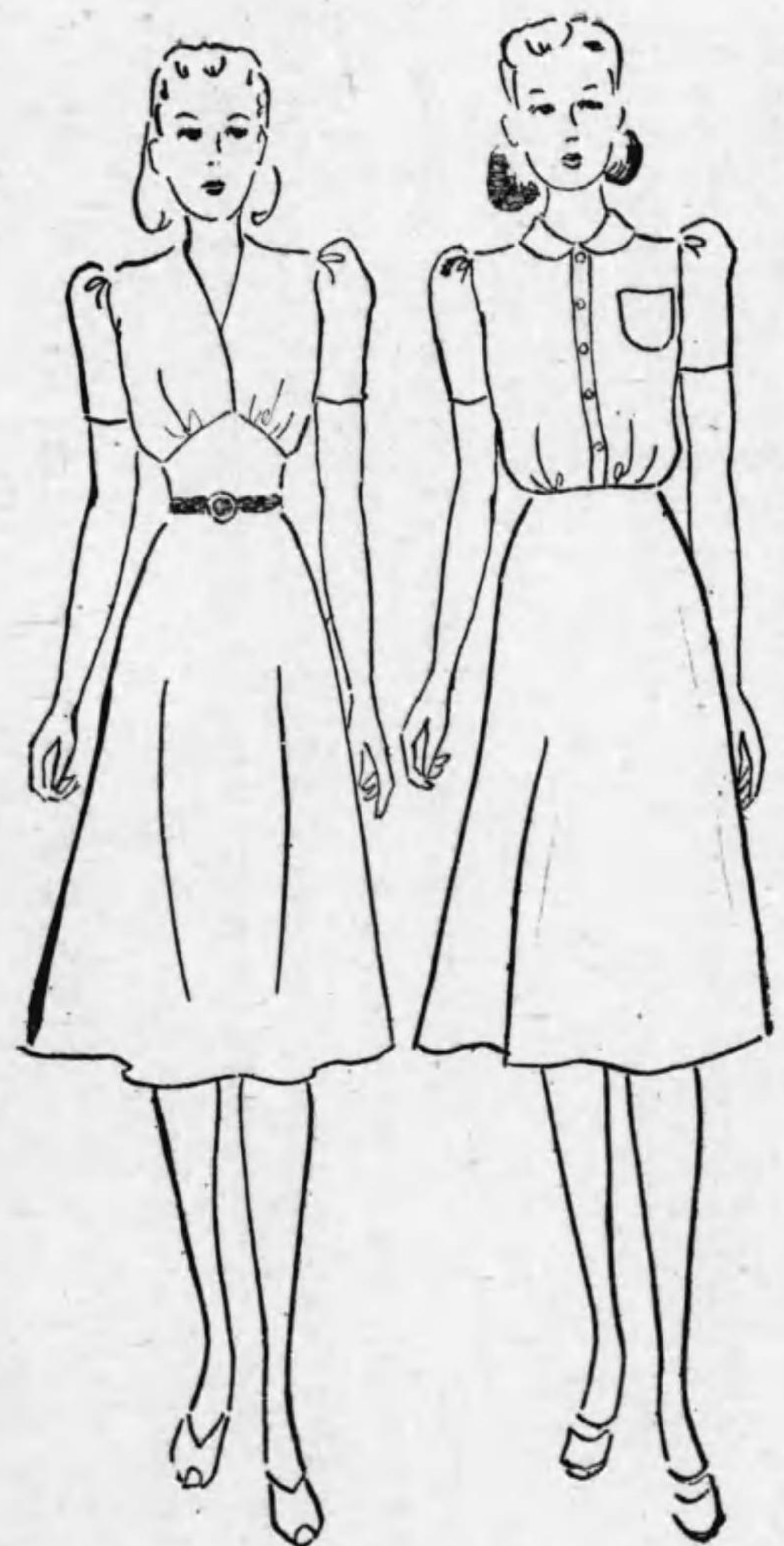
事務所職場等にある人のスタイル。

家庭にゐる女性のためのスタイル。

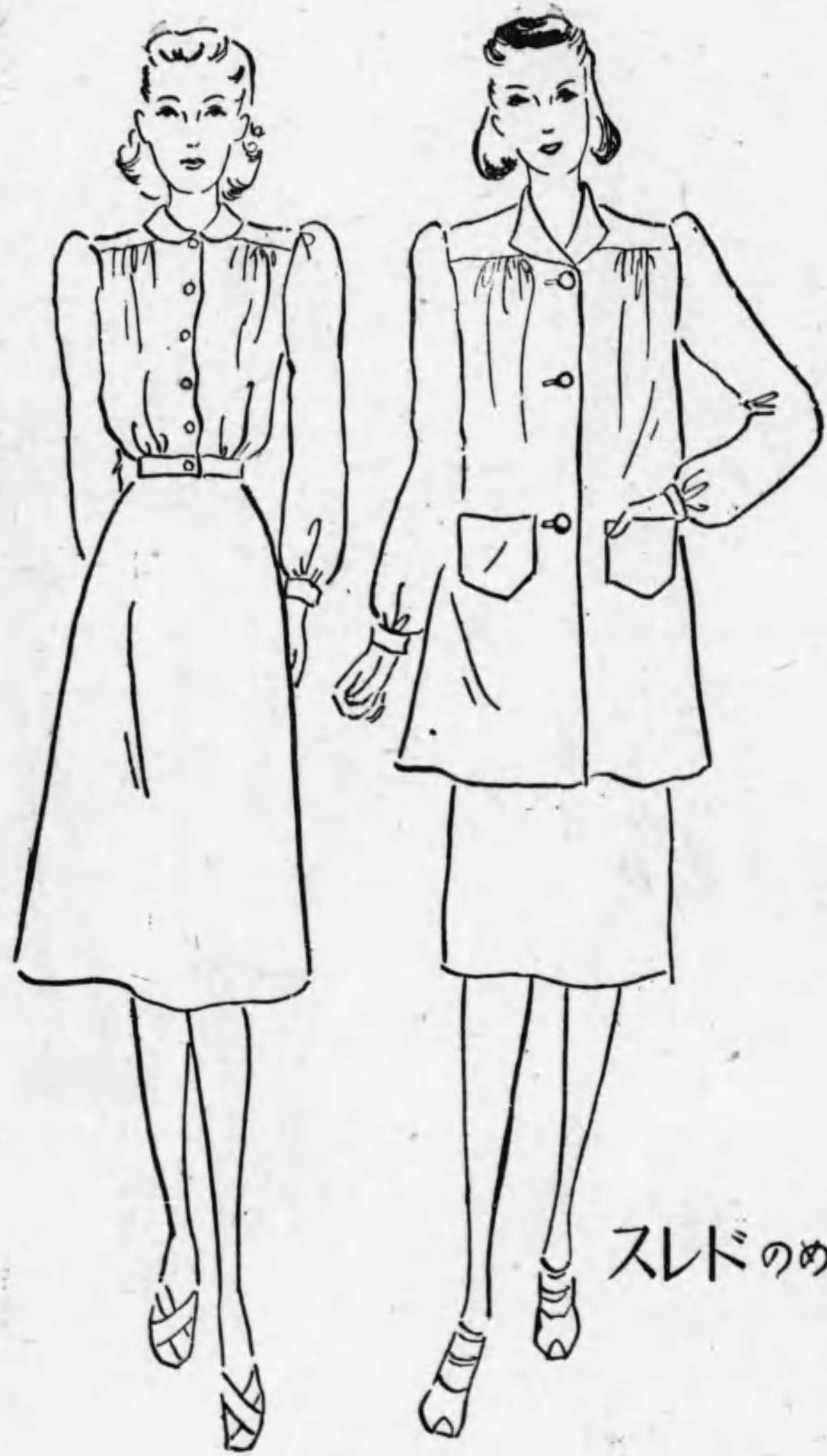
更に外出訪問を主としたスタイル。

スポーツのためのスタイル。

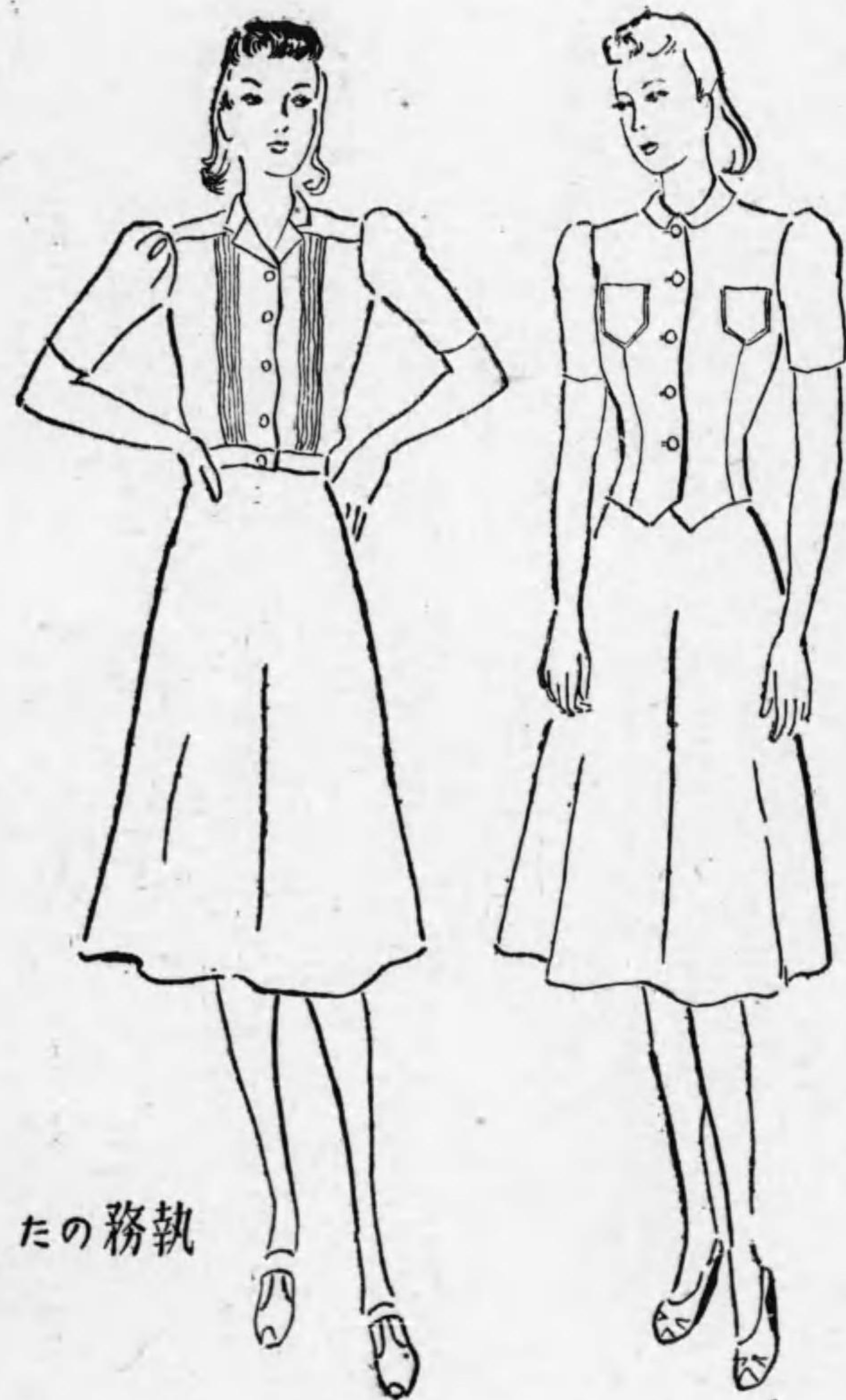
の四つに別けて、その選び方を考へて見たいと思ひます。



家庭を中心としたスタイル

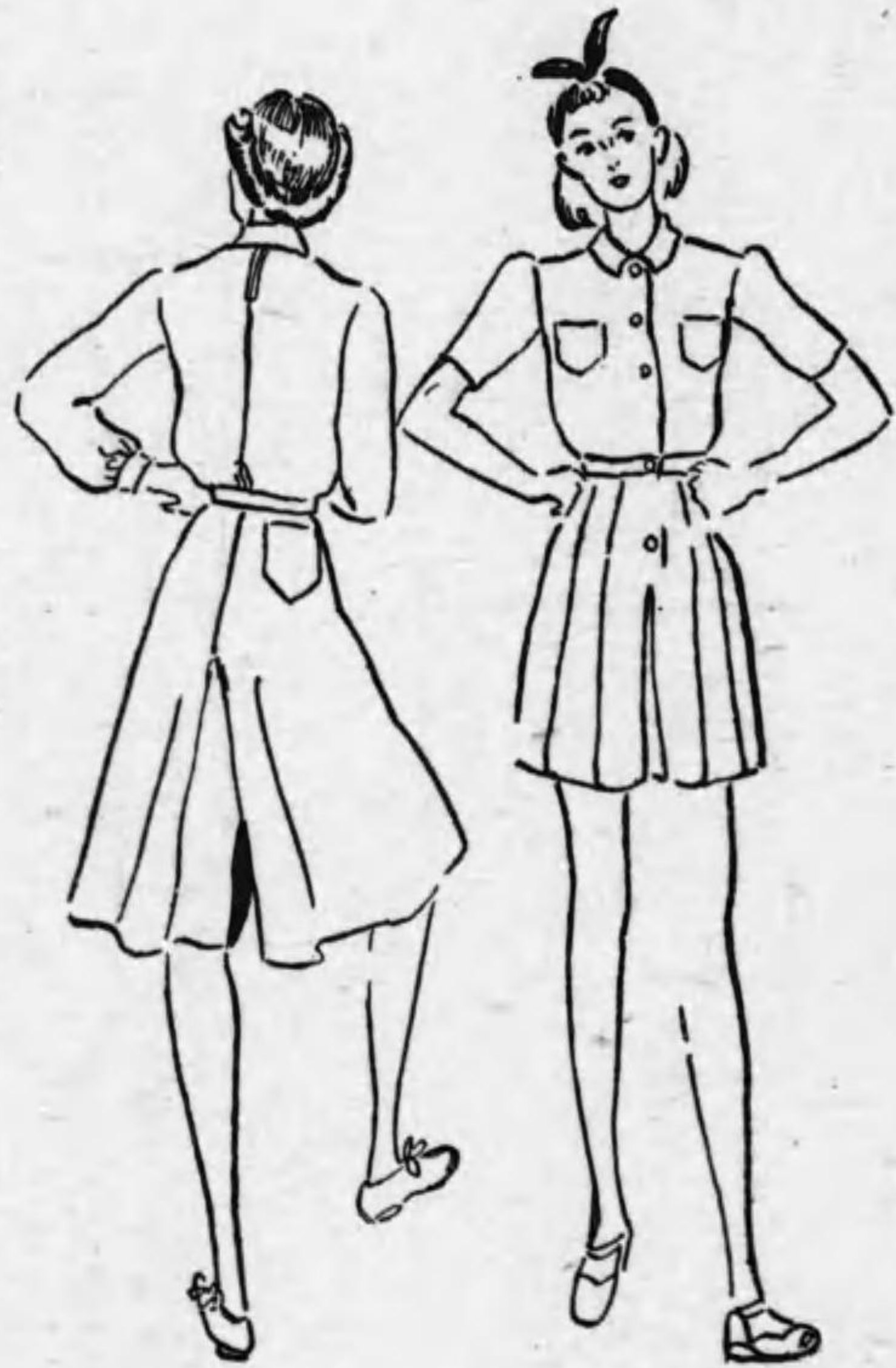


スレドのめ

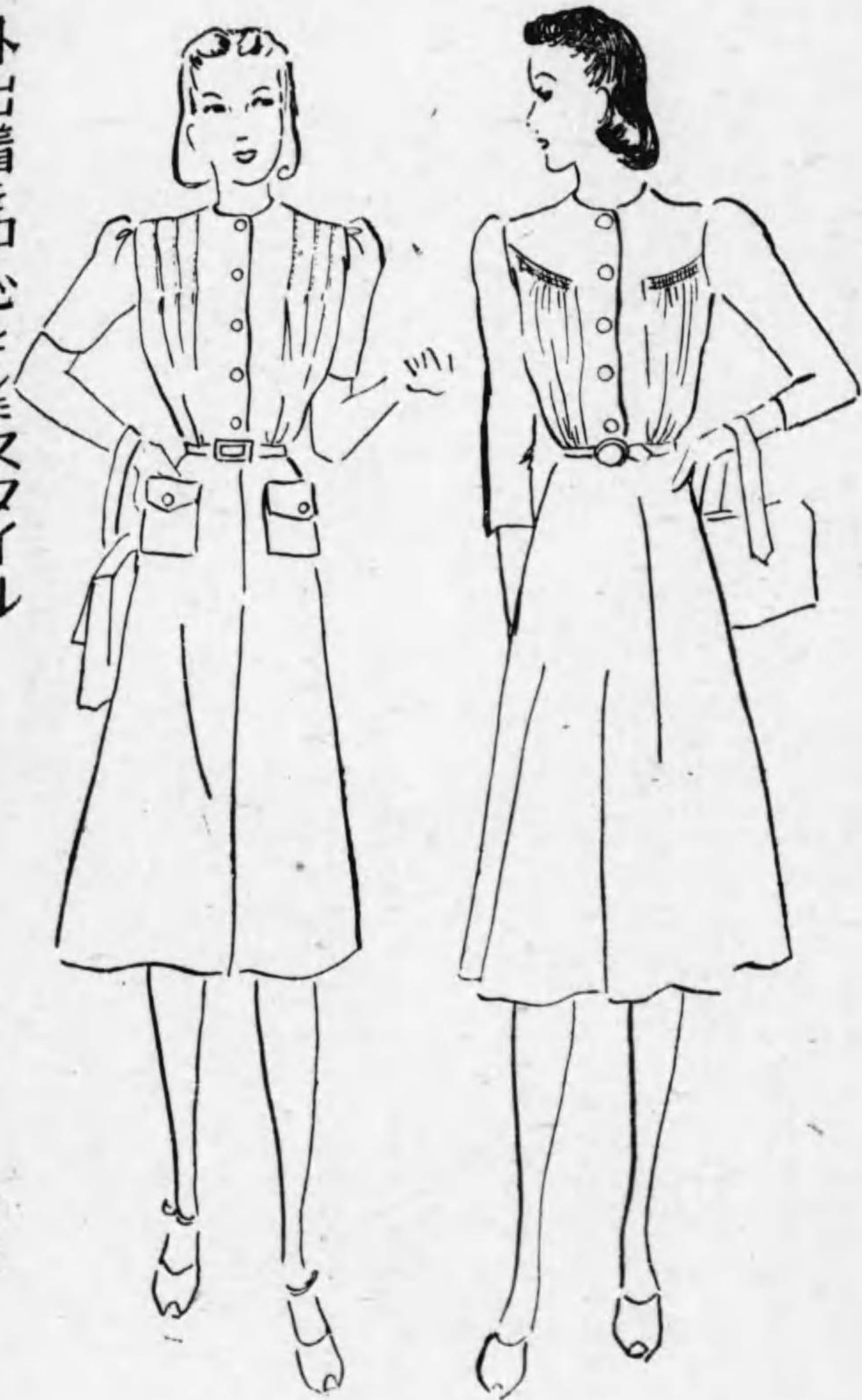


たの務執

スポーツのためのドレス



外出着を中心としたスタイル



II スタイルの見方

1 スカートの種類

スタイルブックによく用ひられる言葉を説明いたしませう。むづかしい言葉のやうでも、形をおのみこみになるのに、そんなに困難は伴ひません。先づスカートの種類から説明申し上げませう。

一、ストレートスカート (細い真直なシルウエットを持つスカート) このスカートは線が非常に單調なものですから薄つぺらの生地は撰ばません。ハングのよい中肉からやゝ地厚のものが欲しい。またテラードスカートとも言はれてゐます。

一、スキングスカート 細いウエストを締め、腰の上部をふんわりと離れて大きくスキングする波。ギャザースカートの事でウエストによせたギャザーがウエストを優しく可愛らしく見せます。

一、フリーテッドスカート ブリーツ(ひだ)のあるスカート。女學生服のスカート。

一、デバインドットスカート 股つきスカートのことで運動する場合、登山の場合にはきます。

一、サスペンダースカート スカートを肩から吊るやうにしたもの。胴廻りと腰の差の多い人種大きくスウイングします。

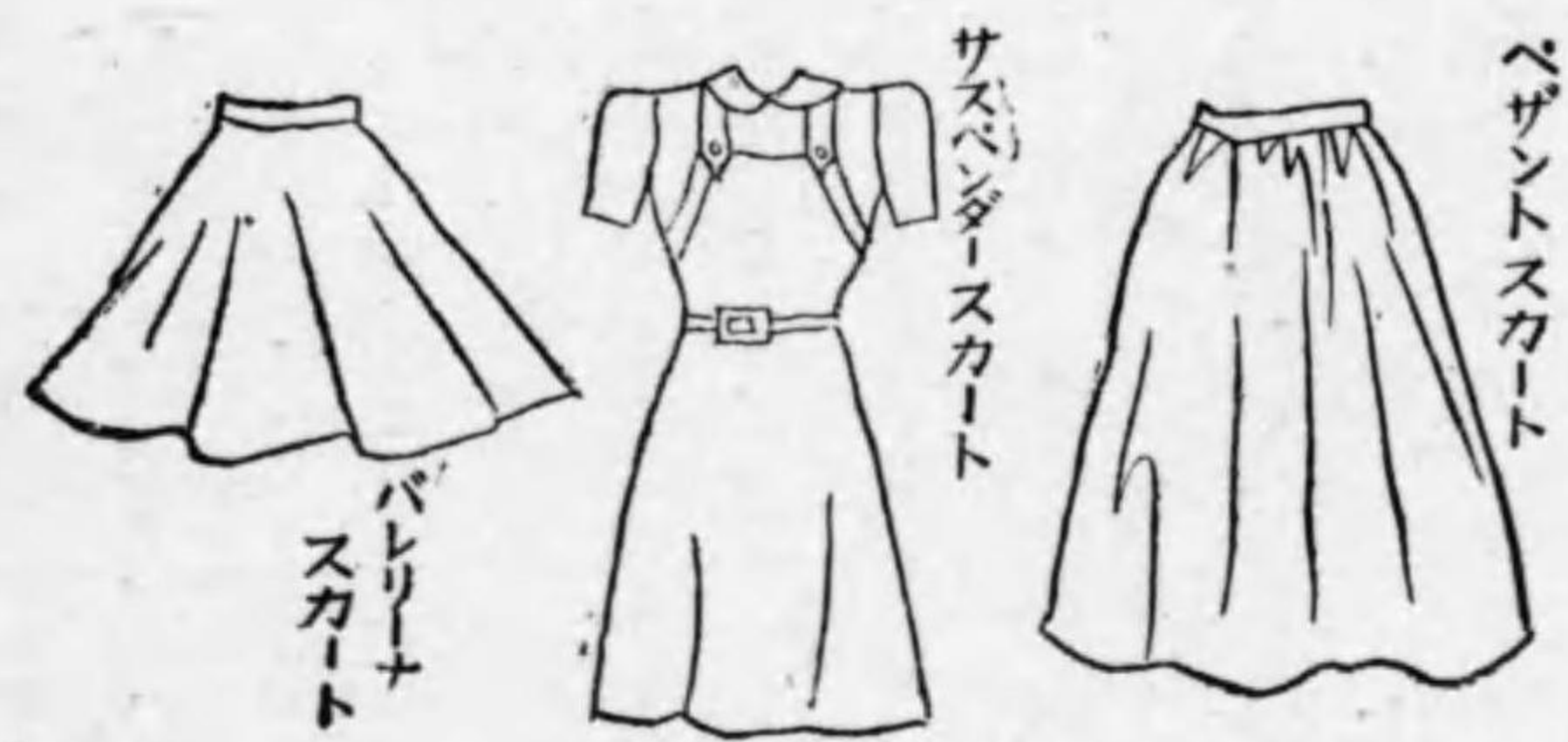
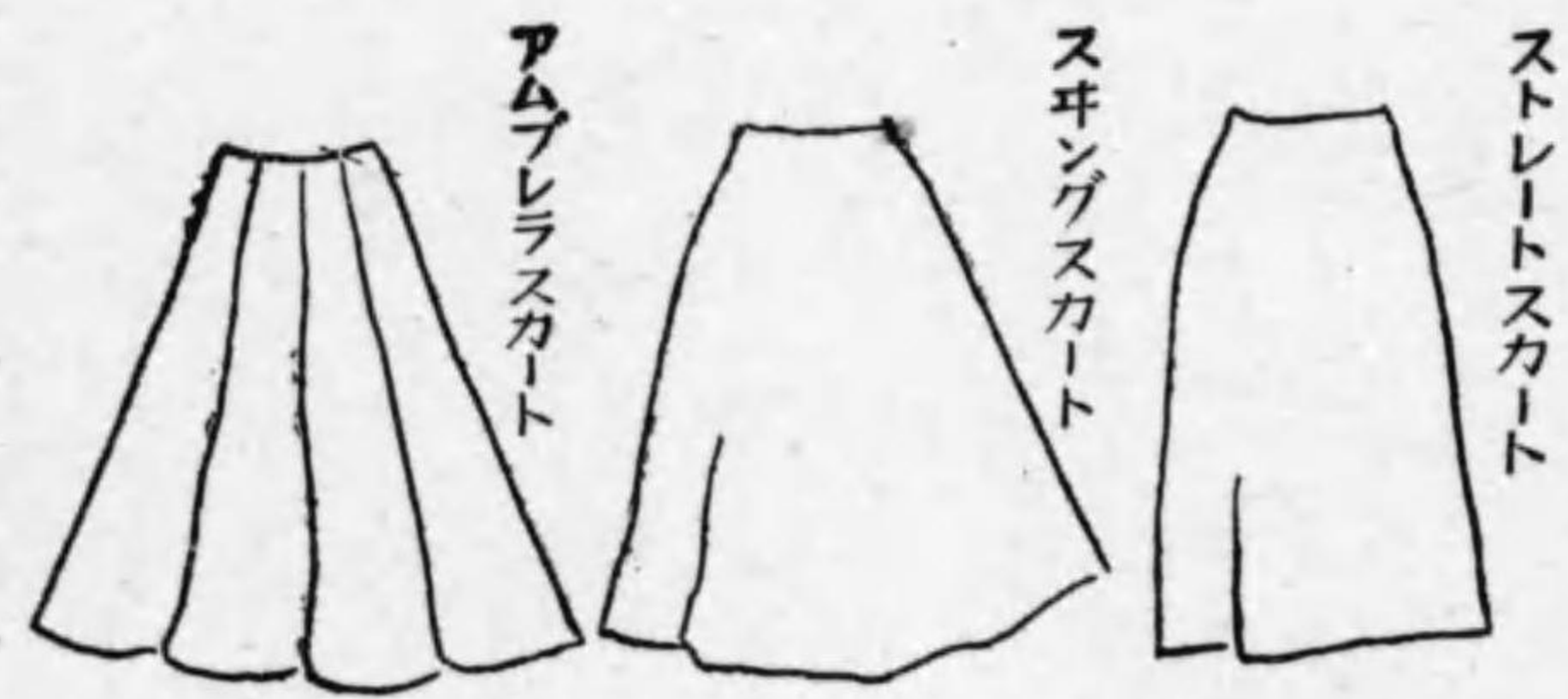
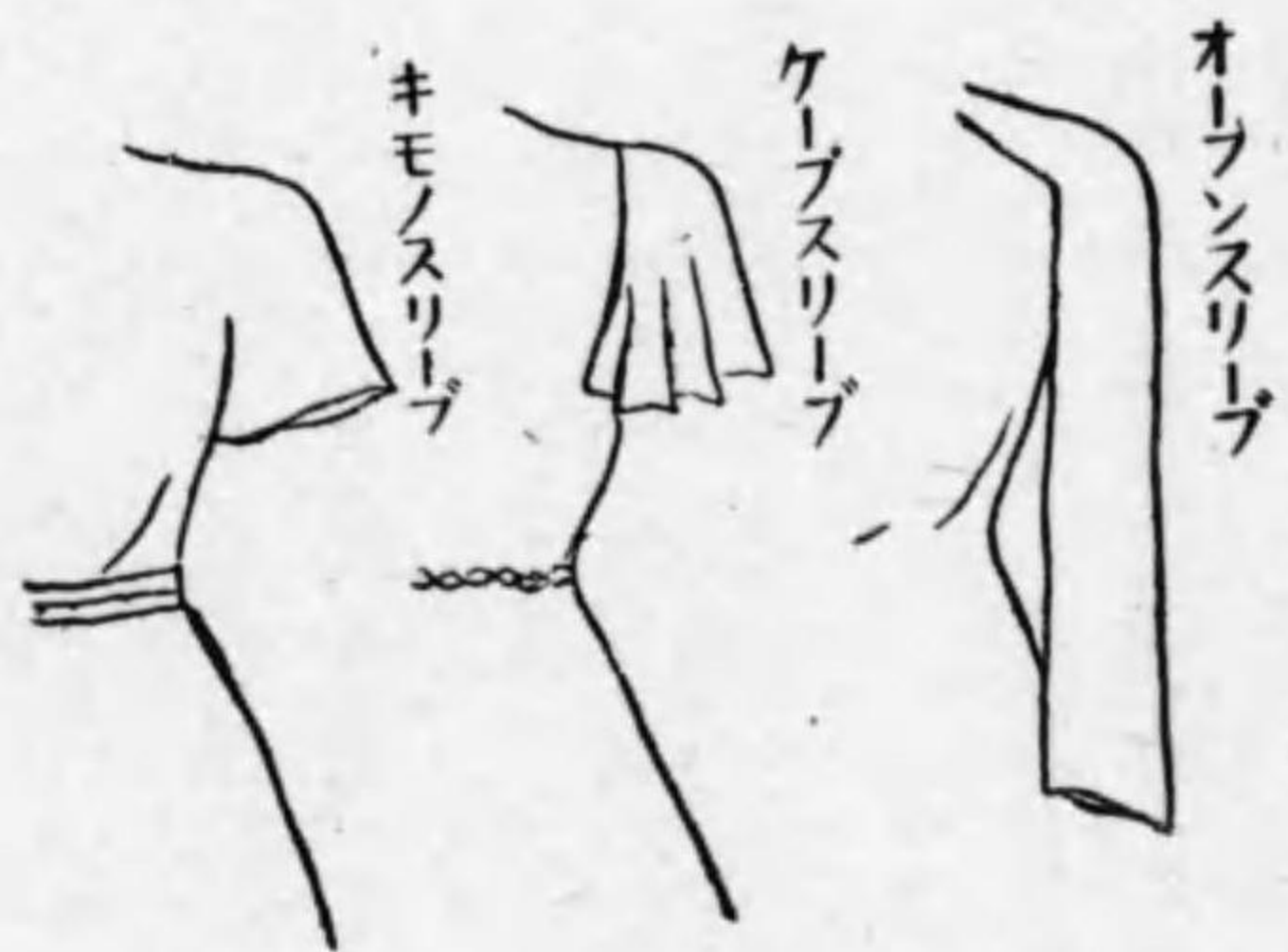
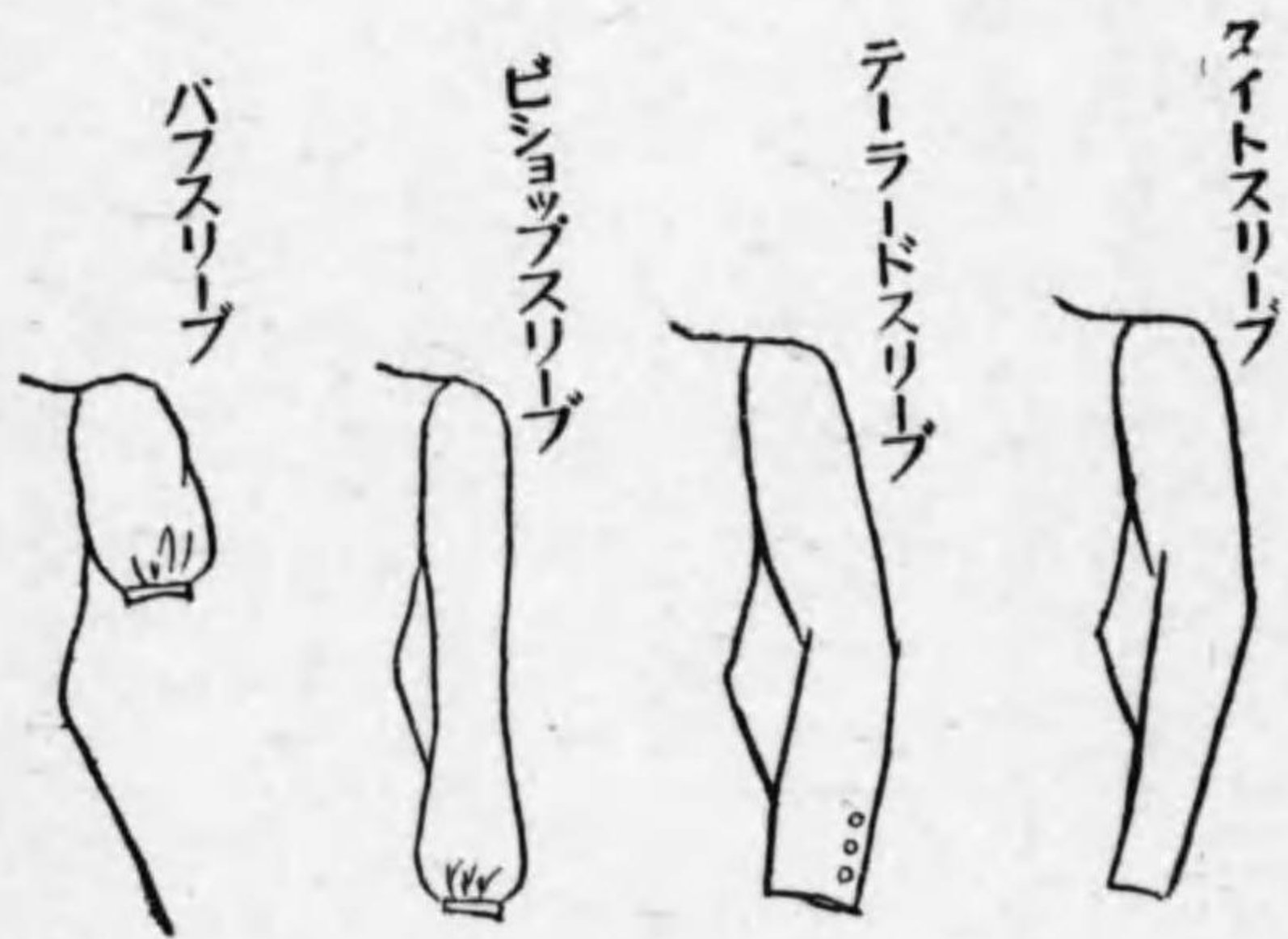
一、フレヤードスカート 腰から裾の方にむかつて朝顔形に開くスカートのことで全然プレーンな一枚布を型紙の上で展開してフレヤーを出す方法と切替線を利用してフレヤーを出す場合とあります。圓く裁つて、フレヤーが多くなつたのをサーキュラースカートと言ひます。

一、バレリーナスカート 踊り子のスカートといふ意味で、海邊用から、今ではスポーティなものに用ひられ出しました。非常に潑刺としたスタイルのスカートで、若い人に喜ばれてゐます。

一、アンブレラスカート 幾枚かの同じ布をはぎ合せ其の縫目を裏からピンタツク(つまみ縫ひ)してコウモリ傘の様な型のスカート。なるべく薄地で張りのある布地で造つて下さい。タフタ、銘仙等がよいでせう。

一、ベザントスカート

2 袖 の 種 類



3 カラーについて

一、フラットカラー 衿附の所からびつたりと身頃に折返つて、頸に被らない扁平なものがフラットカラーの特徴です。でも幾分被せた方が落着きがよろしい。この型は最も普通一般に用ひられます。

一、シヨールカラー 型はフラットカラーと殆んど同様ですが、多く衿に被つてゐる時シヨールカラーと云ひます。これもフラットカラーと同様にドレス、ブラウス等廣く用ひられる型です。

一、セーラーカラー 初めは海軍の水兵服でしたが、衿がスマートなので、すっかり子供服や通學服に取り入れられて歓迎されたのが、今では變り型さへ出來て、若向きの婦人服のカラーとして、喜ばれてゐます。衿ぐりの肩の重なる分の多い場合は、シヨールカラーのセーラー型と云ひ、少い場合はフラットカラーのセーラー型と云ひます。割合スポーツテイなものに用ひられます。

一、ケープカラー ケープの様に肩を被つたカラーのことです。

一、テーラーカラー 男子服のカラーと云ふ意味で男子服の衿に似たカラーのことです。大體に於て堅實な型ですから、用途はやはりスポーツテイなドレスやブラウスに使ひます。テーラーカラーの變形はすこぶる多い。

ジ レ ー

此の頃流行のジレーはとても重寶でございます。着古した半衿でもネクタイでも應用すれば氣のきいたものがつくれます。作り方も簡單ですから、二三枚用意しておけば、代る／＼お召しになれば胸元の感じが斬新で而も經濟的でございます。スーツ等のブラウス代りにおつかひ下さい。フロントジレーも、とても便利でございます。朝夕の少し寒さを感じた時一寸羽被つたり登山等にお召しになります。これも一寸した残り布で應用出來ます。和服で云へばチャンチャンコの役をします。

替 カラー

一枚のドレスでも衿を變へる事によつて色々な感じで着る事が出來ます。それによつて了た衿をいつも美しく洗濯してあるドレスはいつも新しい洋服をつけて居るやうに見えます。そのためには出來る丈衿は替カラーを作つていたゞきたいものです。この襟に一寸氣をきかす事によつて經濟的、衛生的な洋装が出來ます。色、型をかへた替カラーを二三枚作つておいて下さい。

マフラー、ネツカチーフ、スカーフ

これは型によつて名稱が違ふ丈ですべてジレー、替カラーの襟にこれを一寸した異つた感じを出すために衿からのぞかせたり、ベルトにつかふ等しまして、その場所、環境に應じた感じを出して下さい。その他コートの衿のよこれをふせいだり、衿元の寒さをふせぐ用をいたします。

4 洋服の種類

洋服は和服と異り布地の高級下級に拘泥しないで、布地の性質とデザインの違ひで訪問、夜會、招待、買物、散歩、運動それに相應した洋服を着ます。

イヴニングドレス 正式の夜會服ですが、今日ではほとんど着る必要がありません。

アフタヌンドレス 午後に着るもので範圍が非常に廣い。大體袖を長くします。園遊會、招待

又は夜の簡単なお招きぐらひに代用して差支へありません。即ちよそ行き着です。

スポーツドレス 運動服又は輕快な服と云ふ意味で單純で實用向きが特徴です。純然とした運動服の他に散歩服旅行服等も含まれてゐます。

ハウスドレス 家で着る洋服です。働くのに都合よく實用的につくりま

スーツ (組になつてゐる服) チャケットとスカートとブラウスの三つ組を云ひます。大體毛

織物を用ひ木綿、麻、地厚な絹物等で作ります。スポーツイテイ向きのものですが一寸した訪問散歩、旅行、外出、家庭着として用ひられます。



ブラウスとスカート 材料とデザイン次第で外出着、アフタヌーン、イヴニング、スポーツと云ふやうに廣く用ひられます。ブラウスにはオーバーブラウスとタツクインブラウスがあります。オーバーブラウスはスカートの上になる様に着るブラウスのことでタツクインブラウスはスカートの中に入る様に着るブラウスのことです。

スモック 仕事をする時上に着るもの、即ち上ツ張り。

アンサンブル 種々なものを集めて一つの調和を見せるといふことで、ジャケットとスカートとブラウスに形の上にも、色彩の上にも、調和をもたせて、全然別物の感じを與へずに見えるものを云ひます。

パチヤマ ズボンとブラウスからなつた寝衣。

ナイトガウン ドレスの寝衣です。

ネグリチイ 部屋にゐてくつろいだ時に着るもので、ゆるやかに優美にデザインされてあり主に絹物を用ひます。

その外ボレロ、ケープ、コート、レギングス、ジャケット等ありますが大體お解りのことと存じますから述べません。

III 型紙の扱ひ方

I 誤解されてゐる型紙

歐米のスタイルブックは型紙の目録です。外國語がお出来る方は、解説文をお讀みになると、型紙の値段が書いてあるのがすぐお分りになるでせう。マツコールの如きは雑誌發行所を兼ねた、型紙の會社なのです。ドイツにもバイエルのやうな型紙兼雑誌發行の大會社があります。そしてかうした會社ではスタイルブックに發表した各々一つのスタイルについて、それぞれ數萬、又は數十萬の型紙を賣りさばいてゐます。

この事實は何を物語るものでせうか？ 我國の洋裁は洋裁學校が主になつてゐます。歐米にも洋裁學校があるにはあつても、それは洋裁を職業とする人だけが修業する學校です。我國では洋裁學校は上流家庭の子女の花嫁學校の觀を呈してゐます。洋裝普及のためにはかうしたことも必要かもしれませんが、しかし本當から言へば、一般の女性には型紙を自由に裁斷出来る技

術はあまり必要ではありません。洋裁學校に通ふ時間と經費を考へるならば、我國の花嫁學校の例に洩れず、多大のムダがあるわけです。

歐米では一般の女性は型紙を買つて、自分で仕立てます。型紙も數萬、數十萬といふ大量生産なので、きはめて廉價です。そのために洋裁學校に行くムダをはぶくことも出来るし、洋裁は本當に實用的なものになつてしまつてをります。和裁で着物の裁ち方を教へるので、それと同じ考へで型紙がたてなければ洋裁は一人前でないやうにお考へになるかもしれませんが、それはとんでもない誤解です。洋裁は着物のやうに一種類の型に當てはめて裁つのでなく、型が自由自在に變化するので、一寸したお稽古では裁けません。洋裁學校を出た方が割合に洋裁店の手を煩はしていらつしやる傾向があるのも、裁斷の困難から來るのです。

我國では型紙を入手する機會がほとんどなかつたのですが、今後は型紙中心の洋裁に移るやうな機運が強く動き出しました。型紙の普及は洋裁を本當の意味で完成することです。本當の目的を型紙の裁斷におかなかつたのは、以上のやうな使命をもつてゐるからです。裁斷のため多くのページを割きながら、非常に難解な書物になり勝ちだつたのも、むづかしい型紙をどうしても覚えねばならないといふ誤解から出たのでした。

洋裁學校中心から、型紙中心になることは、新體制に應じた生活の合理化でもあり、また今

までより氣輕るに自分の手で自分の物を縫ふことにもなります。

次に型紙から、縫ひ上げまでを、どなたにもわかるやうにやさしく説明いたします。そして洋裁は贅澤なものでない、誰にでも縫える、しかも經濟で衛生的で實用的な服裝だといふことを認識していただきたいと存じます。

仕 上 げ

どんなに立派なお洋服をお仕立てになりましたも仕上げが不充分であればその洋服の立派さは半減いたします。ですから仕上げは丁寧に行なひませう。

絹物の場合はなるべく裏側から軽くアイロンをかけて下さい。木綿物は全體に霧をふきまして、タオル等でつゝんでその濕氣が萬遍なくゆきわたりましたら端から丁寧にアイロンをかけます。毛織物の場合はぬれタオルの様なものをあてその上からアイロンをつよくかけます。もつと丁寧にするにはその布がすつかり乾くまで押付けてかけます。更に絞直して今度は軽くアイロンをかけます。

アイロンをかけるには、ロンピースなら先づスカート全體をかけ、ウエストの前後をかけ、カラー袖と移ります。コートは、前後の裾をかけ身頃全體にかけ前打合、カラーの裏表とかけ、折山から折返して形をつけます。裏は全體に只アイロンをあてます。最後に袖にかけますが袖附は特に丁寧にかけて下さい。一般的の注意として縫代にきせをかけぬやうにすること、そしてスナップ、ホック、釦などは仕上げがすんでからつけて下さい。あまり暑いアイロンをかけますと布をあててありましても布をいためるおそれがございますから注意していただきたい、そうかと云つてあまりぬるいアイロンは濕氣をすひ取りませんからその効果がないのでその點適當に加減して下さい。

2 型紙の直し方

一 型紙の寸法

型紙は二通りに分けることが出来ます。つまり特別に一人の人の寸法に合わせて裁断した特別裁断の型紙と、標準寸法によつて裁断した標準型紙です。標準型紙と言つても、大柄な人、中肉の人、小柄な人と三つに別けますので、大抵の方には假縫ひの時に一寸直していただくだけで、充分に間に合ひます。我が洋裁部で使用してゐるのは左の通りの寸法になつてゐます。

	胸廻り	ウエスト廻り	腰廻り	肩幅	背丈
大	八七糎	七一糎	九七糎	一一・五糎	三八糎
中	八四糎	六八糎	九四糎	一一・二糎	三七糎
小	八一糎	六五糎	九一糎	一一・五糎	三六糎

御注文なさるには、自分で寸法をはかつて、大中小いづれに屬するか決定しなければなりません。もつともウエストが八五糎以上の方は、特大として、裁断することになつてゐま

す。

寸法を計るには下着をきちんとつけ、正しい姿勢でテープ尺で計ります。

胸廻り 乳の一ばん高い所へテープ尺をのせ、横から見て水平になつてゐる位置で、胸の廻りを計ります。

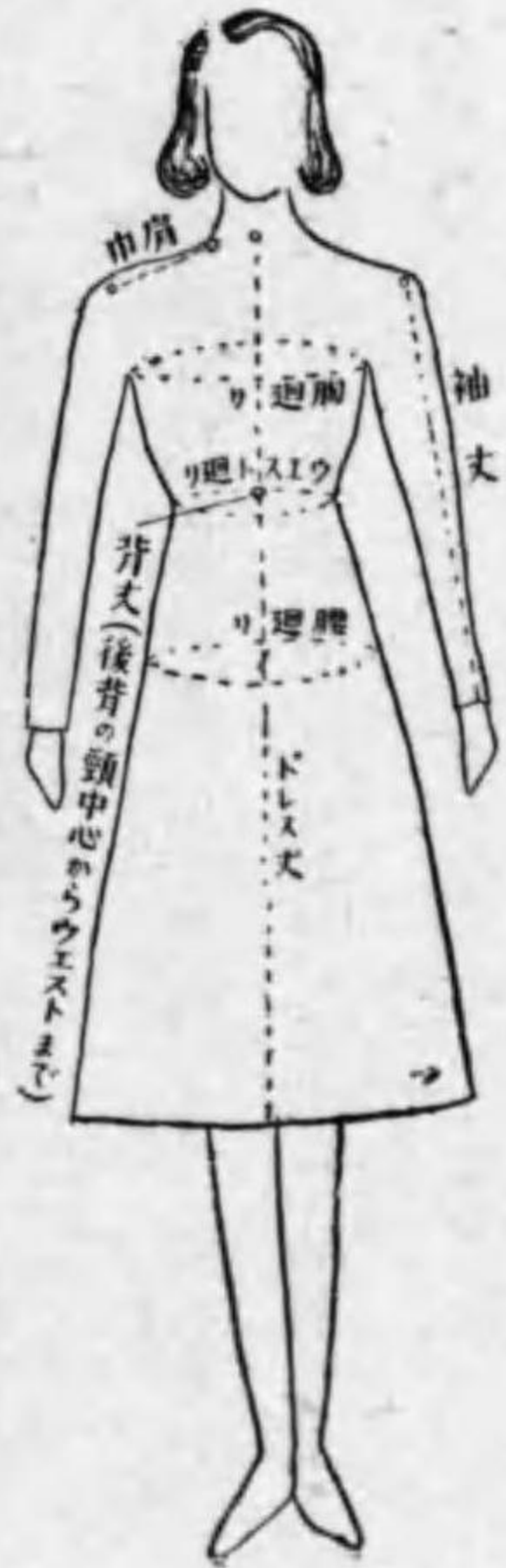
ウエスト廻り 胴の一ばん細い所をゆるやかにはかります。

腰廻り 腰の一ばん太い處の廻りを普通に計ります。

肩幅 肩の眞上から心持ち後寄りの處で、首の附根から、袖附として丁度よい、肩として一ばん高い所まで。

背丈 首の附根からウエスト廻りまで、背骨の上をはかります。

この他に首廻り、胸巾、背巾、乳下り、ヒップ下り、總丈、着丈、スカート丈、袖丈、腕廻り、掌廻り等ありますが、標準型紙では大體假縫ひで直せる程度の狂ひしかないので、お計りにならなくても、ピッタリした仕立てが得られます。



子供服標準寸法表

名 稱	二歳	四歳	六歳	八歳	十歳	十二歳	十四歳
肩 巾	7.5	8.1	8.8	9.5	10.0	10.9	11.5
背 丈	19	22	24	27	29.5	31	34
胸 廻 り	63	67	71	75	79	83	87
袖 丈	22	29	30	34	40	46	48
着 丈	46	50	56	63	69	71	81

二 子供服の寸法

子供服は年齢別の寸法によるのが便利です。婦人服のやうに厳密に合はせる必要がありませんし、年齢別寸法で充分にピッタリした服が得られます。

三 型紙の直し方

型紙を手に入れたら、デザイン上寸法の間違ひはないか確かめた方が安全です。ワンピースでしたら、身頃のウエストとスカートのウエストが合ふかどうか、又袖割りと身頃の割りに狂ひがないかおしらべになつて下さい。

型紙に使はれる言葉

型紙に使はれてゐる言葉で、和裁と同じものは説明の必要もありませんが、洋裁だけの言葉がありますので説明申し上げます。

ヨーク 胸とか肩の切替えの部分。

切替線 型紙には「切替線」といふスタンプが二箇所におしてあります。服の形に變化を與へるために接ぎ合せる線をいふのです。「切替線」といふスタンプの所を縫ひ合はせて下さい。

ギャザー分 ギャザーといふのは、細い針目で縫つて、糸を引いて縮めたものです。型紙にギャザー分とあるのは、ギャザーをよせるために必要な分量を指してゐます。

タツク も、ひだの一種ですが、タツクのスタンプのある部分の匏と匏とを合せて二つ折にして縫つたものです。

ダーツ は、三角形になつてゐますから、その部分だけをつまんで縫ひ消します。

型紙の假縫ひ

身體にあてゝ寸法を直すだけでなく是非型紙の假縫ひをなさることをおすゝめ致します。もちろん型紙は後で布をたつ時に使ふ大切なものですから、破かないやうに充分に御注意下さい。假縫ひしたものを着てスタイルブックのスタイルを見ながら自分に合つてゐるかどうか、各部分の寸法を見て型紙で訂正します。初心の方は詰めすぎる傾向がありますので氣をつけて下さい。

衿ぐりの位置は御自分の選んだスタイルとどうか、よく見て下さい。次に御袖ですがタツク

のお袖とかダーツのお袖などは、前にも申しました様につまんで置いての肩一番高い所におおて下さい。少しでも後に寄り過ぎたり、前に寄り過ぎたりしますと、感じよく出来ませんから御注意下さい。それからお袖口、袖下が餘り太くても困ります。カラーも虫ピンで當て、見下下さい。型紙の方では大體の所を見て置て下されば後で布を裁つのに便利なわけです。假縫ひの時に初心の方は詰めすぎる傾向がありますので、御注意になつて下さい。

型紙の直し方 次に假縫しました、型紙に御自分で太いと思つた所、デザインの入れた所が高過ぎたとか、低過ぎたと思つた所に、ゆるみが多すぎたとか思つた所など鉛筆か何かで印をして戴きます。そしてあらたに、狭すぎた所を出すとかして、縫代を取るなり、多くするなりして戴きます。

3 用布の扱ひ方

一 用布の見積り

洋服一着をこさへるにはどれだけの生地がいるか？ 着物ならば一反二反ときまつただけしか買ふことが出来ませんので、問題はありますが、洋服の生地は欲しいだけ、どれだけの丈でも買ふことが出来ます。それで用布がどの位いるか、その見積り方を説明して見ませう。七十一纏巾、九十二纏巾（主に絹物）一米四十二纏巾の三種類について述べます。

七十一纏巾

ドレス の普通の簡單なものは、着丈の二倍、袖一丈、それに縫代を加へた寸法が見積りの用布になります。其のカラーならば、やはり計算に入れねばなりません。大きな袖は二丈に見積ります。普通のドレスは三メートル半から約四メートルです。

コート 着丈に縫代を加へたもの、四倍見當。ダブルで二メートル半前後です。

九十二 纏巾

ドレス ウエストに接ぎを入れるのと、入れないので、見積りが違ひます。接ぎを入れない時ならば、着丈の二倍に袖一丈分を加へます。其のカラーならば、その分を見積りに加へます。ウエストに接ぎのある場合は、上身頃一丈にスカート二丈、袖一丈と見積るのが普通です。身頃は大人用でも、型紙の標準寸法の小の人ならば一巾の中に前後が並びますが、それよりも大柄の方でしたら、二丈要ませう。フレーヤの多いスカートは三丈として見つもつて下さい。

コート 袖は二丈、身頃は二丈、それにカラー一分。見返しは袖の脇から取れるものです。

一米四十二 纏巾

ドレス デザインがこんでない普通の場合ならば、着丈一丈袖一丈、分で結構、二三歳用の簡単な子供ならば袖二丈で充分です。

コート 着丈の二倍、縫代。

ブラウス ドレスとほとんど同じで、五六歳用までの子供のブラウスならば、袖二丈で充分。

以上、大體の見積りでも、もちろんデザインによつて用布にも変化があるはずです。型紙を適當に、用布の上に配置して、お考へになるのが一番安全です。

二 地のしの方法

布を裁つ前には、必ずアイロンで地伸しをして下さい。地を縮まるだけ縮め、布目を正しくしておかないと、折角仕立ても、仕上げの時に狂ひを生じます。雨や濕氣にあつても、やはり狂つて、しわがよります。一ばんよく行はれてゐる方法は次の通りです。

木綿物 水につけ、濕氣の程度で、アイロンをかけます。又霧吹きで濕氣をもたせてプレスするのも、よく行はれる方法です。

絹物 裏からアイロンをかけるだけで結構。

毛織物 霧をふいて、すぐにアイロンをかけても地伸しの役に立ちません。霧をふいたら、しばらく濕氣が行きわたるやうに時間をおいて下さい。又アイロンも端から、強いアイロンで乾かすやうにします。この時注意していただきたいことは、アイロンを地の目に沿つて使ふことで、かうすれば布目を正しく整へることが出来ます。

三 布を裁つ前に

地伸しがすんだら、いよいよ布を裁ちます。

木綿物 前中央が輪になつてゐましたら、布を二重に折つて、輪の中央線を揃へます。その上に型紙をあて、型紙を虫ピンで適當に止め、型紙のルレットの上を筧します。縫代は型紙についてゐますので、型紙通りに裁切つていたゞいて結構です。

絹織物 八十番のカタン糸で、置襷をいたします。

次に述べます毛織物もやはり同様です。

毛織物の場合 先づ型紙を布の上のせ、チャコで型紙通りにうつし、ルレットの上をシロモ二本で縫ひつけ、後、紙をとりのぞき、チャコの上をたち切りします。中心、中心に標をつけておきます。例へばスカートの中心、後身頃の中心、襷山の筧、ポケット等の切襷で標しておくことをわすれないやうにしておいて下さい。

ウールものはづれやすいので、よく虫ピンでとめて下さい。置襷がオーバーの時にとほらなかつたりしますので、衿に御注意が大切です。

4 假縫ひの仕方

型紙で一度假縫ひをいたしました、布の假縫ひは一層慎重に行つていたゞきたいものです。ことに布になれば、型紙のときは違つて、服の感じがハッキリして來ます。或ひはその人の身體に合せて作つた洋裁型紙でも、假縫ひになつて見ると、服の感じとその身體がピッタリしないことが多いのです。個性といふのは寸法だけではどうしてとらへることが出來ない。もつと微妙なものです。型紙も寸法が合つてゐるからといつて、假縫ひをしないと、飛んでもないものが出來上ります。似合ふ服を作るためには、入念に假縫ひをしていたゞきたいと存じます。

一 假縫ひの仕方

木綿毛織の場合にはシロモで絹物は八十番のカタン糸をお用ゐ下さい。先づ標と標とをよく合せて、きちんと縫つて戴きます。

身頃 前後の切替のあるものは接いで片返しにします。カーブのついてゐる場合は裁切り

を伸ばしたまゝ標を合せて重ね縫ひにします。次にウエストとスカートの切替を接ぎます。その時
ダーツ、タック等がありましたら、つまんでおきます。ウエストラインには型紙通りにギャザー
やダーツをよせ、スカートのウエストと同寸に致します。ギャザー等の位置はお乳の下です。胸
中央から十糎五耗の邊を中心にして左右消すのが標準です。後も同様にしなければなりません
スカート のウエストラインを折つて身頃に重ね上から縫ひます。

肩 前明があれば別ですが、前明きがないものは一方の肩を頭廻より二糎位多く縫ひあけて
おき他を片返して縫ひます。縫代は前に返します。

脇縫 次に脇縫を縫ひます。左脇に明を作つて下さい。あきは本縫より少しゆつくりした
方がいゝでせう。ウエストラインを中心にして、上の方に十糎、下は十五糎位あけ、他を中表
に、或は片返しに縫ひ合はせます。

裾の折返し 二つ折、奥を粗くとめます。

カラー 金布か新モスの様な布の一枚裁ち。假にその位置につけて見るべきですが本縫のや
うに縫ひつけてしまふと縫代がつかれますから、縫ひ重ねます。肩明の場合は肩から前の方は縫
ひつけないで、着た後に蟲ピンで止めませう。

袖 袖下を中表に合せて縫ひます。袖先はギャザーを型紙の位置によせ、カフスは袖先をは
さんでつけるか、又は折返しのものなど一寸止めておきます。カフスの附かない場合は二つ折
にして止めて置きます。

袖山 の方はシロモ糸で出来上り線より三耗ほど外を二本ほど細かく縫つて縮めておきま
す。袖山を身頃肩の縫目より二糎前寄りの點と中表に合せてピンを打ち、袖全體をゆるめて待
針をし、袖の方を見て縫ひます。

附屬品 ポケット胸飾釦など紙で裁つて出来上りの形に切つて、大體の感じを見るために、
丁度その位置に縫ひつけます。何よりも服の感じを見るのが大切ですが、假縫ひですから、本
縫ひ同様にする必要はなく、ほんのしるしだけで分るはづです。たとへば釦ボールのところは糸
印でもいゝわけです。ベルトの所に別布をあてたり、刺繡のあるものならば糸でデザイン通り
にしるして見るのも方法でせう。

二 假縫ひ寸法の直し方

假縫ひが出来ましたら着て見ますが、着る時に注意する事は、その服を着る時の下着をすつか
り着て下さい。肩や脇のあきを全部とち正しい姿勢で姿見の前に立ちます。

最初に全體の形を見ます。しつくり似合ふ様にデザインされてゐるかどうかを見て、全體に

個性に合つたものにしてゆくことが非常に大切です。直すときは全部蟲ピンでつまんだり位置を印したりして置いて、脱いだ後から、その通りに糸で標をします。

ウエストライン ウエストラインが、上過ぎないか、又は下過ぎないか、前後を横から見てもがんでゐないのか、と注意します。なるべくその人の體格に合せ、腰の一番細い所に定めるやうにして下さい。此の時前下りを附け過ぎた爲に前が下つたりします。ウエストの五六釐上を軽くつまんで、前と後と平らになるやうにしてピンで止めます。ゆるみの調節は脇でします。ギアザーやダーツの位置を直す時は後の方は、肩の下前は乳の高い處の下で自然に左右に消すやうにします。

上身頃 ウエストをつめすぎると、乳の下の前後に皺がよることがあります。これはウエストラインに切替えがない場合によく起ることなのです。乳の下邊りからダーツを入れて消すやうにいたしませう。又腕のつけ根から少し下の方にも、斜の皺が出来勝ちなものです。これは肩先に縫込めばいゝのです。肩上が足りなかつたためです。

腋の下の眞横には深い皺がよりはしませんか。それならばきつと胸廻りのゆるみが足りないに違ひありません。もしかしたら袖割が浅すぎはしないかと、一應嫌疑をかけて見ることに、身體の均衡のとれぬ人のためのスタイルの選び方の點でも、いろいろ申し上げました。が、是非

参照して照らし合せてごらんになつて下さい。後肩の邊が発達してゐて、衿割が後に引かれるやうでしたら、衿割の縫代分を利用して、衿割をくり上げて、肩の縫目も前の方へ廻すやうにすればいゝのです。

肩の骨が出張つてゐて、後袖付が引かれて逃げるやうな人は、前肩縫目に小皺が出来るものです。それならば、肩の縫目と袖附を一先づ解いて、前肩を伸ばし、後といふ加減にします。

スカート きつすぎるのが禁物。ことに肥りすぎてゐる人には大禁物。肥えてゐることを一目瞭然と廣告して歩くやうなものです。變な皺が出来たら、これも弛みが足りない證據ですから、ほどこいて適當にゆるくしなければなりません。

後ウエストもすつきりしない所です。不自然な横皺は、つまみ上げてピンで止めておいて後で、ウエストラインで割り落すやうにします。しかし何でも彼でも割り落せるわけではなく、二釐以上は無理だと御承知おき下さい。

身體の缺點が、スカートにはすぐに出ます。ウエストからヒツプ廻りまで長い人は實際のヒツプ廻りよりも少し上からゆるみをつければ、缺點はかくしてしまふことが出来ます。何よりも先に自分の身體の缺點を知り、それを巧みにかくすることが出来るのが、和裁にない、洋裁の面白い所です。

後腰のウエストから下が凹んでゐたり、骨盤が出てゐる人は、縦に放射状にダーツを入れればよろしい。

ブリーウの間隔も注意して直すことの一つ。フレヤーならば、波の工合を見て調節しませう。平均に波が立たないで一部にだけ波が寄つてゐるやうな時は、ウエストの切替を解て下げて見るとか或はちよつとつまみ上げて適當にフレヤーをもたせ、蟲ピンでとめておきます。脇の縫目なども前の方や或は後の方に傾いたのは見難いものです。ピンで正しい位置に標しませう。またベルドのあるものは、ウエイストラインに、一應軽く紐をしめて見ます。これは丈を見るのです。この時靴の高さも考へて下さい。床に角尺を立て、好みの床上り方法の所に、前後左右平らにピンでしるしをします。

袖附の具合 袖附は一ばん六ケしい所です。標準通りにしても合はない事があります。

腕の付け根の一番高い處に山があればいいのですが、腕が前寄りについてゐる人、例へば猫背の人などは、比較的腕が前寄りです。普通にしますと袖が捻れて見えますから、山の位置を前寄りに直しませう。弛みの工合も山を前寄りにしたら、前方に割合に多くつける様にします。腋の處から袖山の方に向つて皺が澤山出た場合は、袖山が低すぎたのです。だから袖山の高さを増します。その分は袖先で出せばいゝでせう。肱を曲げて腕廻りの太さ、丈、袖先のゆるみ

加減を見ておかねばなりません。タイトのお袖でしたら肱のタツクの量を試す事も必要です。

カフスは衿と關係ある場合は後で衿を立て比較するのを忘れないで下さい。

カラー 丈巾が顔の輪廓、頸の長さ肩や胸の調子に出来上り線が似合つてゐるでせうか。又服全體とカラーとの關係はいゝでせうか。首廻りにびつたりしてゐるかどうかにもよく注意しておくことです。

附屬品 ボケツト、釦、その他の附屬品は、その大きさ、位置で洋服の感じを一變させる力をもつてゐます。だから何よりも洋服全體とのバランスが何よりも大切です。又その人の體格に合せて、もつとも適當な位置に止めるやうにします。何よりもまづ鏡と御相談下さい。

子供服 子供服は婦人服とはまるで違つて自由です。弛みも婦人服のやうに入れる必要はありません。

1、着丈は短目の方が可愛らしいし、又運動の自由を妨げません。もちろんお小さい方などスカートは短目にしていゝわけです。袖丈肩巾は特に注意して下さい。

2、スカートの裾は平らでせうか。

3、ウエストに切替がないと、肩からつゞいて脇がだらりと下つたやうになる時があります。肩をつまんでつめればいゝのです。

5 裁縫用具

裁臺 和裁用裁臺を用ゐても、又テーブルを代用してもよいです。

メージャー(ものさし) 寸法を取つたり、曲線の長さを計るのに用ゐるテープメージャーと竹製のものさし一本用意します。尙床上り寸法をはかるときなどに角尺があれば重寶ですが三角定規でも間に合ひます。

鋏 裁斷用に西洋鋏糸切、又は小部分に小型日本鋏を用意します。

蟲ピン 用布に型紙を止めて裁斷します。主に待針や假縫の場合にはなくてはならぬものです。毛織物には太くて長いのを絹物には細くて短いのが使はれてゐます。

ルレット(西洋ペラ) 裁斷に用ひます。絹物類は孔が明くので用ひません。

チヨーク **チャコ** 毛織物の篋代りに用ゐます。

ミシン針 十四番 地厚の物専用。

十一番 普通の厚さの毛織物、厚地及び普通地の絹織物、一般木綿物等。地厚のラシヤ類や特

に薄地の絹物等をあつかはない家庭では、大がい此れだけで間に合ひます。

九番 特に薄地の絹物等に用ひます。

縫針 メリケン針の七番八番、日本針ならば三ノ三、何れかを用意しておけばよろしい。メリケン針は日本針に比べて孔が細長く楕圓形に明いてゐるので地厚のものを縫ふ場合に太い糸を自由に通す事が出来ます。

糸類 カタン糸。木綿糸をミシンで縫ふ場合は八十番か六十番、木綿物にスナップ又はホックをつける時は四十番か三十番、釦付又は孔かゞりには二十番、普通は八十番、六十番、二十番を用意して他に應用すればよいでせう。

躰糸、普通用ひられるのはシロモ。しかし地質を損じ易い布地。例へばサテンのやうなものには用ひてはなりません。こんな時は滑りのよいカタン糸八十番を使つて下さい。

羽二重糸、絹物、毛織物木綿物に使用出来ます。

和裁用絹糸、ボタン附、孔かがり、スナップ、カギ、ホックつけなど羽二重糸では弱い時に用ゐます。其の他スモッキンクにも利用されてゐます。

穴糸、太い絹糸。毛織物の釦の孔もかゞり釦つけに是非入用です。

目打 ウール初め地厚の布地の角を引出す時など細かい仕事に便利です。

鑿 釦ホールを明ける時に必要です。

鳩目 釦ホールの釦のかゝる方を丸くする時に便利です。

毛抜 縫目をといたり、又は喰込んだ切り躰などを抜くのに重寶です。

アイロン類 一般家庭では和裁用の小型の鑊を三ボンドの電氣アイロン其の他炭アイロンを用意して下さい。

霧吹器

濕布用布 アイロンをあてる時用ひます。白無地で糊をぬいたやわらかい木綿類。

アイロン臺 平らな、和裁用鑊臺の厚くて大きいのを御用意下さい。

シルウエツト

シルウエツトといふ言葉がよく使はれますが、スタイルを考へる上にはこの上もなく必要なことな
のです。シルウエツトといふのは影繪といふ意味で、普通外廓線と譯されてゐます。例へば現在行は
れてゐるシルウエツトは、ウエストを締めて、胸とスカートは一寸の風にも波立つやうにゆるやかに
なつてゐます。又スカートは膝頭がかくれて、膝への中途になつてゐますが、スカートの長さやウエ
ストの高さは切りはなせないものになつてゐます。例へばウエストが少し下る傾向がありますが、ウ
エストはドレスの締めくむりの大切な線なので、今までの外廓線のまゝで、ウエストだけを下にさげ
たのでは、胸が長くスカートが短く、變な感じを與へます。それでコルセット風の廣いバンドの切り
替へにして、この不自然さを救ふやうになつて來たのです。自分の身體にはどんなシルウエツトがい
ゝか、よく知ることが、洋装をよく着こなす秘訣でもあります。

IV 基礎縫ひ

1 手縫ひ

洋裁と言へば型紙を裁つて布を裁ち、それをミシンで縫ふ事ですが、もつと丁寧に仕立てる
方法として手で縫ふ部分が出来てくるわけです。柔い薄物の場合など手で縫ふ場所が多くなり
又そうした方がより以上に出来上つたものを優美に見せ楽しいものです。では次にどうしたら
平縫が上手に出来るか記して見ませう。

一 躰のかけ方

洋服の躰は和服の時の様に出来上つたものを押へて置くとか、裝飾的にかけるのとは異ひ、
ミシンをかける前の用意として布がすれない様に押へて置くか、又は假縫の時縫目がほつれな
い様に止めて置くとか、或はへら代りに標をよく合せるために用ひられます。ですから其の場

合に應じて、大體を次に述べる事に致しませう。襷に用ひる糸は毛織物、木綿物にシロモ、絹物にはカタン糸の八十番を用ひます。

二切 襷

切り襷は毛織物を型紙通りに裁つ時や、縫目の印や、合標をつける時に用ひます。筧もルレツトも利かないし、チャコでは消えてしまふ毛織物には、切り襷は理想的です。眞平らな臺の上に布を二枚きちんと重ねて、シロモ二本で一目落しか二目落しに標通りに縫ひます。この時布を手に持つたり廻したりするとずれてしまひますから、下に置いたまゝ、縫ふ様に注意します次に縫つた襷の針目の間々を切り、切りましたら上側の布をそつと持ち上げ、上下の布の間の糸に鉄を入れて切つてゆきます。糸がすつかり切れたら上に出てゐる糸を平らに切り落します。そして糸の上を軽くたゞいて糸をつぶして置きます。かうしておきますと糸印は決してぬけません。

三置 襷

平らな布は出来るだけ、裁縫臺の上に平らにおいて、印を合せて襷をかけます。どうしても

平らに置けない場合、以外は出来るかぎり置襷によつた方が、きちんと出来きます。殊に少しでもバイヤスになつてゐる布の場合など手に持つてかけると延びる憂がございますし、又一枚を一緒にかけるやうな時も、どうしても上下の布を動き易く、標が狂ひますから、置襷にした方が良い。縫ひ方は針足を流さない様に布を揃ひます。針目は圖のやうに一目小さく揃つて表側に大きく出すのや、又二目揃つてから大針に、或は表裏同時にする等、用ひる場所によつて適宜に加減致します。

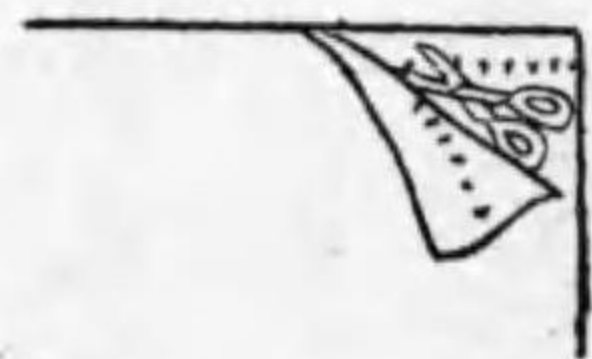
四斜 襷

表と裏と縫ふ場合、表と芯をとぢる場合等布がずれない様にとぢつける縫方です。圖のやうに表は斜で、裏側は短く垂直に縫はれて居ります。

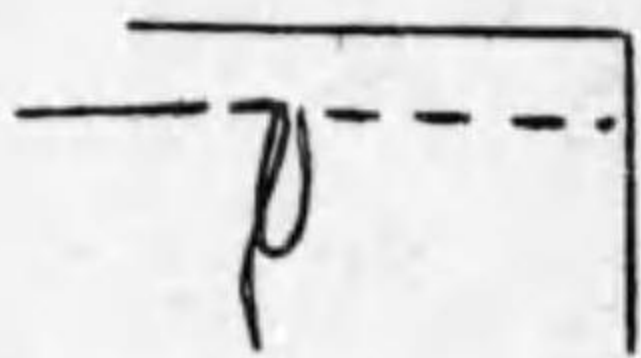
五千鳥 掛け

和服の時と同じ千鳥がけを襷に應用したもので、ポケット口のやうな開き易い所に用ひる襷です。

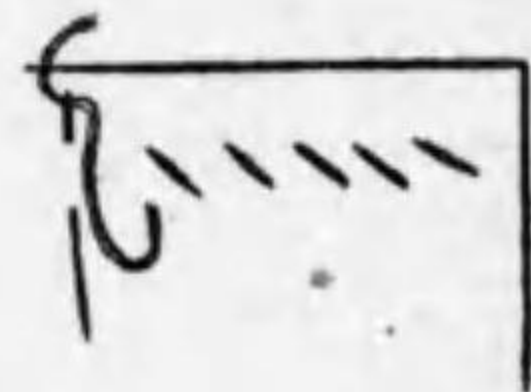
切り襟



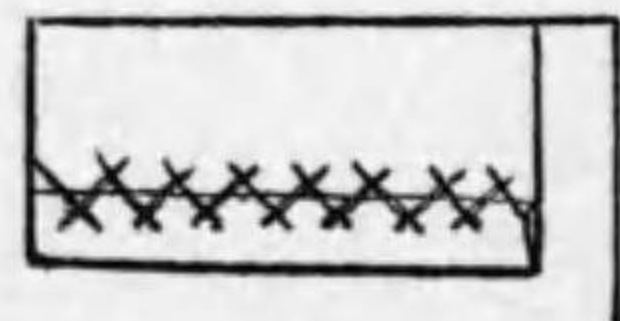
置襟



なごめ襟



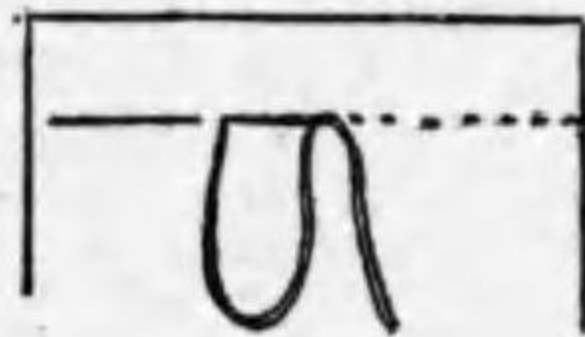
千鳥がけ



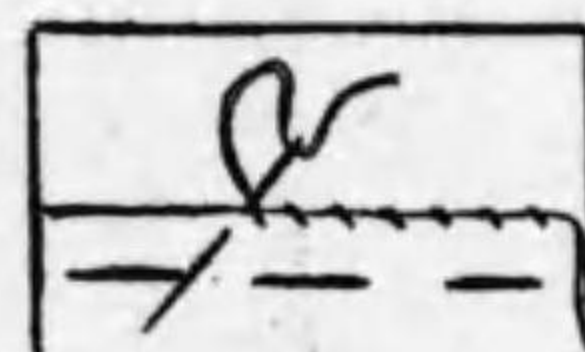
からげ縫



ぐし縫



まつりぐけ



よりぐけ



六ぐし縫

極くこまかに縫ふ縫方、用途は、ギャザーを寄せる時、シャーリング等、又は袖山や裾の折返し先を縮める時に使われます。其の他軽い薄物等のタックを美しく仕上げたい時に、布と共色の糸で、この方法で縫ふ事がある。

七からげ縫

まき縫とも言ふ。縫代の端や其の他ほつれ易い所を防ぐのに使われます。糸や毛織や木綿物の縫代の始末等はシロモ一本でからげます。其の他絹物等の場合縫糸と共に致します。

八まつりぐけ

まつりぐけは使はれる範囲がたくさんございます。縁を三つ折にして、奥をミシンでかける代りに丁寧にする爲にまつりぐけを致します。圖のやうにまつりをする手前の所に襟をして置き、右の折山の端から針を出して、二耗(五厘)三耗(八厘)位間をおいて下側の表布を極く小針に挿ひ、すぐに其の針を直角に折山の端の所に出しそれを繰り返すのですが、其の時直角

に折山へもつて行く針を斜に流さない様注意致します。さうしませんと口が開いた様になり、きちんと致しませんから。

九よ りぐけ

和服の薄物単衣の袖口のやうに、細く縫つてまつる方法です。洋服ならば大がいの場合、ビコミシンをかけて、軽い感じを出してしまひますが、最も丁寧に仕立てたい場合にこのよりぐけを應用致します。多くはアフターマンやイヴニング等の時に致します。くけやうとする布の縁に細か目のミシンを一本して、これを先にして手で細く縫りながらまつてゆきます。フレヤーやカラーの外廻りやドレスの裾廻りなどに應用されます。ですから常に洗濯をする木綿物例へばボイルなどはかへつてビコミシンの方が大丈夫です。

2 ミシン縫ひ

一 地縫

和服の運針のやうに普通に縫ふこととあります。注意する事は、布地の厚地、薄地に依つて針目、針、糸を替へることです。厚地の場合に小針で縫ひます。と縫目がつれ、薄地を大針で縫ふと縫目が開いてしまひますから、その布に依つて一應縫つて見てアイロンをかけて仕上りを見てから針目を決めることが良いことです。

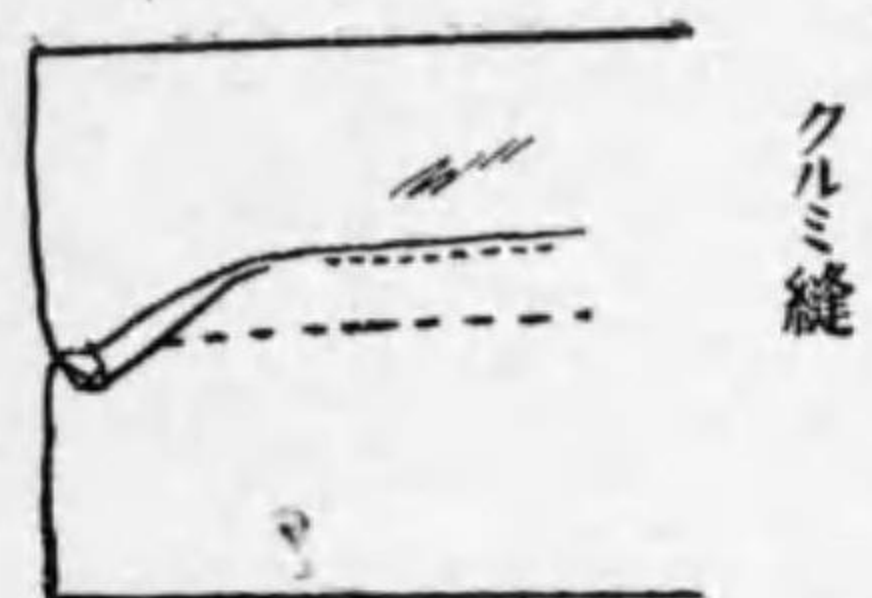
二 飾りミシン

地縫と異つて、表に縫目が出る縫方のことを言ひます。一度地縫をしてこれを一方に倒し表から見てその縫込を押へてかけるミシンで、表に見えて一種の裝飾的な役目を致しますので、飾りミシンと言ひます。

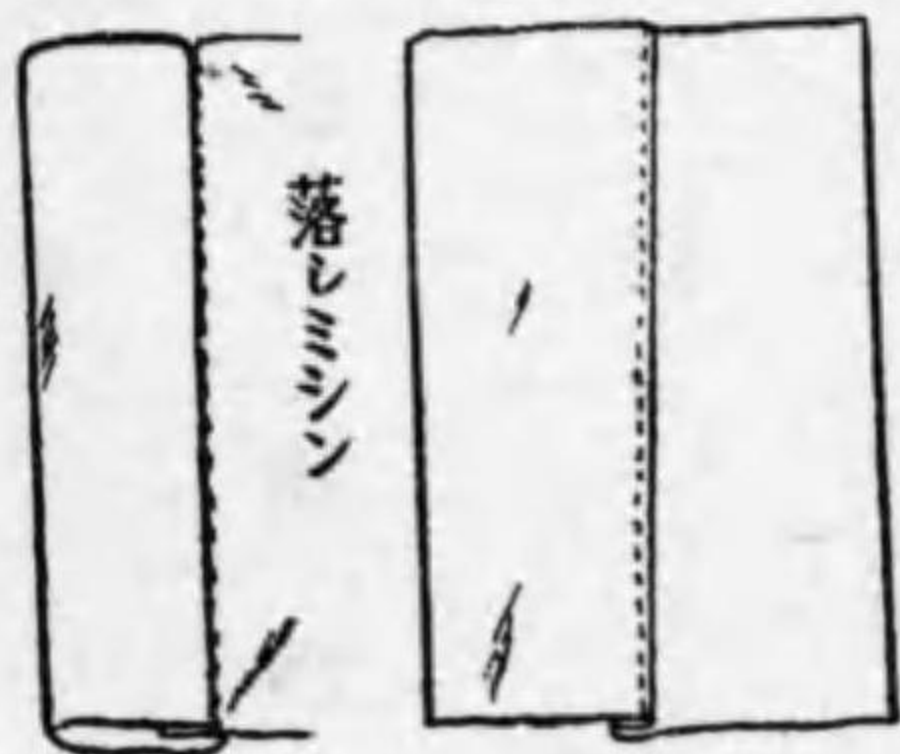
飾リミシン 圖解説明 (1)圖は極く端へかけたもので薄物の切替線などに用ひられます。
 (2)圖は厚地の場合に用ひます。巾が広いものですからスポーティな感じを出す時に多く用ひ
 ます。

三 落しミシン

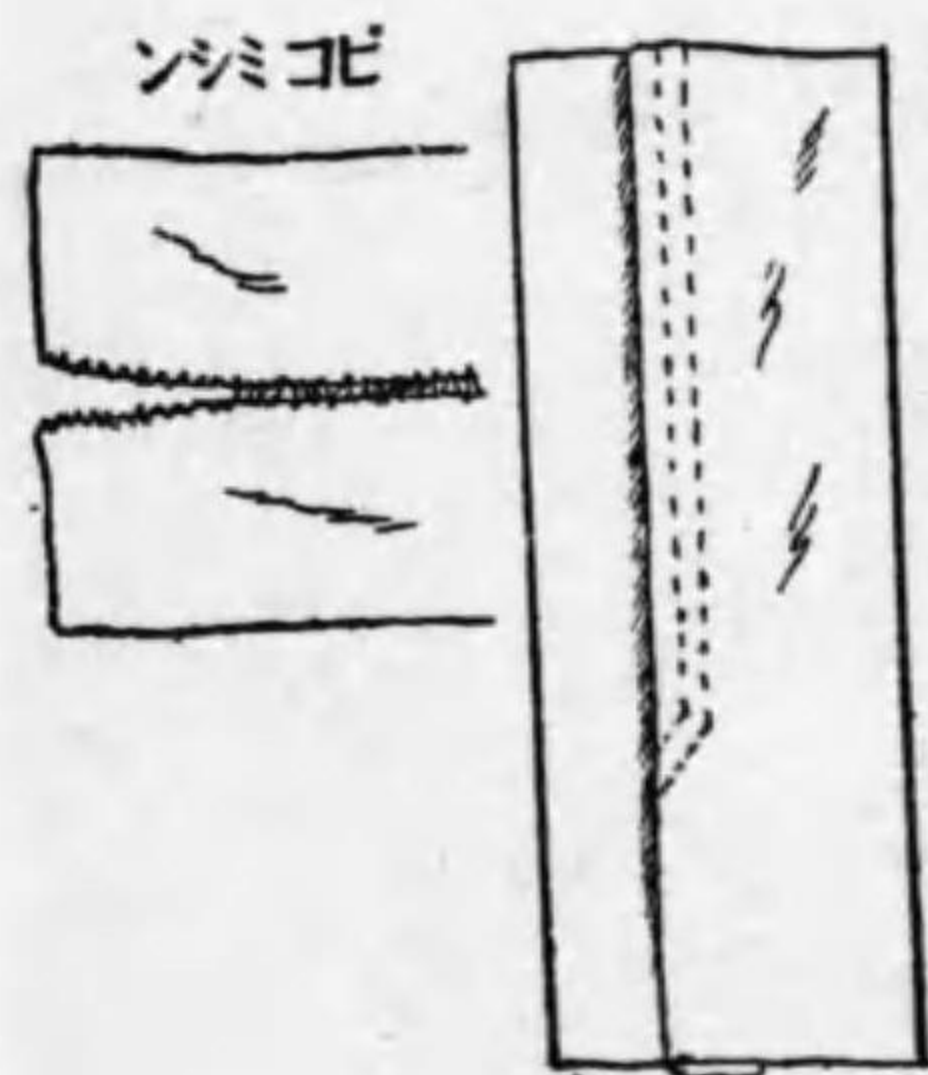
縫ひ方は地縫と同じですが縫ふ場所が異り其の効果によつて呼ばれる名前です。裏側の布を
 まつる變りに表から縫目の際、又は縫目とくゝの間に針目を落してかける事などに用ひる。



クルミ縫



飾リミシンA



飾リミシンB

四 玉 縁

極く厚地の毛綿物を三つ折ぐけにする場合など表にひゃいて感じが悪いからそんな時裾の縫
 代を裁ち揃へて縁に薄地で作ったバイヤステープを表からあて、三耗(八厘)位に地縫して、
 縫ひましたらバイヤステープで縫代をくるんで、裏に返して裏をして、表から縫目の側を落しミシン
 にします。これで玉縁が出来ました。その玉縁の少し奥の所をまつりつけます。

五 ビ コ ミ シ ン

出来上つたものを軽く感じよくする爲に薄物の縁、例へばカラー、ボウ其の他のフレヤーの
 断ち切り先をビコミシンを掛けます。又は切り替の代りに、裝飾として用ひることもある特殊
 なミシンです。このビコミシンは普通のミシンでは掛けられないので不便です。専門店でない
 と出来ませんから、その便のない處では、仕方がございませぬから極く細かいミシンの三つ巻
 き縫ひにしたり、他はよりぐけ又は玉縁にする外ございませぬ。

V 各部分の縫ひ方

1 身頃の部分縫ひ

一 前あきの作り方

あきを玉縁にして其の布を續けて持出しを作るには、全部共布で作りますので毛織物や厚地のものには重なつて厚くなるので不適當です。

用布 縦地の巾十糎(二寸六分) 長さは明き寸法より約三糎(八分) 長い長方形の共布、長方形の布の端から三糎(八分) 中に折目をつけて、その折つた所を身頃のあきの位置に中表に合せて襷をして置きます。其の時三糎の方が右身頃の方に行きます。

次に(1)圖のやうに中心より左右に四糎づゝ離してあき止りまでミシンをかけます。あき止りは圖のやうに四角に縫ひます。そしてその中心に鉄を入れてあき止りより五、六糎手前まで切り、後は圖のやうに角に向つて切込みを入れます。

そうしましたら、この布を裏側に出して切込を入れた兩方の縫目にアイロンをかけて割つてこれを芯にして、布を裏側へ折りましたら兩方共四糎巾の縁を作つてアイロンで折をつけて置きます。

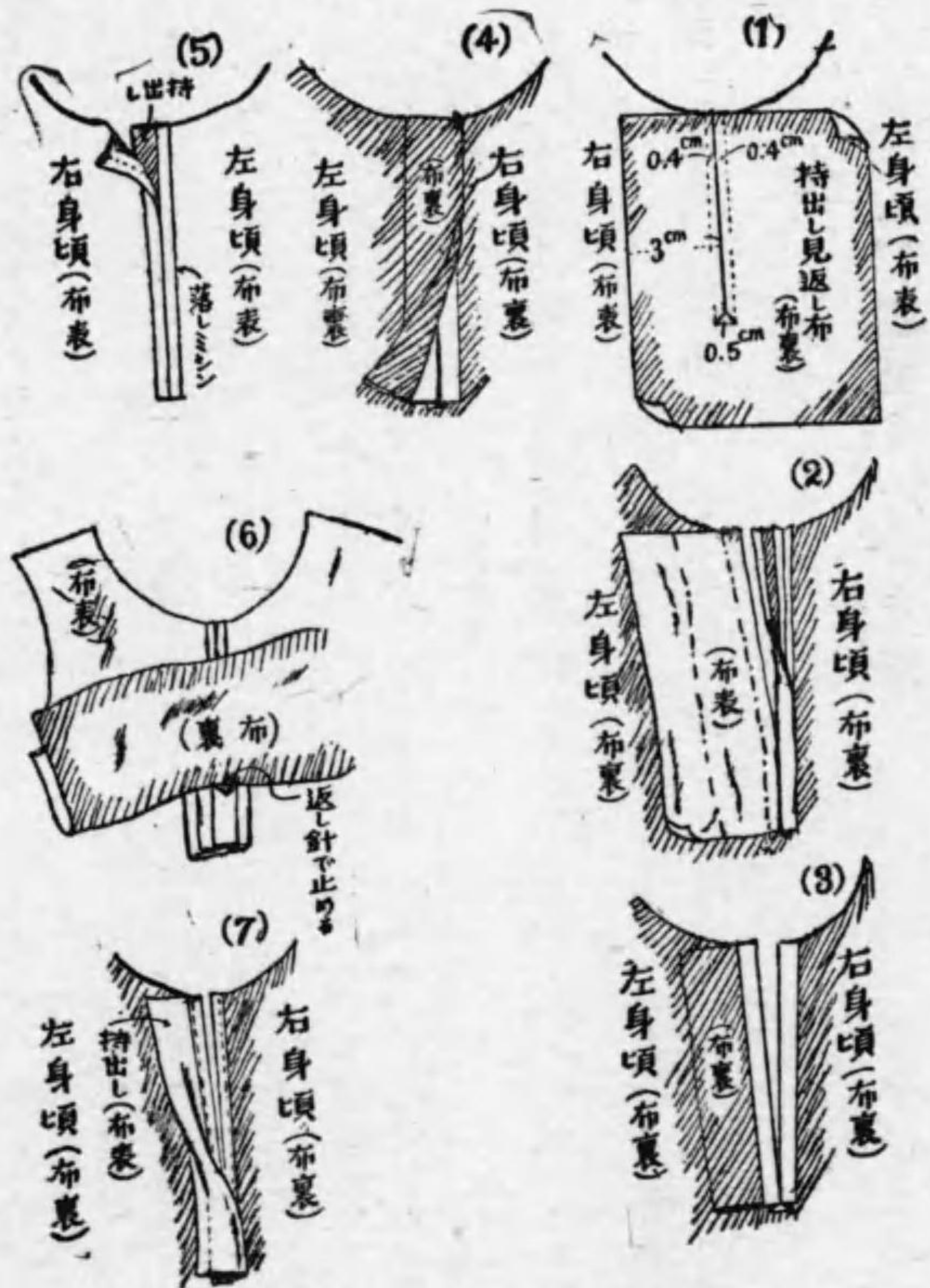
右の身頃の方の裁切りの仕末は、(2)圖のやうに、左の身頃は(3)(4)圖のやうに折り襷をかけておき、表から(5)圖のやうに落しミシンを掛けます。注意する事は右身頃は下の持出しに縫ひつけてしまはない様にする。

次にあき止り處は(6)圖のやうに表布を上げて見ますと、三角形になつてゐる所がございますから、其處の所を返し針でとめておきます。

この方法でしますと持出しになる布の裏が出ますので、裏表のはつきりしたものを、例へばプリント模様であるとかは、左身頃も右と同じ様にして、持出しは別に四糎巾のものを二つ折にして(7)圖のやうに、左身頃に落しミシンをかけます。其の時に裏に當てゝ一緒に縫つてしまひます。

二 後明きの作り方

持出し見返し布、身頃と同じの縦地三糎五糎巾のものをあきの二倍の長さに裁ちます。明き



前あきの作り方

は被つて着られる程度に明けておく。

(1)圖のやうに持出し布を身頃に中表に合せて衿割の方から三耗の縫代で廻りを縫ひますが明き止りの二種位上の所から、だんく縫を細くして行き、止りの所で出来るだけ細くして丁度和服の衿廻りの所のやうに縫ひます(1)(2)圖参照。次に(3)圖のやうに一耗三耗位に折つてまつりつけます。角は(4)圖のやうにしつかり止め上前見返して下前が持出しになつてをります。カラー等をつける、場合は(5)圖のやうにつけるこの作り方簡単なドレスの前明きを作ることもあります。

三 肩明きの作り方

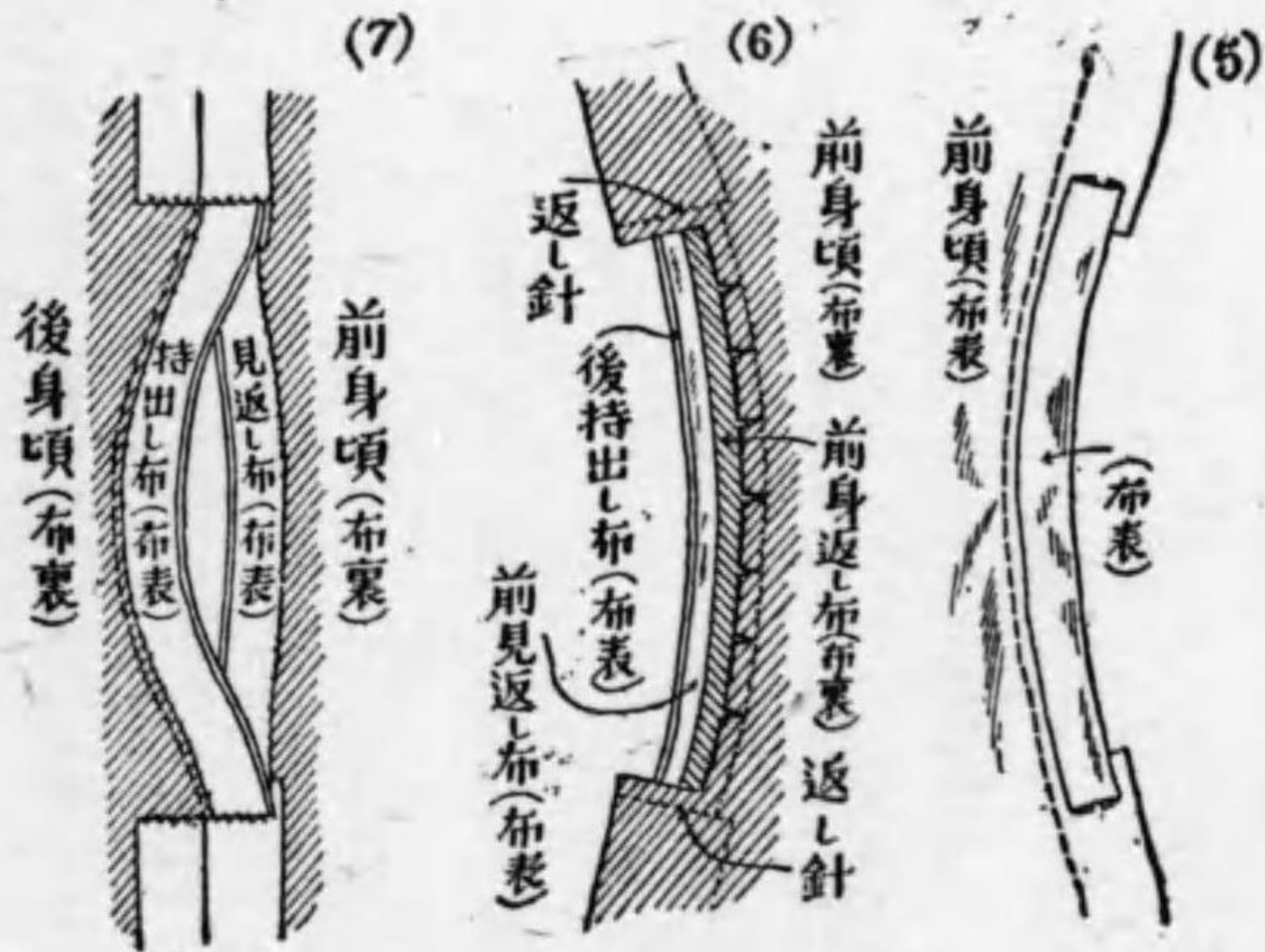
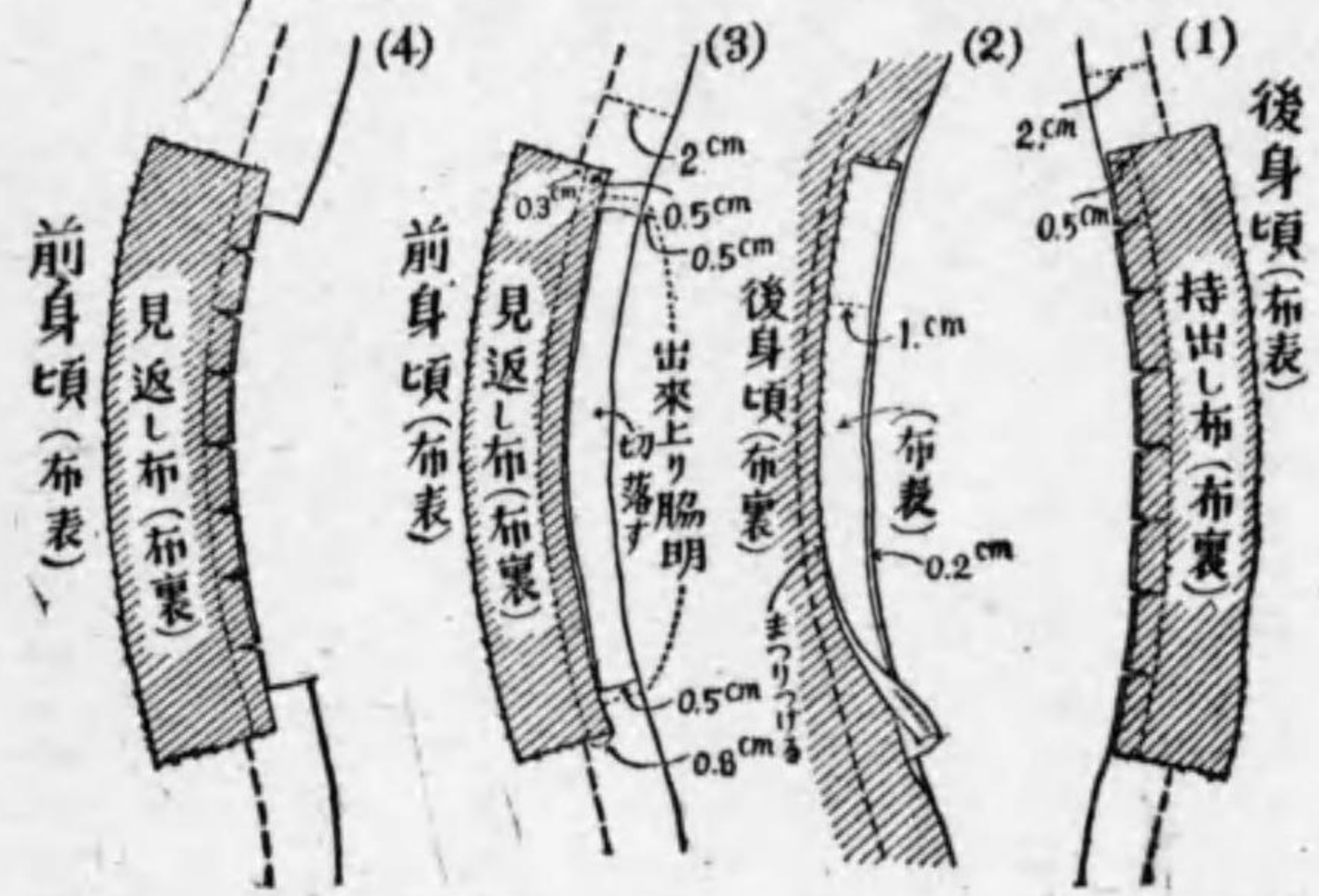
出来上り衿割では頭が入らない様な時に用ひます。両肩、又は左肩の一方を開ける事があります。

(1)圖のやうに明きの所の縫代を多く裁ちます。

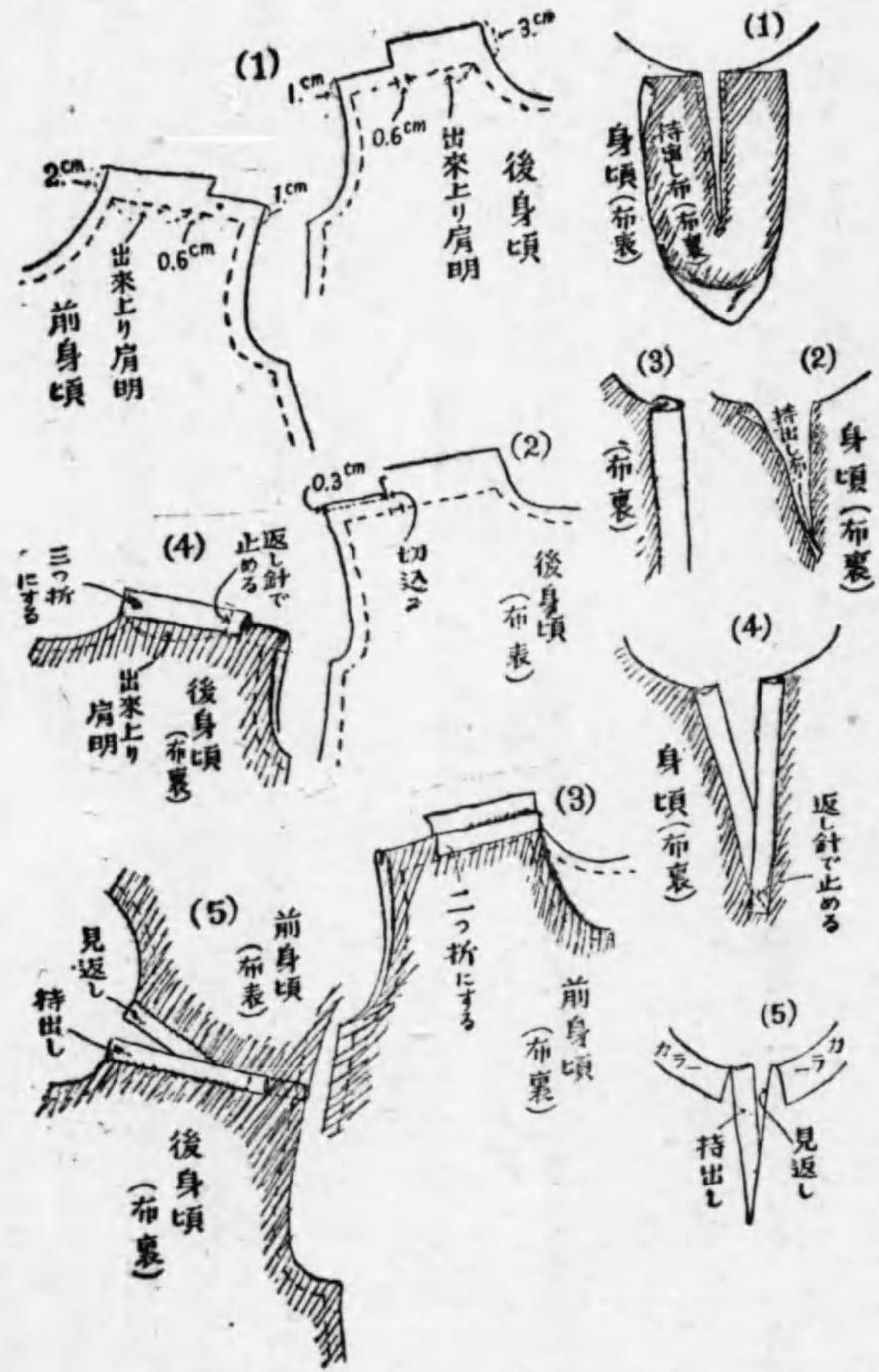
(2)圖のやうに前後の肩を外表に合せて、明止りまで、袋縫の一方縫をします。縫ひましたら、明き止りの所に切込を入れる。

次に裏返して前肩の方は二つ折に後肩の方は三つ折にアイロンできちんと折をつけておき、

脇あきの作り方



肩明きの作り方



後明きの作り方

明き止の所まで縫ひ(4)圖のやうに縦に返し針でしつかり止める(3)(4)圖参照。折を前方に倒しますと、前も後も三つ折になりますから(5)圖を見て前後身頃にまつりつけまして出来上ります。

四 脇あきの作り方

大人用のワンピースドレスの場合、ウエストを中心に左脇に明きを作ります。布に依つて作り方が異なります。

薄地の場合 持出し布、出来上り脇あき寸法より三糎位長く、巾三糎の縦地二枚を共布で裁つて置きます、先づ(1)圖のやうに前後共持出し布を、あきの所へ中表に重ねて、出来上の脇の線より三糎浅く縫ひます。次に後の方は(2)圖のやうに縫代を一糎二糎巾にくるんでまつります。前脇もやはり三つ折に縫代をくるみ、布の端を出来上り線に合わせて折りを付け、表の方から落しミシンをかけます(3)(4)圖参照。

これで前後の持出しが身頃に附いたわけです。(5)圖のやうに上下の脇を初めに中裏に揃へて三糎の縫代で持出し布のそばまで縫ひます。切込をつれる所へ入れて裏に返して出来上り脇線を縫ひます。上下の脇明き止りは(6)圖のやうに返し針でしつかり止めて置きます。これで出

来上りましたから、折を前に倒して後は持出し、前は見返しになります。

厚地の場合 厚地と申しましても絹物や木綿でしたら、見返しや持出し布は共地でもよく、毛織その他厚地のものでしたら、同色の薄地の布(富士絹位)程度でよろしい。

寸法二糎五糎丈脇明きの長さより三糎長くした長方形を縦地に二枚裁ちます。前後の身頃を中表に合わせて脇縫を致します。其の時脇止りの上下で標より二、三糎多く縫ひ残します。縫代は厚地の物は割り、比較的薄地のものは前の方へ倒しておきます。

次に縫ひ残した脇明きの後身頃の方へ一枚の持出し布を中表に合せ、(1)圖のやうに出来上りの脇の線より一糎五糎程外側を縫ひ、處々つれる所に切込を入れて(2)圖のやうに一糎巾に折り、身頃を二糎程見返らせてまつりつけます。前身頃は見返し布を(3)圖のやうに出来上りの脇の標よりも三糎外側を縫ふ。五糎の縫代で中表に縫ひ、身頃の縫代のつれる所照切込を入れて、後と同様に一糎巾に折ります。(3)(4)(5)圖解参)次に前後の見返しを持出しを(6)圖のやうに揃へて前に縫ひ残しておいたあきの上と下二三糎の間を脇の縫目より脇明きの止りで二三回返し針でしつかり止める。前後出来上りましたら、脇縫が片倒しの際は脇縫の縫代から續けて前の見返しを前身頃の方に倒してまつりつけます。又脇が割つてある場合は(7)圖のやうに持出し布の先で、後身頃の縫代に切込を入れて縫代を割り千鳥がけで止めておきます。

2 始末をつける部分縫

一 バイヤステープの作り方

(1) 圖のやうに正斜に線を引き、巾は必要なだけに定めて裁ち、兩端は眞直ぐに裁つてバイヤスを接ぐ時は(2)圖のやうに中裏に合せ五耗位喰違ひに重ねて、ミシンをかけ縫代は割つておきます。

見返しのつけ方 バイヤステープは伸び縮みが自由にくるので應用範圍が廣い。例へば別衿のつかない衿割とか、カラーを身頃につける場合等。

(1) 圖のやうに中表に合せて、五耗位で地縫して縫代のつれる所に切込を入れる。

(2) 圖のやうにまつりぐけをします。ケープやカラーを身頃に附けたいと思ふ時は、

(3) 圖のやうに三枚一緒に重ねて縫ひ、

(4) 圖のやうにまつりつけます。

玉縁の作り方

一重の場合

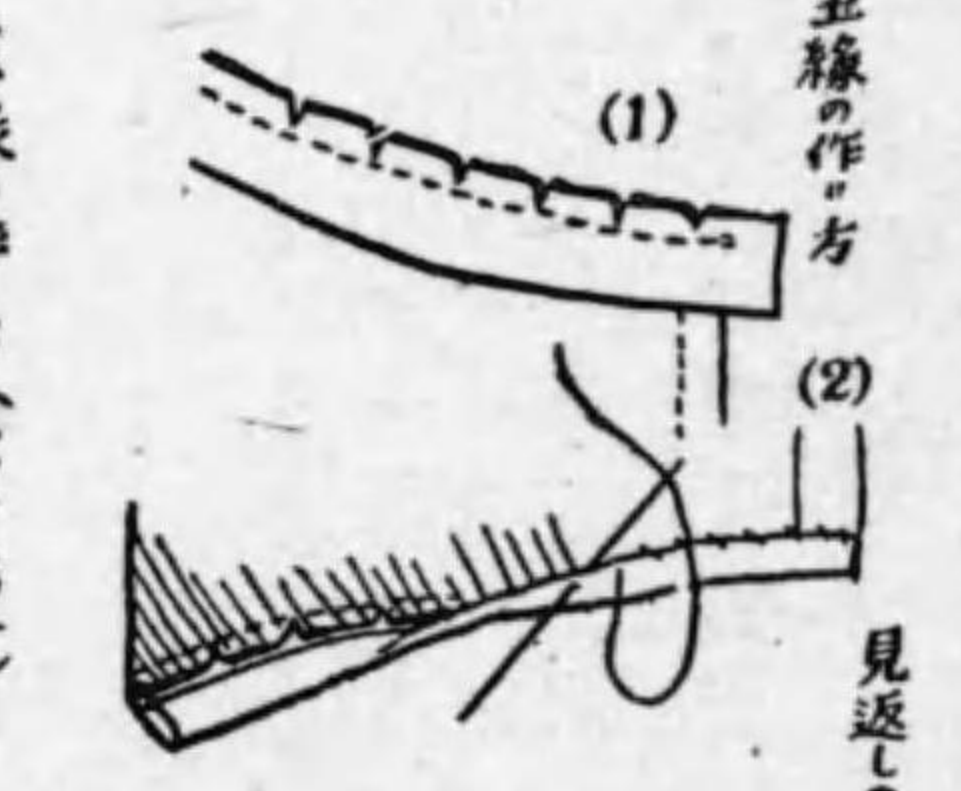
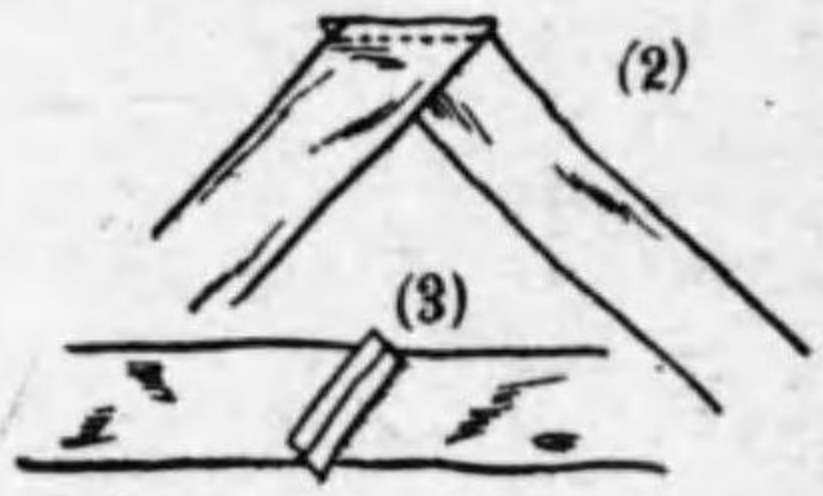
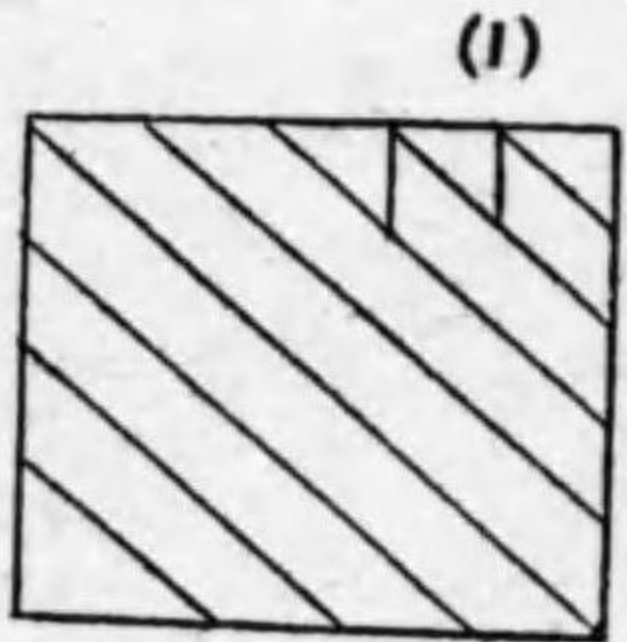
一重玉縁の場合はバイヤス巾は出来上りの約四倍に裁ちます、其の時身頃の方には縫代は要りません。(1)圖の様にバイヤスを中表にして玉縁にしたいだけの寸法に地縫して、縫込は出来上りの巾より心持狭く切揃へ、バイヤスを(2)圖のやうに疊んでまつりつけます。又はまつる代りに表から落しミシンをする事もあります。落しミシンをかける場合は、テープの巾は玉縁巾の四倍でなく五耗位多く裁つておき、廣い分だけ裏の方に返して落しミシンがかかる様になります。

二重の場合

バイヤスは玉縁巾の約六倍に裁ち、外表に二つに折つて、(1)圖のやうにバイヤスを揃へて三枚一緒に縫ひます。一重と同様に縫込を少し狭く切揃へて、輪の方を(2)圖のやうにまつります。

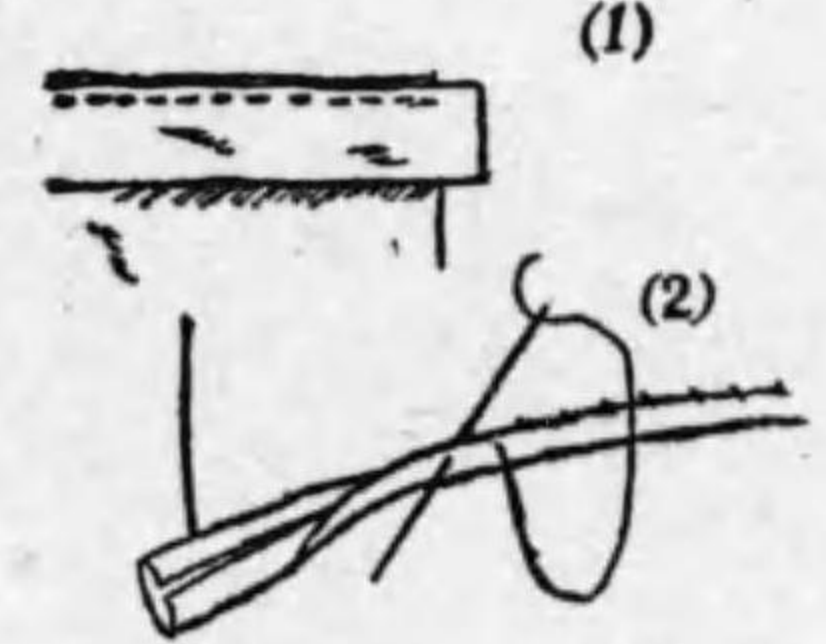
角やカーブの上手な作り方 角を作るにはこの(1)圖にあるやうに、表に合せて弛みをつけ、タツク分だけとばして縫ひます。とばして縫つた所を(2)圖のやうに額縁に疊んでまつります。裾や袖口の色々な波の形や山の形になつてゐる場合は圖のやうに出来上つてしまつてから、角

バイヤステープの作り方

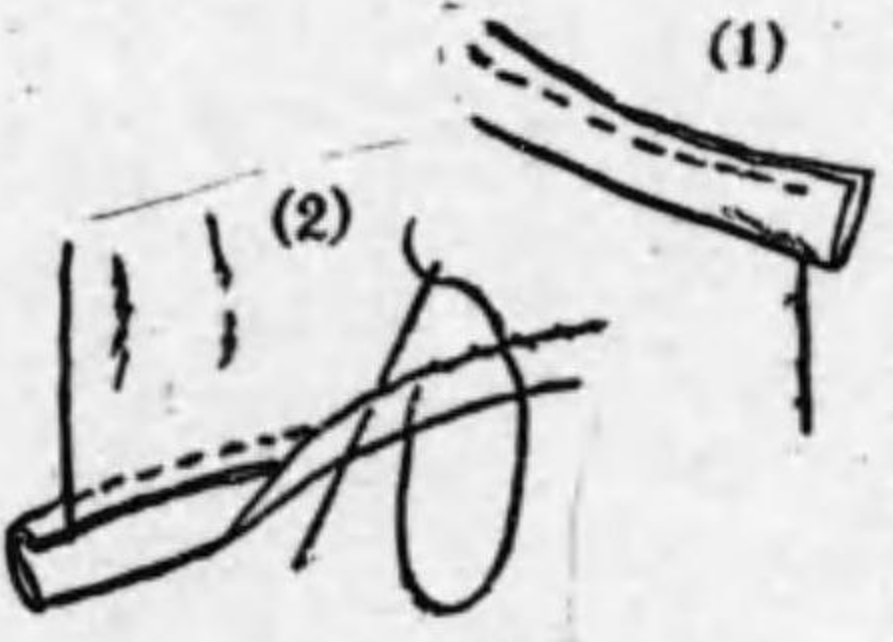


見返しの作り方

玉縁の作り方(二重の場合)



玉縁の作り方(三重の場合)



角の加減



カトゾの加減



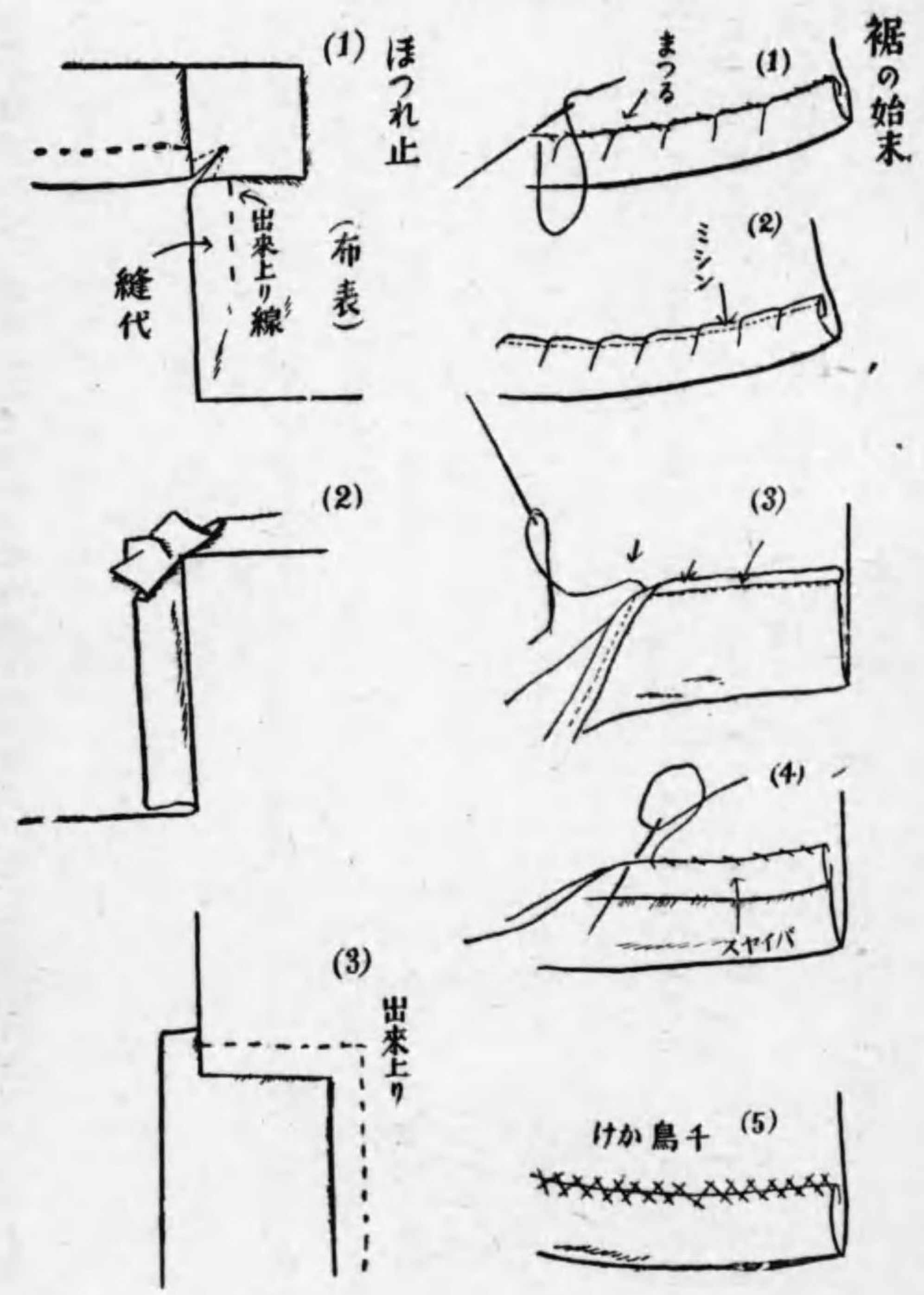
度に合せてつまみます。内側にカーブして居る時はテープを吊らし加減にし、又其の反対に外側の時は弛み加減にしてつけます。

二縫代の始末

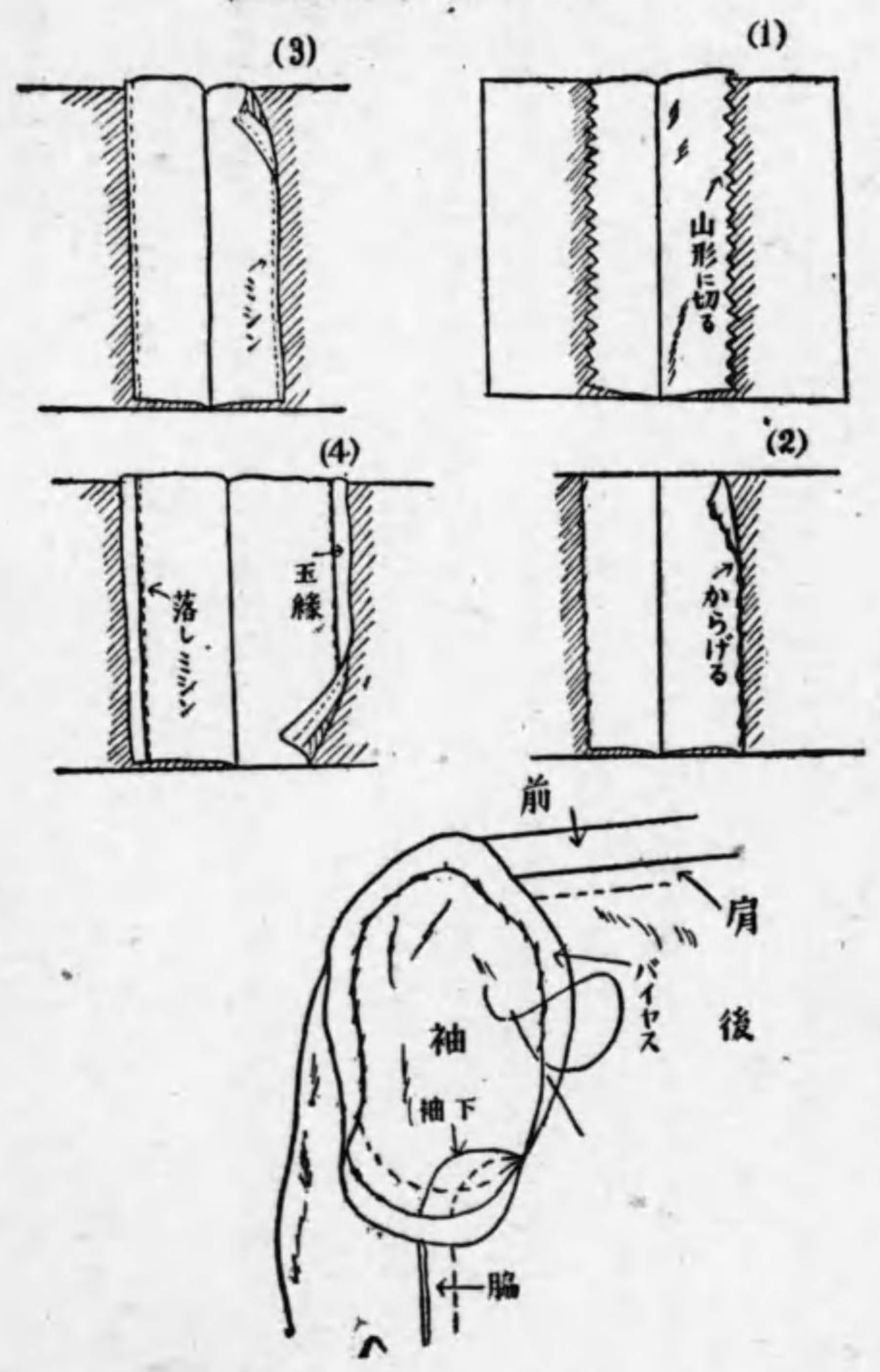
脇縫のやうな場合 透けて見えるやうな薄地でどうしても袋縫の出来ない時は一度縫をして縫目を割つて、

(1)圖のやうに山形に切つて置きますと、ほつれなくて綺麗でございます。例へばクレープデシン富士絹等に使ひます。透けて見えない程の布地であり丁寧にする事もないものでしたら縫代を切揃へて其の布端をからげて置きます、少しもほつれない程度のものでしたら其のまゝでもよい。毛織物で極く薄物でほつれ易い時は(3)圖のやうに切揃へた端にすてミシンをして押へて置きます。厚地の毛織物(ツキード、メルトン)の時は生地と共色の薄物(輸出羽二重、又は富士絹程度)のバイヤスで(4)圖のやうに玉縁を取ります。

切替線の場合 普通の場合縫目は裁揃へておくか又はかやつておきますが透けて見えるものは(例へば胸にヨークの切替があつてギャザーがよつて居る時など、縫代が透けて見えて感じが悪い)共色のバイヤスで巾四耗位にくるんでおきますとすつと良くなります。



縫代の始末



袖附の縫込 薄地の場合は共布で、厚地の時は輸出羽一重か富士絹の斜布で身頃と袖とバイヤスを一緒に縫つて縫代をくるんでしまひます。

三 裾 の 始 末

裾が開いてゐる爲め折返しにたるみが出来た場合、木綿、絹、薄い毛織でしたら(1)圖のやうにつれたりよじれたりする所でタックをして平らに落着かせてからまつります。

ハウストレスや簡単なブラウスはまつらずにミシンをかけてしまひます。厚地の場合は三つ折にするところへ致しますので布端の弛み分を縫ひ縮めて、濕氣とアイロンで平らにしてしまひ、先の所は共布のバイヤスで玉縁にするか、又はバイヤスを縫ひつけ其れを廣くしてまつるかどちらかに致します。

薄物でフレヤーになつてゐる場合、なるべく細く二種乃至三種五耗位の三つ折にしてまつります。又は共布のバイヤステープの見返し、ピコミシン、玉縁、縞りぐけ等、其の地質なり形に依り感じのよい方法を選びます。

メルトンのやうな厚地の場合、ほつれる心配がございませんので(5)圖のやうに二つ折に致して千鳥がけにする事もあります。

四 ほ っ ね 止

角の切替があり其のまゝで切込を入れて縫つてしまひますと後で布がほづれてきますのでほつれ止を致します。先で表の布と共色のほつれにくい薄物を二種五耗位の正方形に裁つておき(1)圖のやうにほつれ止をしたい所に正方形の布を中表に合せ、出来上りの角に向つて縫代の部分を三角形に(なるべく鋭角に)縫ひ二枚一緒に中心に切込を入れて(2)圖のやうに表布の縫代を出来上り線から裏へ折り曲げ(當布も一緒に)後にたるんでゐる分は適宜に疊んでアイロンで押へます。これで角は出来ましたから(3)圖のやうに切替になつてゐる布の上を持つて行き飾りミシンをかけます。

3 袖先の縫ひ方

一 カフスの付け方

ドレス ブラウス シャツ等 袖先を縫ひ縮めて長方形のカフスをつける時は、カフスを輪に縫つて、縮めておいた袖先に中表に合せて縫ひ、折はカフスの方へ倒して、カフスの端を折つて裏側にまつりつけます(1圖参照)

ワイシャツブラウス ワイシャツのやうに、ダブルカフスの場合は附をのこして三方を縫つて仕舞ひます。袖の方にはギャザーを入れて置き、カフスを裏から縫つて表に返して飾りミシンをかけます(2)圖(イ)(ロ)

簡單服の半袖などの場合 カフスを輪に縫つて、巾を二つ折にして、二重のまゝで袖口に裏から縫ひつけます。縫目は毛抜合せにするか又は圖の様に少し見返らせても良い、表に返してミシンをかけます。

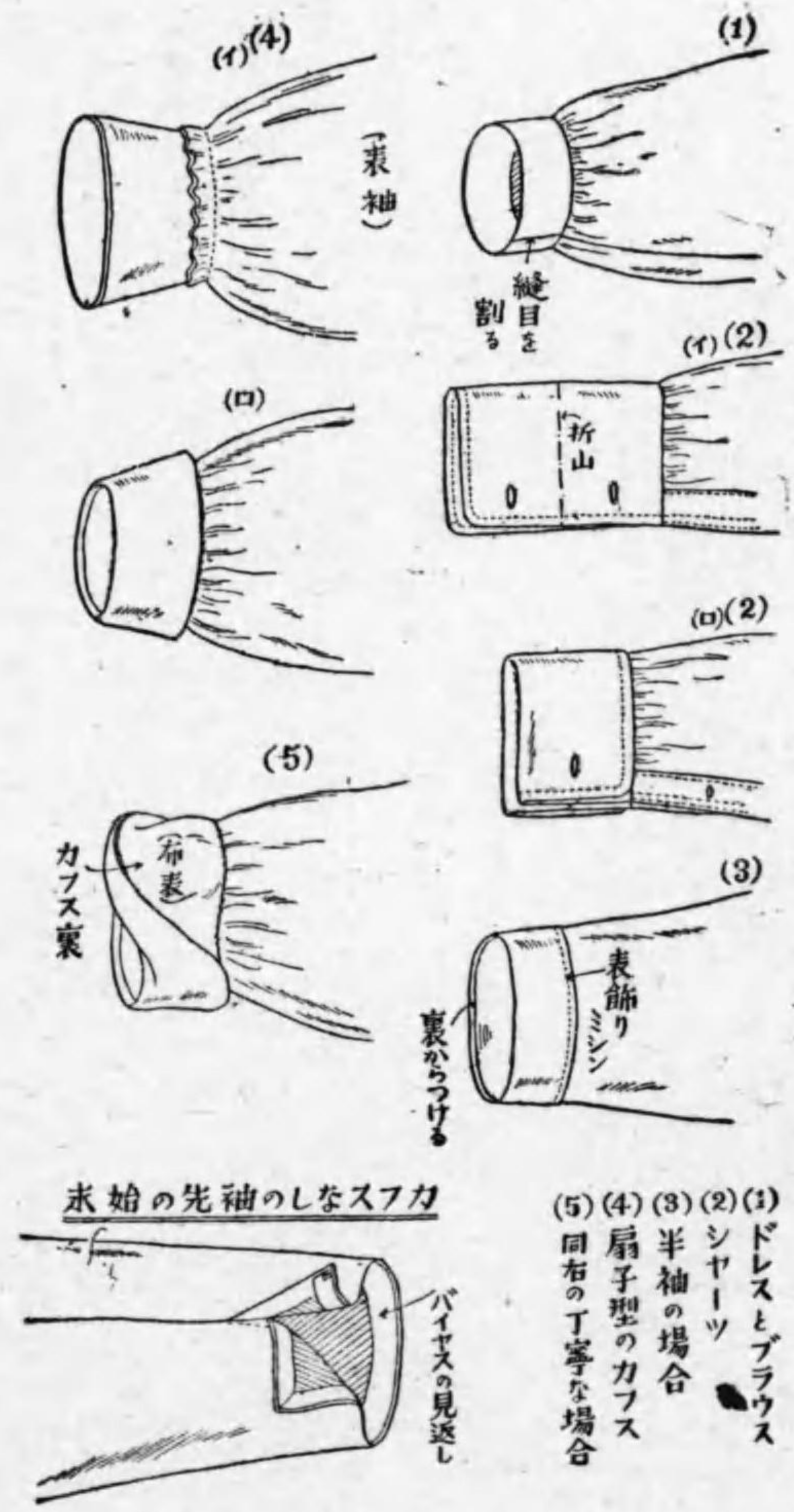
扇子型のカフスの場合 (4)圖のやうな時は、カフスの裏と表の外廻りを縫合せておき、(イ)圖のやうに袖先と合せて三枚一緒に縫ひます。縫代はカフスの方へ倒して縫代の裁切を芯の様に、折をつけます(少し見返るわけ)。それからカフスが落ちてこない様にして二、三ヶ所とぢておく。

(4)圖のお袖を、もつと丁寧に致しますのはカフスを輪に作つておき、カフスの表布と袖の裏側とを縫ひ合せ、縫代をカフスの方へ折つて、表の方を身返らせて、その分だけカフスの裏を吊らしてまつりつけます。(5圖)

二 カフス無しの袖先の始末

薄地もの 三つ折にしてまつるか、ミシンをかけます。

厚地のもの バイヤスを開いたまゝまつりつけます。折返して裁切りをバイヤスの玉縁に包んで巻きます。ほつれない生地は二重に折つて千鳥がけにします。袖先がフレヤーになつてゐる場合は見返しを袖先と同じ形に共布か又配色のよい薄地で裁つてつける場合もあります。袖先に縫代を八纏位つけておき、バイヤステープの見返しをつける。尙バイヤスで玉縁をとる場合ピコミシン、よりぐけ等適宜にいたします。



- (1) ドレスとブラウス
- (2) シャーツ
- (3) 半袖の場合
- (4) 扇子型のカフス
- (5) 同右の丁寧な場合

4 ポケットの作り方

玉縁ポケット

口布、袋布、向布の裁ち方。口布は正斜布で七糎巾、口明より四糎程長く裁ちます。袋布は薄地の別布にて口明寸法より四糎程多い正方形に二枚裁ち、向布は表布にて七糎巾丈は口布と同寸のものを一枚用意致します。

又縫ひ方。圖解先づ口明の標と口布を合せまして五糎巾の玉縁を作ります。但しこの太さは布地に依り多少の違ひがございます。

一枚の袋布に圖の如く向布を付け、他の一枚の袋布を身頃表布をはぐつて圖の様に玉縁の縫込の際に縫ひつけます。別に向布をつけた袋布は反対側にあて、同様に玉縁の縫込に縫ひつけます。明きの兩横は矢張り表布をめぐつて縫目の際を返し針にてしつかり止めあとは袋布の三方をぐるりと縫つて出来上ります。

箱ポケット

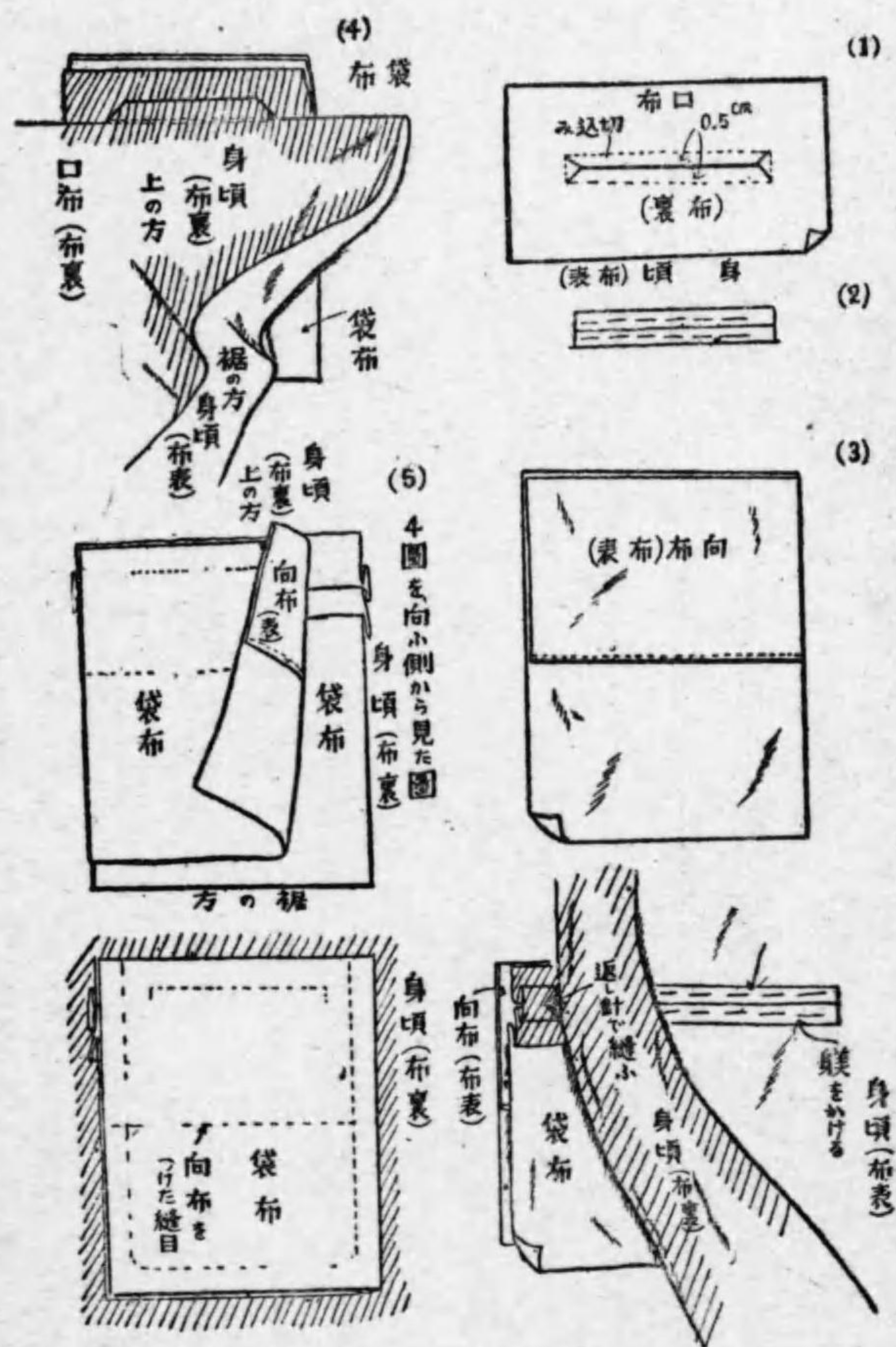
スタイルによつて大いさは色々ございますが、こゝでは假に口明寸法九糎、高さを二糎の出来上りに致しました。

口布、袋布の裁ち方。口布はしつかりとさせる爲に中に薄い芯を入れます。芯地は普通新モス、キャラコ等でございますが、オーバー等で表が厚地の場合には三河木綿キャンパス、等を用ひるとしつかりと致します。芯の中は口布の高さ倍、即ち二糎の倍の四糎にして、長さは口明と同寸の糎の長方形に長い方を縦地にして裁ち縫代はいりません。次にこの芯地を型紙の代りとして表布の上のせて圖の如く周圍六糎の縫代をつけて口布を裁ちます。この口布は普通縦地に裁ちますが、模様の関係又は横地、斜地等面白く用ひることもございます。袋布はオーバー類には往々裏地と共布を用ひますが。絹物や木綿のドレズ等には、表布を用ひる事が多い様でございます。又毛織物の場合は富士絹程度のものをお用ひになつたらよろしいと存じます。大いさはポケット口の寸法より三糎位多い正方形を二枚裁ちます。尙、身頃の表には口明標をつけておきます。

又縫ひ方。先づ芯地を圖の様に一方を六糎に折りこれを突合せ他の一方を疊んでしつかりと折りをつけます。すると丁度出来上りポケット口の大きさにたたまれた事になります。これを再びひろげ、口布の裏側に當て六糎の折りをつけた方の裁切を揃へて、圖の様に重ねます。

これを身頃の上に、口明標と布端を圖の様に正しく合せ、六糎の折山へ駈をいたします。この口布に裁切を突合せにして一枚の袋布を中表に合せて、同じく六糎中側に駈を致し、残り一枚の袋布を口布の下側の裁切に中表に合せ六糎の縫代で駈をかけこの駈の處に全部ミシンをかけます。この時上側の袋布を縫ひつける縫ひ目、圖の(a)は口明の大いさより、兩端六糎づゝ少く縫ひ、又(b)は兩端を返し縫ひにしておきます。これを身頃の裏から御覽になりますと圖の如く元の縫目が出て居りますから、この中央にハサミを入れ兩端口明標より六糎手前の處まで切りました、下側は縫終りに向つて斜に表布一枚だけをきり、上側は眞直ぐ上へ袋布も共に切り込みます。次はこの切り口から先づ下側の口布と袋布と續いたものだけ引出し、上側の袋布はそのまゝにしておきます。圖の様に口布をつけた縫代を割り芯をはじめるにつけておいた折目の通りにたゝみ口布を袋布と共に芯通りにたゝみ口布を袋布と共に芯通りに折り曲げまして袋布を向側にして表側から縫目の中に針を落して返し縫ひでとめます。針目は表は少く裏は大針と致します。次は圖の様に口布の兩端を芯の稍々見える程度に裏側の一枚のみ切り落し残りの表側の縫代を芯通りに裏へ折りまげかけつけます。これで大體口布の形が出来上りましたからこの口布だけを孔から身頃表へ出し、表にある一方の袋布を裏へ引出し、2枚の袋布を平に揃へて圖の様にミシンをかけます。次に表から圖のやうに口切の兩端一、二糎入つた處を細

玉縁ポケットの作り方



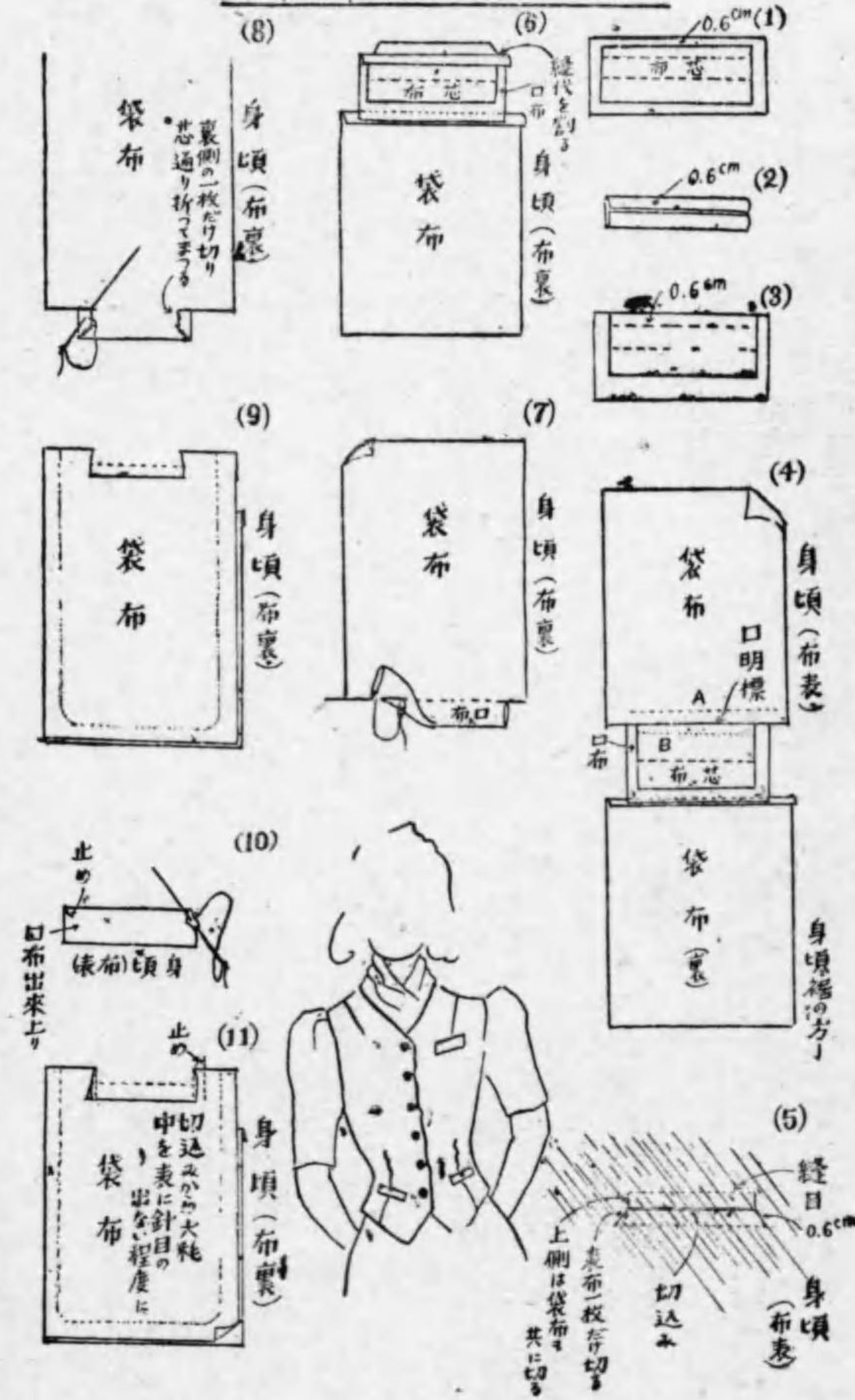
かくくけつけて角に針を出し圖のやうに斜に少く返し縫ひしてしつかりと留めつけ、針を裏に出し圖の切込みの際、兩端の出来上りより6耗の中の處を返し針で表に針目の出ないやう深くすくつて、しつかりと止めます。木綿等の場合は簡単に口布の兩端の際を表からミシンをかけて押へ、斜の返し縫もミシンでもよろしい存じます。

脇ポケット

ドレスの脇縫ひにつけるもので普通右脇に作ります。位置は丁度骨盤の邊で手の出し入れにも便利と存じます。

1、袋布の裁ち方。先づ袋布を二枚裁ちますがドレスが薄地の場合は共布で取り厚地の場合はドレスと同系色の富士絹程度の薄地のもので裁ちます。この場合ポケット口から別布の袋布が見えないやうにドレスと共布の向布を一枚裁つて後身頃に縫ひつける袋布の口元だけに縫ひつけておきます、袋布は長さをポケット口明の倍に三厘位の餘裕を見せて、巾は其の半分位の長方形を二枚裁ちます。ポケット口は掌廻りの $\frac{1}{2}$ に2厘位加へた寸法、即ち手の甲が自由に入る位にして、婦人物なら普通12厘子供なら10厘位までに致します。よつて袋布の長さは婦人物なら27厘位、子供物なら23厘位、巾はその半分位にします。次にこの袋布枚を外表に合せて圖の外く標をつけて切落しこの時上部の丸味を落し過ぎますと手が入らなくなりますので御注

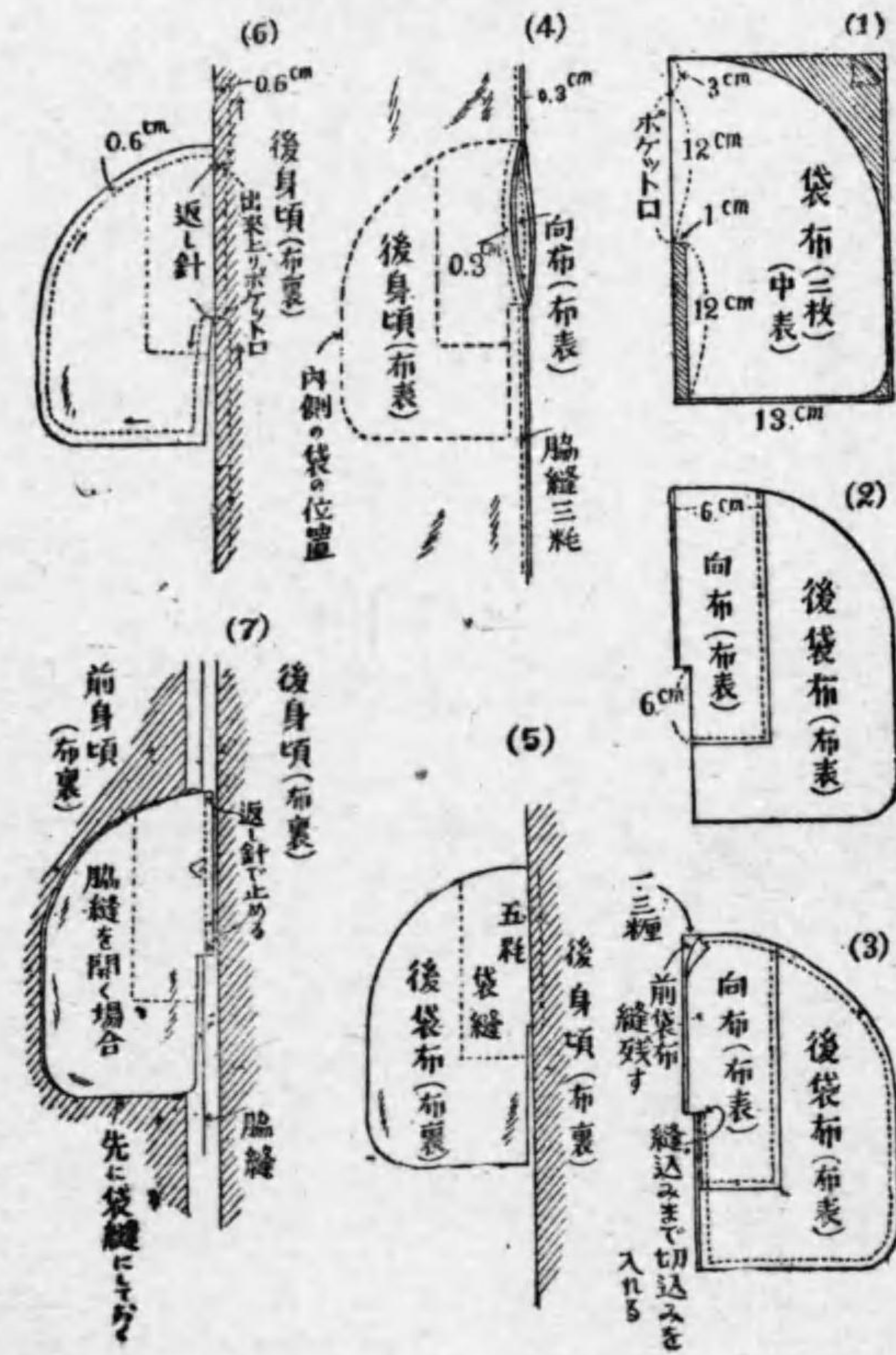
トッケホ箱



意願ひます。尙ポケット口から下は圖のやうに一糎切り落します。向布が必要な時は表布で6糎位長さ口明の寸法に上部の餘裕三糎、口明下を6糎位長くした寸法にて圖の様に袋を重ねて同形に一枚裁つておきます。

2、縫ひ方。第一に向布をつけますが後身頃に縫ひかける方の袋布を表に出して、圖の様な位置におき、向布を重ねてミシンをかけます。この時向布の縫目は前記裁切のまゝでよろしうございます。次に圖の如く外表に重ねて廻りを3糎の縫代で縫ひますがこの時上部は一糎三糎縫ひ残しておき、口明下の方は一糎切り落した處より縫目迄、三糎切込みを入れてひっくり返しておきます。身頃は外表として、脇の袋縫の第一回を縫つておきまして、この時ポケット口の位置で口明寸法に上部の餘裕、即ち2糎か3糎を加へた寸法。こゝでは15糎でございます。これを縫ひ残しておきこゝへ袋布のポケット口を合せますと兩方の寸法が合ひますから圖の様に外表になつてゐる身頃の間に中表になつてゐる袋布をはさみ込み前と後別々として口明の處だけに2・3糎の縫代で縫ひます。これが袋縫ひの第一圖と合ひますから今度は身頃をはぐり圖の様に今縫つた處だけ更に四五糎の縫代にて縫ひ袋縫ひになりますから、縫代は袋の方にたほします。前後共斯して口明のみ袋縫ひに致しましたら圖の様に身頃の脇の袋縫ひを第二回目裾の方から約6糎の、縫代で縫ひポケット口の下まで縫ひましたら、口明下で二、三回返し

脇ポケットの作り方



針をしてしつかりと止めつゝいて其の針で袋布の周りも同じ縫代にてぐるりと縫ひ上の方でも返し針をして一度糸を切り、次にポケット口の明を下の止めた處から出来上り口明寸法を12㎝計り標をなし、其の標の處から最初二三回返し針をなし矢張り六耗の縫代にてお袖の方に縫つて参ります。縫代、袋布は共に前の方に倒して出来上りと致します。脇の縫代を左右に開く場合は口明のみ残して脇を縫ひ袋布も口明のみ明け、他の三方を袋縫と致し圖の様に身頃と袋布の口明を合せまして前後別々にしつかりと、とちつけます。ポケットの種類と致しましては、このコート等に見返しと裏との間につく、A裏ポケット。スーツ等に多い、B蓋ポケット、裏のあるお洋服の場合の、C貼付はポケット、只今多く用ひられてゐる、D風琴ポケット。其の他、E箱ポケットの變形。等それらのお洋服の種類によつて、スタイルによつて、ポケットの種類も色々変化してまゐります。

5 その他の部分縫ひ

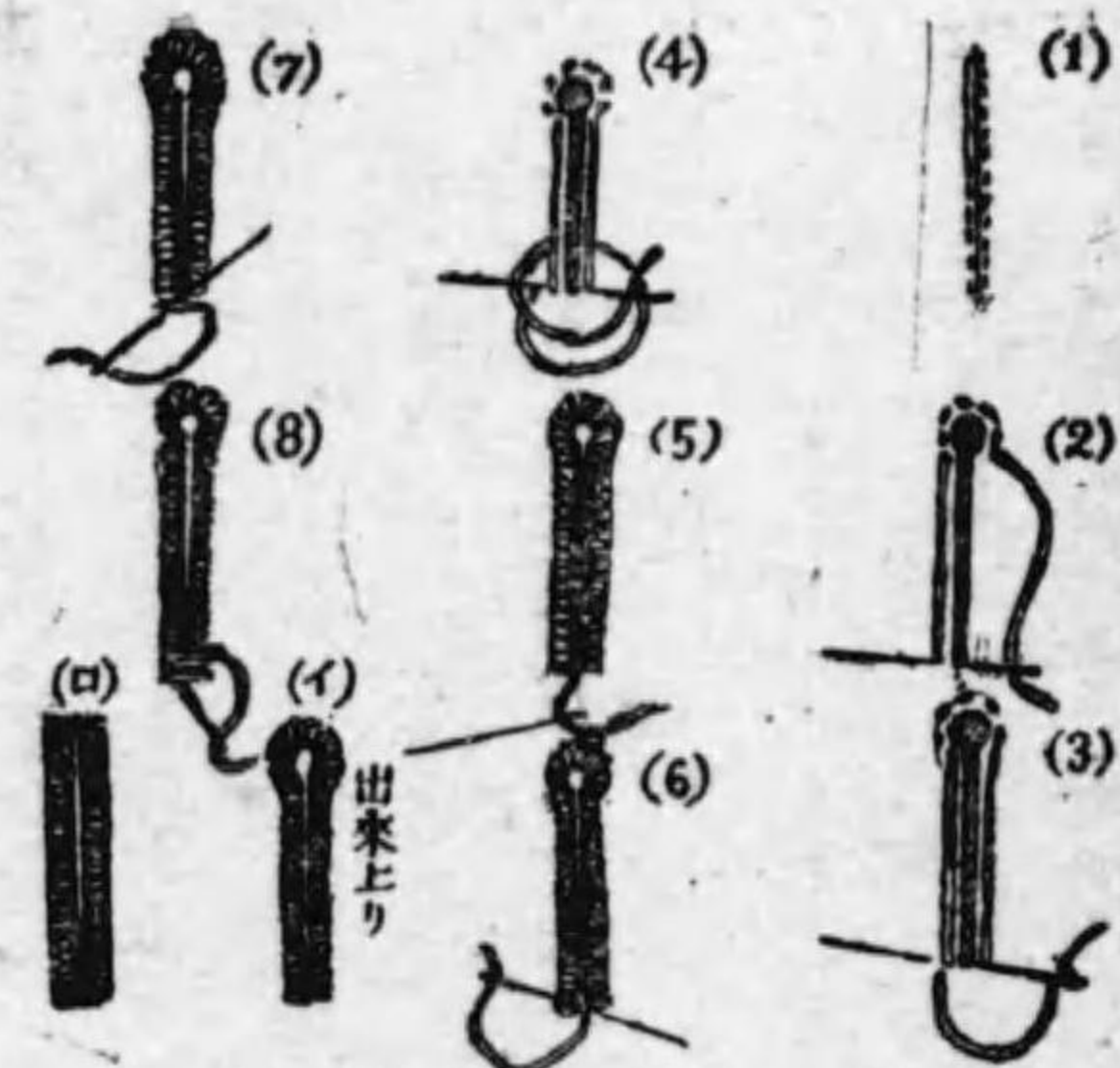
一 ボタンホールの作り方

ボタンホールには糸で釦ホール・ステッチをしたものと、布で玉縁を作つたものと二種ございます。前者の方はテーラー、釦ホールと呼ばれ後者の方は玉縁ボタンホールと云はれて居ります。テーラー釦ホールは主に男子服として、婦人服の場合にはスポーティなもの、男性的な感じのするスーツ、その他コート類、シャツ等に用ひられます。玉縁の方は婦人服の場合殆ど總てに使用されて居りまして軟かい感じのするものでございます。

テーラー・釦ホール 主に穴糸でかゝりますが絹物などやはらかいものには太過ぎますのでこの場合は別に和服用の絹糸を用ひますとよろしうございます。先づホールの位置にノミで釦の直径より二・三耗大きく穴をあけ頭の方は鳩目で丸く穴を明けます。ほつれる布地等の場合は最初にノミで穴を開る前に圖のやうに左右一・二耗の處へミシンをかけておきます。圖のやう

に釦ホールの止めになる方を手前にしてイの處で裏から針を出しロ、ハと出してニで再び裏に針を入れます。糸尻は始め普通に結んで圖の様に再びイの處から糸を出して、孔の方から針を入れて少し離れた處に出し圖の様に針の孔についてゐる方の糸を手前から向ふに針にかけて引きます。この方法を順次にくり返して、鳩目の處は心持糸を強く引いて一周しましたら最後は圖の様に縫ひ初めの糸に表から針をかけ、すぐ其の針を穴から裏へ出して再び終の針目の處から表にイと出します。續いてロハニと運び最後に圖の様に二本の糸を押へて針を裏側へ入れて裏で見えない様に返し縫ひをして出来上ります。シャツ類の様に布と布とを合せる程度の釦ホールは、五十番、八十番のカタン糸で釦の足の處も鳩目を明けなくて圖の様に最後の止めと同様に致します。

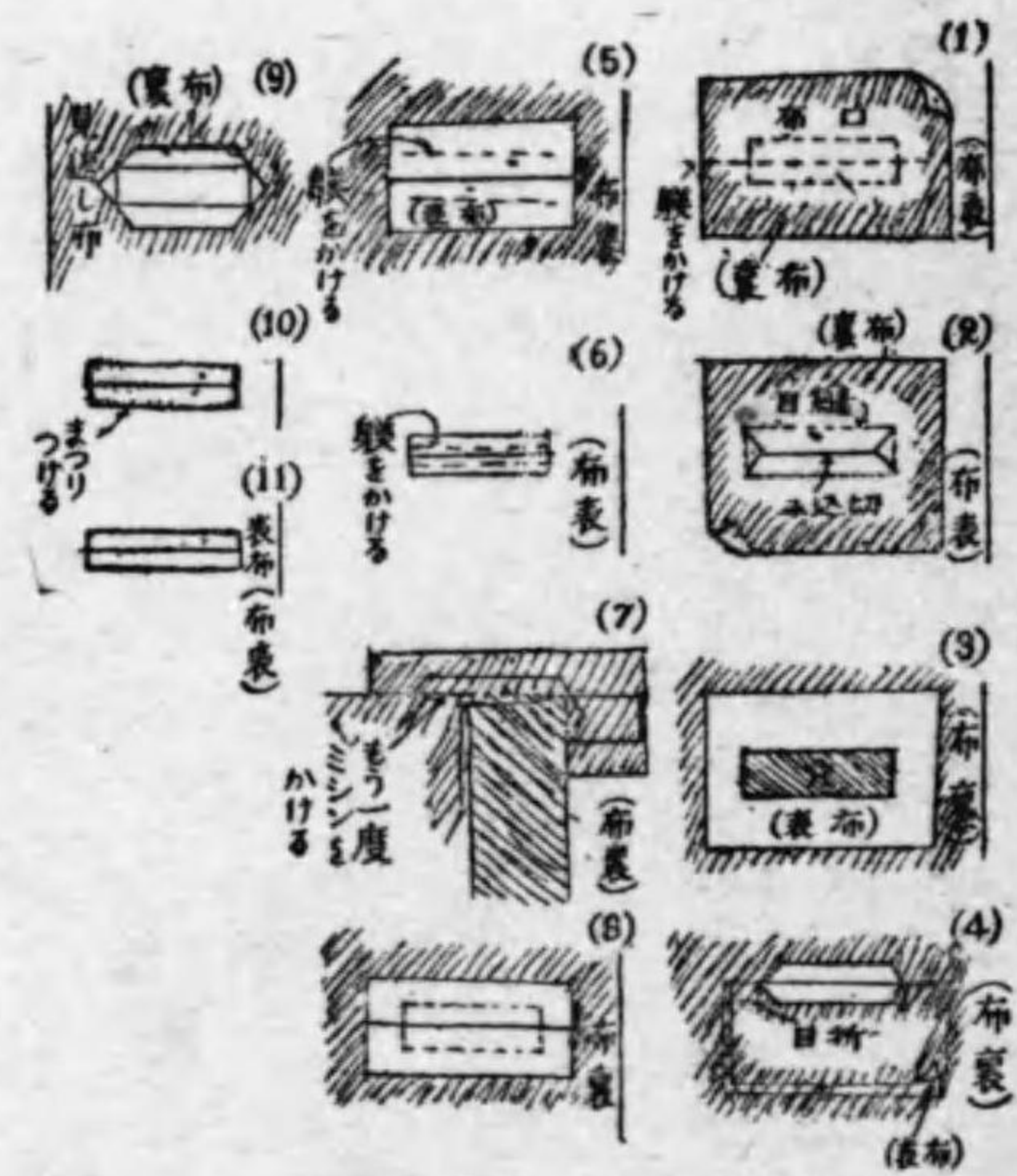
玉縁釦ホール 孔の大きさの定め方はテーラー、釦ホールと同じですが、玉縁布として孔の大きさより二種五耗位長い寸法の略々正方形のものを一枚身頃と共布で必ず正斜布で裁つておきます。先づ玉縁布を中裏に中央から二つに折をつけて、其の折山を身頃釦ホールの標を中表に合せて、擴げ圖の様に中央に標をかけておきます。其の中央線の上下に四耗づつ標をして左右は孔の大きさ一ばいにして長方形に縫ひます。この時巾の中程から縫ひ始めまして四隅にくつきりと角をつけて縫ひ終りは一程重ね今縫つた縫目の中央釦ホールの位置に切込みを入れ



方リ作のルーホ卸-ラーテ



ルーホ卸-ラーテ



方リ作のルーホ卸縁玉

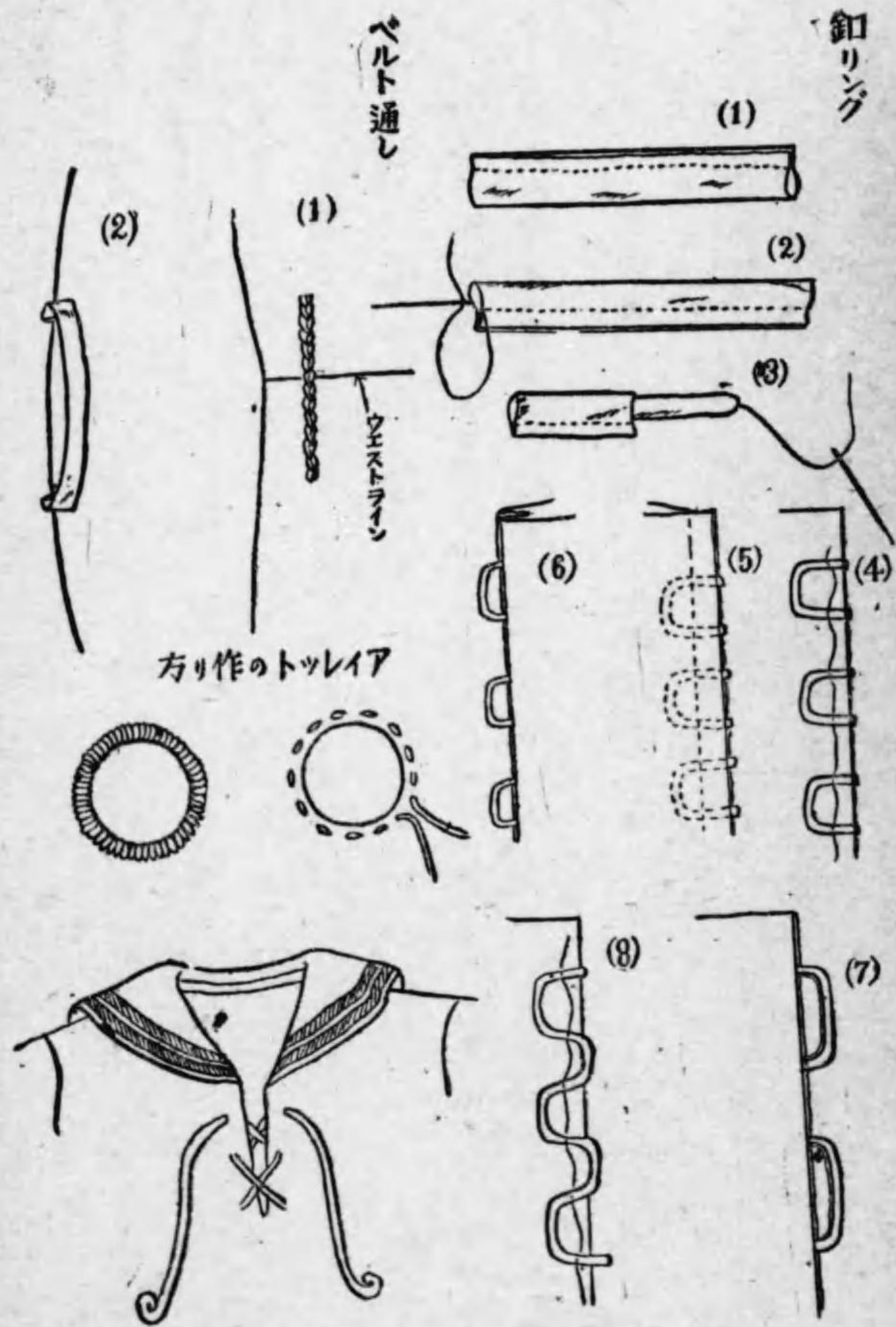


ルーホ卸縁玉

両端は六耗手前の所で角に向つて三角形に切込みます。其の時御注意願ひます處は角の糸は切らずに出来得るだけ三角のすみまで切込みを入れる事で御座います。次に口布を裏に引出しまして、圖の様に先づ孔の四角にはつきりと折目をつけ上下の縫代をきつちりと割ります。この割りました縫代を芯と致しまして圖の如く四耗巾の玉縁にたゞみ込みまして、この縁だけに襷をかけ圖の様に表布をはぐつて先に縫ひました。針目の上にもう一度ミシンを致します。これは口布と縫代を縫ひ合せる爲にでございます。他の一方もこの方法にてお縫ひになります。次は両端を圖の様に表布をはぐり二、三度返し縫ひを致しますと圖の様にきれいに縫目が長方形に出来、よりすつきりと致します。これで玉縁の卸ホールは出来上りました。最後にもし見返のつく場合は表の孔の位置を見返しに寫しまして、圖の様に先に口布を切りました通りに見返し布に切込みをお入れになり出来上り線通りに裁切をお折りになりまつりますと、これで見返しがつく場合の卸ホールが出来上りとなります。

二 卸リングの作り方

卸リングは絹物 木綿ドレス等又或ひは毛織物のドレスに又はコート等に用ひられます。共布にてリングを作るのが大體多うございますが、中にはコート等には他の方法にて、コードを



使用する場合とその他別に糸で鎖編みに編んでつける方法、又は門止めの様に糸を掛けて作る場合等ございます。

作り方 布は出来上りリング中の二倍に、ほつれない程度の縫代を加へたバイヤスを裁ち、(2)(3)圖の様に縫つてひっくり返します。これは薄地の場合です。厚地の時には、餘り長いとひっくり返りませんので、何本かに別けて作ります。そして出来上りましたリングは圖の如くボタンの大小により長さを定めまして位置をきめ、身頃表に躰でお止めになり、裏布を中表に重ねて圖の如く縫ひ合せますと、出来上りになります。これで薄地の場合のリングは出来上りましたが、厚地の場合は圖の様に角ばつてリングをお付けになり、小さい釦の幾つも續くやうな時は圖の様につまめてリングを付けます。

三 ベルト通しの作り方

ベルト通しには絹糸でお作りになると、コート類の様に絹糸ではしつかりしない時には共布で作ると二種ございます。普通絹糸の場合は糸二本でウエスト中心に出来上りベルト巾よりたつぷりの長さにて鎖編みしてつけます。コート類のベルト通しは共布の縦地で出来る丈巾の狭い紐を作り絹糸の場合と同じ要領にてお付けになります。

四 アイレット(紐通し孔)の作り方

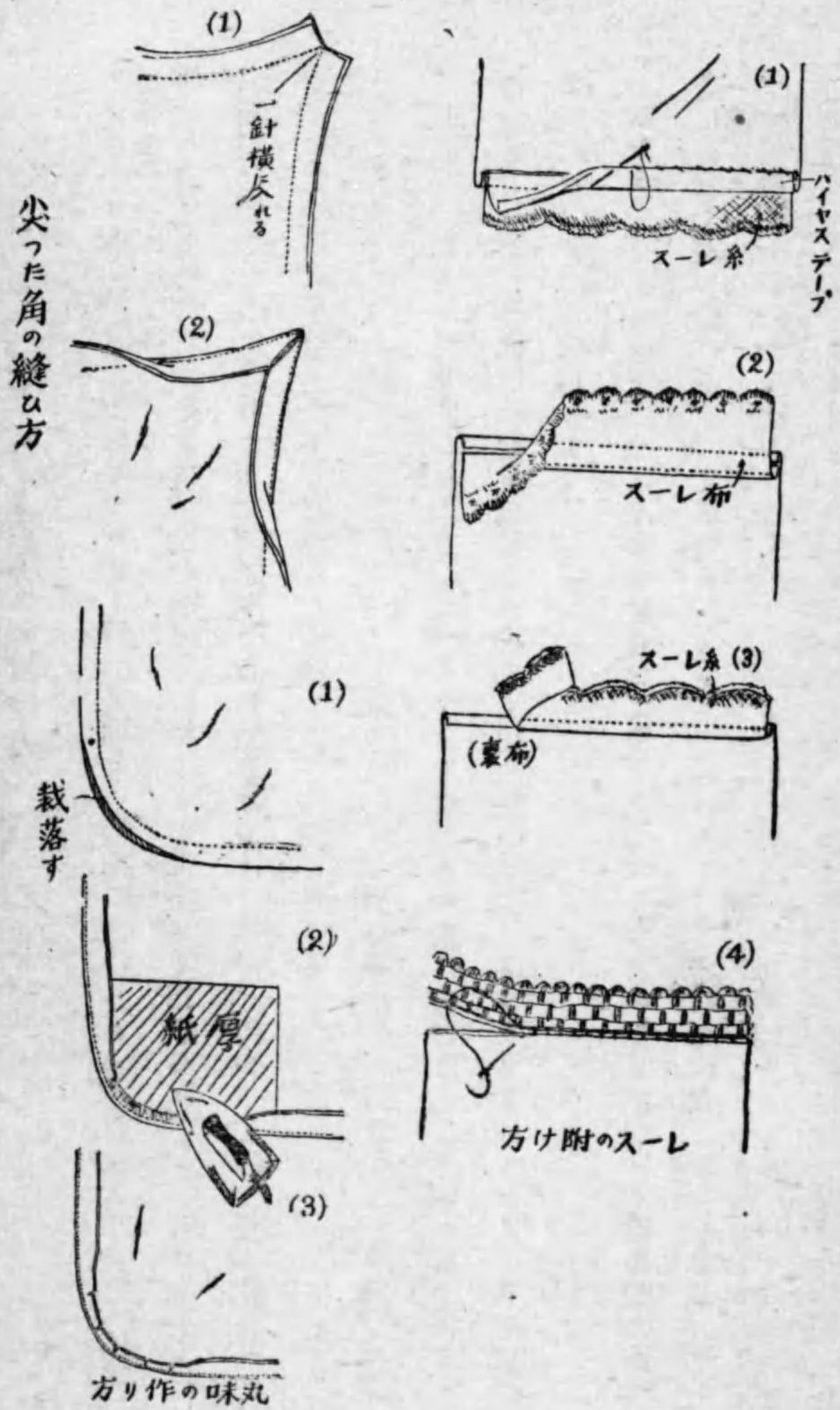
アイレットはセーラー型のドレス等に多く見受けられます。鳩目にて先づ布地に穴を明け其の周囲を細かく縫ひ其の糸にてかゝつて行きます。圖解をごらん下さいませ。

五 尖った角の上手な縫ひ方

圖解にて御説明申上げます。圖の様に角の處で一針横に渡して縫ひ、縫代を切りとり次の圖の如く疊みます。この時縫代が突合せとなり丁度額縁の様に重なり合つた部分は裁ち落しますかう致しますと角がごろ／＼せず綺麗に出来上ります。

六 丸みの上手な作り方

圖解にて丸みの處は縫代を三耗位に切落し厚紙にて丸みの通りに型を切り、其れを芯に入れますして、アイロンでびつたりと縮め表に返します。丁度和服のお袖の丸みの要領と似て居りますが、違ひます處はたゞ重なり合ふ縫代を、それ丈け切り落して平にしてしまひます。これで縫代がびつたりと致しますので表に返しましても平に出来上つて居ります。



七 レース飾りの付け方

レースの飾りと申しましてもベビー服の衿廻りや袖先に付けるもの或ひはスリッパの裾、胸等につけるもの等ございます。この頃はこのレースが大變多く用ひられドレスにブラウスに其の範圍が廣くなつて参りました。糸レースの如きはレース自身が持つ、その優美さによつてドレスやブラウスを幾分にも女性らしき優しさを表現させます。

糸レース 前にも述べました様にベビー服の衿廻り、袖先等に多く用ひられます。この頃はブラウスにも多く見受けられます。先づレースを身頃と中表に合せまして身頃と其のバイヤスをのせて一緒に縫代ひ縫を身頃の方に倒して出来上ります。ブラウスではピンタックの間に、はさんでつけたり致します。

布レース これは下着類に多くつけられます。先づスリッパの裾等につける場合圖の様に中表に合せて縫ひ縫代を折つて裏から、ミシンを掛けます。丁寧なお仕立になりますと、スリッパでも身頃の端を細くよりまつりにしておき、圖の如くレースの端をまつりつけて行きます。この外レースにはウールレースが御座いますが、これは殆ど日本にはなく外國製でございます。根氣のよいお方でしたら極細の糸糸で丹念にお編みになつたら立派なものが出来上りませう。

6 色々なひだの作り方

一 シャーリングとギャザーの寄せ方

シャーリング これは肩や胸元の飾りに應用され、子供服に多うございます。先づ下糸をつらしておいたミシンにて掛け圖の様に縮めます。又手縫でよせる場合もございます。

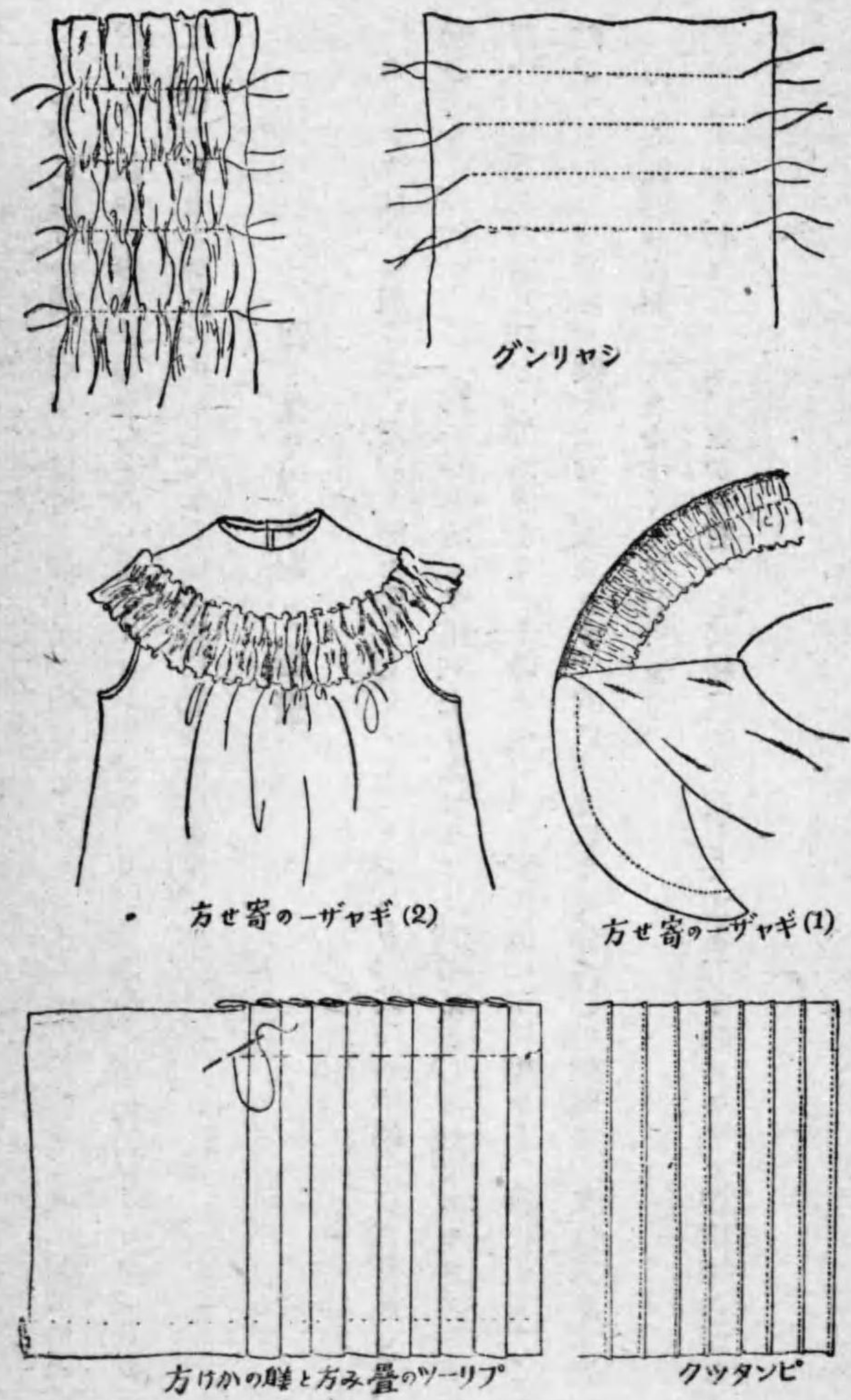
ギャザー 應用の範圍はシャーリングと大體同じ位でございます。ギャザーを寄せる飾布の裁端から四耗位の處を縫ひ縮め出来上り線より一・五耗位奥をもう一本縫つて平均に糸をお引きになり縮めます。ミシン縫ひの場合は上糸か下糸を一方ゆるめ糸を引いて縮めます。ギャザー布の縫ひ縮めた奥の線を身頃の出来上り線より一・五耗内側に入つた處と合せて止め、出来上り線をミシンでぐるりと縫ひます。圖解の如く、ドレスの中途の飾りとして付ける様な場合は、飾布の兩端にピコミシンをかけ真中を縫ひ縮め、其の位置におき、中央をミシンにて止めます。

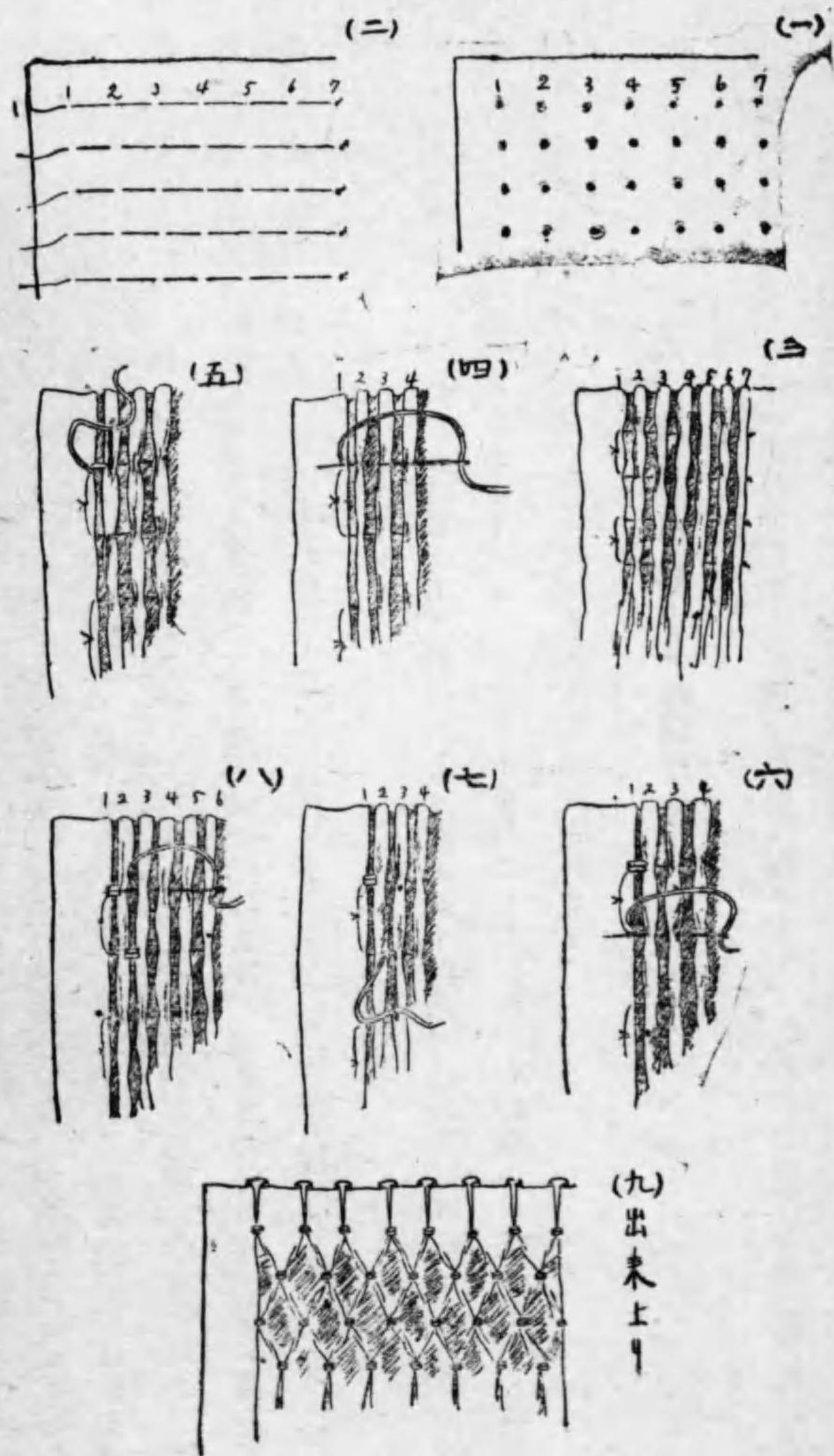
ニ ピンタツクの寄せ方

ピンタツクは幾何學的の模様を代表するものの一つで、先づ布にタツクの位置最初の一本を標しておき、これをつまんで布を二つ折にし其の折山に一耗強巾にミシンをかけそのミシンからタツクの間隔を何種と先づ縫ひ始めの處より計り、これをつまんでミシンの針で折山より一耗強の處をおさへ、次に縫ひ終りの處でも同様にタツクの間隔を計つてつまみぴんと引張り手で軽く折をつけ、思ひ切つて一呼吸でミシンをかけます。丁寧におかけになるより、この方が一番ピンタツクが綺麗に仕上ります。これを繰返して決めました數だけ縫ひ終りましたならば、アイロン臺の上で靜かに一方に倒してアイロンを徐々につけて、最後に強くぴつたりと押へます。この時急に引張つてアイロンをかけますと、縫目がはだかつて汚い感じとなりますから御注意をお願い致します。

三 プリーツの疊み方襷のかけ方

スカートにドレスのお袖に或ひは飾りに、プリーツの應用は廣うございます。先づスカートの場合として説明申上げます。第一に折返し分を先に折つて居き次にプリーツをたゝんで行き





五 スナップと釣ホツクの付け方

スモックは子供服につけて、大變可愛らしくジミなドレスも、其の糸の配色によりまして、派手にもなつたり、こつたドレス等も又出来上りませう。先づ用布としましてスモックをとる部分は用布を二倍位にとつておきます。1のスモック。圖の様に布に標をし、細い糸で、この點をすくつて、ゆるく襷をよせておきます。次に布地によく合ふ色の刺繡糸、又は穴糸で左の方から圖解を参照して布をすくつて行きます。一段すみましたら、又、左から右へと同様に針を渡しますと、1のスモックが出来あがりま

四 スモッキング基礎

布を平に置き全體に襷山の位置を標し最初山だけアイロンでピッタリ折り、次に裁臺の上に置いて、裁臺の巾だけ襷をたゝみ一度アイロンで押へ、其の後濕布して再びアイロンをかけて、びつたりと充分に乾かしてから圖の様に襷をかけます。

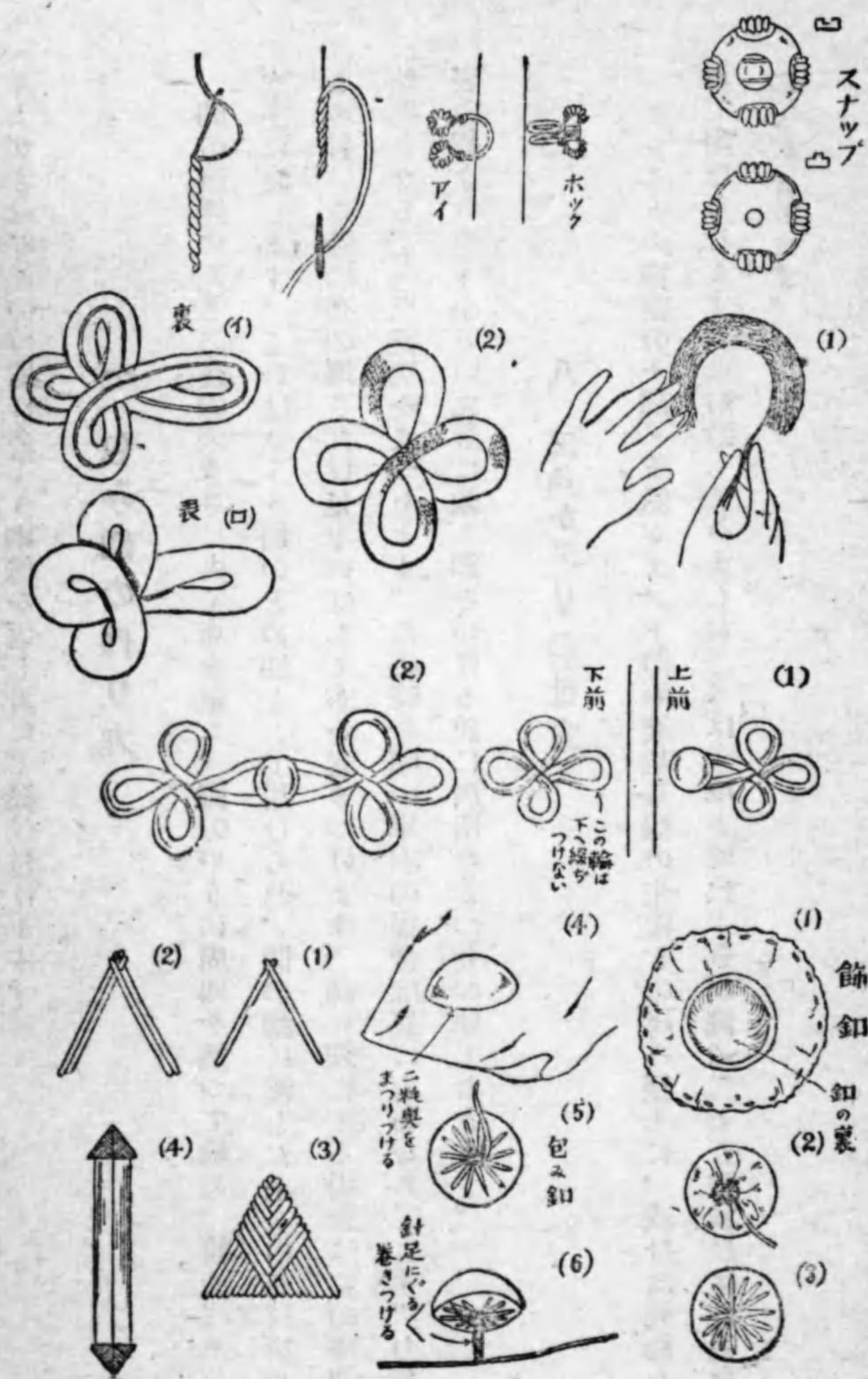
ます。

スナップの付け方 木綿物の場合はカタン糸の二十番、絹物の時は和服用絹糸を用ひて圖の様に付けます。先づ凸を上前に付け明を正しく重ねて、下前に凹をつけます。凸の方は表に針の見えない様に付けます。ホック・アイ、門止めはスナップと同じ様に明を止めるのに用ひます。強く引かれる場合、例へばスカートやインサイドベルトとか、下着類の脇明き等スナップでは外れる恐れのある場所にホックを上前にアイを下前につけます。又アイの外りに、圖の様な丈夫な門止めをしてよく、衿元とか胸飾りなどを打合なしに突合せにして軽く止めたい時にも、小さい釣ホックをもちひます。

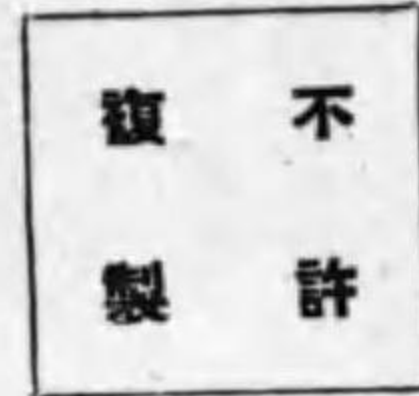
この時アイの付け方は、布の端より二耗位出し、圖の如く根元の孔の周圍に糸をからげつけ最後は大きい孔の兩端で止めます。ホックはアイを持出しただけ、布の端より控へ同じく根元の輪の周圍をからげ、バネの下をくぐらして二度位止めます。

六 コードブレードの扱ひ方

近頃ドレス又はバジヤマの打合に盛んに使用されて居ります。好みの形を作り其の位置にまつりつけます。圖解の如くコード代りに、身頃と其のバイヤスをアイロンで疊んで用ひる場合もございます。ブレードは、兩端に糸が入つて居りますから、糸を引いて自由な形を作り、



スタイルの選び方



⑧ 定價 70 錢

昭和 15 年 10 月 5 日 印刷納本

昭和 15 年 10 月 10 日 發行

編輯 婦女界 洋裝部

發行者 都 河 龍
東京市麹町區九段四丁目十三番地六

印刷所 山縣製本印刷株式會社
東京市神田區神保町三丁目二九

發行所 振替東京 2937 番
電話九段 4171-2 番
婦女界社
東京市麹町區九段四丁目十三番地六

カーヴさせ好みの位置にあて、兩端を返し針にて縫ひ付けます。

七 包み釦の作り方

釦の直径の凡そ二倍の大きさに丸く布を裁ち、圖のやうに周圍を縫つて縮め、綺麗に糸を十文字に渡します。これはコート類のとめ釦として用ひられ、圖の様に渡した糸を中心に集めてとめ付ける時は布の厚さだけ足をのばして糸を巻きつけます。飾り釦にする場合はこの儘釦の外廻りから二・三耗奥をまつります。この時身頃の單衣の場合は裏に力布をあてます。力布は表の釦よりやや小さい丸形に裁ち、釦をつける前に周圍をまつりつけておきます。

八 三角かどりの仕方

スカートの箱襷の上部・玉縁ポケットの兩端切替線の先などのぼろ隠しに、或ひは裝飾を兼ねて用ひられます。圖解致してみました。糸は布地と配色よき刺繡糸二十五番或ひは同系色等にてかゝります。

婦女世界好評重版書

北町一郎著・松竹大船映畫化
結婚青書

四六版三〇〇頁美裝
價一・五〇送十二錢

胸がスツとする痛快清純な新小説！ 新境地を開く作者のウィット・サマリア・ボエジイの交錯は型破りの面白さに成功した。他に林檎と紙刀、現代の神話、賞與日前後等六篇を収む傑作集である

芹澤光治良著・裕 伊之助装幀

希望の書

四六判三〇〇頁美本
價一・五〇送十二錢

現實の激しさにも希望を失はず人生の苦さにも愛の純粹は損はれない。作者の純潔性と叡智は全篇を貫く愛の清流となつてその人間性の深さに胸をうたれぬ者はない。これは清純な青春哀歡の書だ

女啄木・江口きち女遺稿集 普及版

武尊の麓

四六判二百五十頁
價一・二〇送十二錢

本書は廿六歳の若さで毒を呷つて自ら死の道を選んだ一女性の人生記録である。放浪の父と白痴の兄に仕へ貧苦廿年、薄倖の歌人江口きち女の歌と日記を恩師河井醉茗の手に選稿された書である。

内田守人編・癡文學の最高峰！

瀬戸の曙

四六判二百二十頁
價一・五〇送十二錢

身を病むに流離幾年！ 離れ小島の朝に夕に生別の妻子眷族を戀ひつゝ宿命の業病に哭く同胞の切切たる手記集！ 殊に明石海人の親友と生別の愛妻の哀切肺腑を抉る追悼篇は正に血涙の書である

北町一郎著・吉田貫三郎装幀

啓子と狷介

四六判四〇〇頁美裝
價一・八〇送十二錢

田舎から轉校した少年は東京で何を感ぜ何を見たか？ 思春期の子女を持つ家庭に熱讀され、深い示唆を與へつつある異色あるユウモア長篇。東京日比谷圖書館で閱覽第一位の問題作

内田守人編・癡文學の決定版

萩の島里

四六判二百二十頁
價一・三〇送十二錢

宿命の業病故に肉親の絆を斷ち、遠く家郷を捨てて、瀬戸の小島の療養所に、うら若き日々暮す、これは女性哀傷歌であり、生活歌である。女流癡歌人六十餘名の苦難の道を歌つた短歌集である。

婦女世界優良圖書

大妻コタカ著・四六判・布製函入美本

母の手藝

定價一圓二十錢
送料十二錢

有名な大妻高女校長大妻コタカ先生が赤ちやんから年齢順に、項目を分けて小學校へ上る位のお子様用品まで、餘すところなく集録したもので、作品は一つ一つ懇切な圖解入り一目で出来る指導書

大妻コタカ著・四六判・布製函入美本

母の禮法

定價一圓二十錢
送料十二錢

禮法を知らなくては世の中に處して行くことは出来ません。本書は幼児・小學校・中等學校通學中のお子様の禮法を教へた母の必携書です。幼児のお躰、小學生のお行儀、中女學校時代の禮法等々

秋穂敬子著・四六判・布製函入美本

母の料理

定價一圓二十錢
送料十二錢

第二國民の健康と榮養の鍵を握るお子様本位の時局向榮養料理集。愛の籠つた母親の手づからの料理で丈夫な子供をお國に捧げませう。生後二年目頃から十一二歳までの料理、おやつ等百五十種類

吉岡彌生著・四六判・布製函入美本
妊娠と安心得

定價一圓二十錢
送料十二錢

【本書内容の一部】 受胎の學理と月經の話◇胎兒の附屬物とその作用◇妊娠各月に於ける胎兒の發育と母胎の變化◇妊娠中の攝生法◇妊娠に伴發し易い病氣とその手當等順次分娩までの心得書。

都河龍編著・竹内茂代博士編

育兒の實際

定價八十錢
送料九錢

婦女界社都河社長が八人の子供を一人も缺かさず丈夫に育てた秘訣と親心を公開された本です。◇授乳に就ての注意◇清潔に就ての注意◇便と食物に就ての注意等懇切に書かれてあります。

三越洋裁部長原田惠助著 四六判三百四十頁

新編和服裁縫の秘訣

定價八十錢
送料九錢

どんな初心者も一讀直ちに三越式仕立方のコツが呑み込めます。積り方・裁ち方・標つけ方・縫ひ方・出来上り圖等數百個挿入記事は親切、説明は丁寧、手をとつて教へる如く秘訣公開の書です。

振替 九三九七
東京 七番

婦女世界社

東京市麹町區
四丁目

振替 九三九七
東京 七番

婦女世界社

東京市麹町區
四丁目

婦女界洋裁部の型紙奉仕

婦女界社が一度型紙分布を發表しますと、註文殺到して、我國にも歐米と同じ様に、型紙中心の時代が來たことを教へてくれました。最近型紙部の人員を増加して、ますます親切に、期日も正確に、皆様の御期待にそひ得るやうに萬全の用意がしてあります。

婦女界社型紙の特色

- 1 自由にお好みのスタイルをお選びの上スタイルの頁と御自分の寸法と年齢とをお知らせ下さるだけで、御註文の方法がいたつて簡單でございます。
- 2 婦人服は次の様な大、中、小の標準寸法によつて型

婦人服の標準寸法					
	胸廻り	ウエイ スト	腰廻り	肩幅	背丈
大	八七種	七一種	九七種	一一・五種	三八種
中	八四種	六八種	九四種	一一種	三七種
小	八一種	六五種	九一種	一一・五種	三六種

紙を拵へます。したがつて、在來の型紙よりもずつとお身體に合ひやすい様に工夫してございます。

- 3 その上に懇切な解説つきで、假縫ひ、本縫ひの際の注意が詳しく出てゐます。
- 4 又型紙にも適切な書きこみが要所要所にありますので、どんな初心の方でも、御自分にピッタリとしたドレスを仕立てることが出来ます。

御註文なさるには

型紙を御註文下さいませ場合は、次のことを必ずお知らせ下さいませ様御願ひします。
 一、スタイル番號 スタイルは婦女界に毎號發表してございます。お好みのスタイルのすぐ傍の番號をお知らせ下さいませ様御願ひします。
 一、寸法 寸法は胸廻り、ウエスト(胴廻り)ヒップ(腰廻り)肩巾、背丈をお知らせになつて下さい。身長、後の着丈も知らせたゞけば猶更ら便利でございます。初めての方のためには申し添へておきますが、胸廻りはお乳の一番高い廻りを、ウエストは胴の一番狭い所の廻りを、ヒップ廻りは腰の一番太い所の廻りを計つたものです。

値段と送料

婦人服はすべて一圓、スカートだけ、ブラウスだけ、子供服御註文の方は七十錢でお頒けします。

送料五組まで十錢

○御註文は東京市麹町區九段四丁目十三婦女界社代理部へ、振替口座は東京二九三七(服替)番。切手代用は一割増、代金引換はお許し下さいませ。

終

